

図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
	図面目録	N・S	S-1	鉄筋コンクリート構造配筋基準図	N・S			
A-1	現場説明書	N・S	S-2	鉄骨構造基準図	N・S			
A-2	特記仕様書（建築1）	N・S	S-3	基礎伏図	1/100			
A-3	特記仕様書（建築2）	N・S	S-4	基礎詳細図	1/30			
A-4	特記仕様書（建築3）	N・S	S-5	地中梁リスト	1/30			
A-5	特記仕様書（建築4）	N・S	S-6	スラブリスト・雑配筋図	1/30			
A-6	高架橋柱位置図	1/100	S-7	鉄骨断面リスト	1/10			
A-7	建物概要 仕上表	N・S	S-8	鉄骨梁伏図（天井裏）	1/100			
A-8	敷地面積	1/100	S-9	高架橋スラブ下部 外装板受け梁伏図 高架橋スラブ下部 這い樋位置図	1/100			
A-9	床面積 建築面積	1/100						
A-10	配置図 付近見取図	1/300 1/1000	S-10	軸組図（1）	1/100			
A-11	工期ごとの配置図	1/300	S-11	軸組図（2）	1/100			
A-12	平面図	1/100	S-12	鉄骨詳細図 1	1/30			
A-13	立面図	1/100	S-13	基礎荷重図	1/100			
A-14	断面図（1）	1/100						
A-15	断面図（2）	1/100						
A-16	断面図（3）	1/200						
A-17	矩計図	1/30						
A-18	断面詳細図（1）	1/30						
A-19	部分詳細図 1 ラチ外コンコース南側納まり図	1/20						
A-20	平面詳細図（1）	1/50						
A-21	天井伏図	1/100						
A-22	建具配置図	1/100						
A-23	金属製建具表（1）	1/50						
A-24	金属製建具表（2）	1/50						
A-25	木製建具・家具図	1/50						
A-26	雑工事	1/50						
A-27	稼動間仕切り 平面・断面図	1/30 1/2						
A-28	展開図 1	1/50						
A-29	展開図 2	1/50						
A-30	展示台平面図	1/30						
A-31	展示台断面詳細図	1/4						

特 記	-----	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号	検 印	意 匠	構 造	設 備	工 事 名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮 尺 目 付	N・D
	-----		佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						管理建築士 藤崎 透 1級建築士第128417号		図 面 名

現場説明書（建築・設備工事編）

(A) 工事概要及び一般事項

1. 工事概要

- ① 工事名称 (仮称) 観光交流センター2期建設工事
- ② 施工場所 底地番 佐賀県武雄市武雄町大字福岡字西浦8249番地4の一部 仮地番 武雄市北部土地区画整理事業23-8街区2号の一部、10街区の一部
- ③ 工期 契約日から平成 年 月 日まで
- ④ 工事内容 (別添 特記仕様書及び設計図面による)
- ⑤ 別途予定の関連工事 ・建築・電気・機械・外構・舗装・植栽・その他 ( )
- ⑥ 質疑等の提出方法及び回答期日等 (現場説明時に指示)

2. 設計図書の優先順位

・設計図書は相互に補完するものとし、相互に相違がある場合の優先順位は次のとおりとする。

- ① 現場説明書及び質疑回答書
- ② 特記仕様書
- ③ 設計図面
- ④ 共通仕様書 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

3. 工事着手前・完成時の提出図書

- ① 工事請負契約後、設計図書の縮小版 (A2版又はA3版) 青焼き製本を3部の提出のこと。
- ② 竣工後、共通仕様書による完成図及び保全に関する資料を1部提出し、完成図には工事名称、工期、設計・監理者、施工者を明記すること。
- ③ その他、保存図書とし、監督員の指示に従って建設課へ提出すること。

4. 契約事務上の注意事項

- ① 工事請負契約書は佐賀県建設工事請負契約約款を使用することとし、その他の契約事務については武雄市財務規則による。
- ② 工事が複数年度に亘る場合は、各年度の請負代金の支払い限度額及び出来高予定額は、契約書作製の日までに通知する。
- ③ 不慮の事故に備えて火災保険等に加入すること。また、労働災害事故にも備え建設労働災害保障制度へもできる限り加入すること。なお、契約額は工事規模・請負契約額に相応する内容とし、後一ヶ月程度の予備期間を設けること。
- ④ 現場代理人・主任技術者届、施工計画書等の提出書類は、速やかに作成し監督員に提出すること。
- ⑤ 工事の一部を下請けに付する場合には、速やかに下請申請書を提出し承諾を得ること。

(B) 現場及び技術に関する説明事項

1. 監督職員事務所

監督職員事務所を設ける場合は、事務所に机・椅子・保安用具等を必要に応じて備えること。

2. 指定仮設

設計図面に明記された仮設については、指定仮設として実施すること。

なお、現場状況及び施工方法により変更が必要な場合は監督員との協議により実施する。

3. 工事着工前の確認

- ・建物の配置については設計図書に基づいて縄張りを行ない、監督員と最終確認を行うこと。
  - ・既存施設内で増築・改修工事する場合は、仮設計画書及び施工計画書等を作成し施工上必要な「工事用地等」について施設管理者と協議すること。
- また、既存の設備、地下埋設物については十分な予備調査を行って施工すること。

4. 工程管理

- ・工事の着手にあたっては、他の関連工事業者と調整の上、受電時期や試運転調整期間等を見込んだ実施工程表を作成し監督員に提出のこと。また、工事期間中はこの工程に従い工事の円滑な進捗に努めること。

5. 施工体制の適正化

「建設業法」や「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、省令等に定める施工体制台帳や施工体系図を作成し、監督員に提出すると共に、現場にも備え付けること。

6. 施工中の安全確保及び環境保全等

施工中の安全確保及び環境保全並びに災害・公害の防止については「建築・電気・機械各共通仕様書」によるほか、次の指針・要綱によること。

- ・建設工事安全施工技術指針 (平成7年5月25日、建設省営監発第13号)
- ・建築工事公衆災害防止対策要綱 (平成5年1月12日、建設省経建発第1号)
- ・建設副産物適正処理推進要綱 (平成14年5月30日国官総第122号、国総事第21号、国総建第137号)

7. 工事監理者

この工事については、監督員業務の一部を第三者 (設計者等) に委託する場合がある。

8. 特定元方事業者

- ・労働安全衛生法第30条第2項に基づく特定元方事業者として、この敷地内の建設工事等における契約額が最大の建築工事の請負業者を指定する。

9. 工期変更等の場合の前金保証会社への通知

前払金保証契約約款7条の2「工期を変更する場合等における措置」の保証会社への通知は、請負者で行うこと。

(C) 指導事項

1. 建設工事の適正な施工の確保について

本工事の施工にあたっては、適正かつ円滑な施工を確保するために「建設業法」や、「建設産業における生産システム合理化指針」等に基づく建設関連指導事項を遵守し、適正な契約の締結、適正な施工体制の確立、建設労働者の雇用条件等の改善に努め、建設関連法等に抵触する行為は行わなわれないこと。

2. 労働福祉の改善等について

建設労働者の福祉の向上を図り、建設需要に対する労働者を確保し建設業の健全な発展を図るため労働災害補償保険制度、建設業退職金共済制度及び労働災害補償共済制度等の普及徹底に関する措置要領 (平成3年1月4日施行) を遵守すること。

また、原則として退職金共済制度による「発注者用掛金収納書」を契約後1ヶ月以内に提出すること。

3. 各種調査への協力依頼

公共事業労務費調査、共通仮設費の実績調査等の対象工事となった場合は、必要な協力を行わなければならない。

4. 市内業者の活用

下請や資材調達にあたっての契約は本来当事者間の自由な意志が尊重されますが、下請契約の相手はできる限り市内業者としてください。また、建設資材はできる限り市内業者から購入してください。

5. 工食用資機材等の搬送に関する関連法の遵守

道路交通法並びに関係法令に抵触する搬送車両や交通安全の配慮にかける業者は排除すること。

6. 工事実績情報の登録

請負金額が5,000千円以上の工事については、工事实績情報 (CORINS) の登録をすること。

(D) その他特記事項

- 1. 特に必要な監督員の検査等
- 2. 支給材料及び貸与品のある場合の品名、数量、規格性能、引渡し場所及び時期の特記
- 3. 部分引渡しを受ける「指定部分」の指定。
- 4. その他特記すべき事項

- ① 建設リサイクル法に準ずる。
- ② 使用する木材は、原則として全て地域材とする。
- ③ 12cm角以下の材料はすべて県産材とする。  
(ただし一般的に県産材の利用にはそぐわない材料は除く。)
- ④ ③についてどうしても県産材の利用ができない場合 (材料が調達できない場合等) については、監督員の承諾を受け地域材に替えることができることとする。

特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士第128417号	検 印	意 匠	構 造	設 備	工 事 名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮 尺 日 付	N・D	A 1
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図 面 名	現場説明書	年 月 日		

7 鉄骨工事	① 鉄骨の製作工場	製作工場の加工能力 ・監督職員の承諾する製作工場 ○建設基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣が性能評価機関として認可を受けた (株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鋼構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(R)グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。 入熱、バス開温度の溶接条件 適用箇所 ○柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 ○隅系 ( ) 鋼材と溶接材の組み合わせと溶接条件 ※図示	(7.1.3)	8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1 補強コンクリートブロック造	※空洞ブロック16・空洞ブロック16-W	(8.2.2)	11 タイル工事	1 陶磁器質タイル	タイルの種類 (11.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法 (mm)</th> <th>きり</th> <th>うわくすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>再生材の</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>外壁</td> <td>2丁掛</td> <td>磁器</td> <td>あり</td> <td>なし</td> <td>標準</td> <td>特注</td> <td>適用 (G)</td> </tr> <tr> <td>ポーチ床</td> <td>150角</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	形状寸法 (mm)	きり	うわくすり	役物	色	再生材の	備考	外壁	2丁掛	磁器	あり	なし	標準	特注	適用 (G)	ポーチ床	150角	○	○	○	○	○		14 金属工事	① ステンレスの表面仕上げ	(14.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※HL程度</td> <td>下記以外の見え掛り全て</td> </tr> <tr> <td>・No.2B程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鏡面仕上げ</td> <td></td> </tr> </table>	種 別	施工箇所	※HL程度	下記以外の見え掛り全て	・No.2B程度		・鏡面仕上げ																																																																													
	施工箇所	形状寸法 (mm)	きり		うわくすり	役物	色		再生材の	備考																																																																																																																	
	外壁	2丁掛	磁器		あり	なし	標準		特注	適用 (G)																																																																																																																	
	ポーチ床	150角	○		○	○	○		○																																																																																																																		
	種 別	施工箇所																																																																																																																									
	※HL程度	下記以外の見え掛り全て																																																																																																																									
	・No.2B程度																																																																																																																										
	・鏡面仕上げ																																																																																																																										
	② 施工管理技術者	適用する (7.1.4)	2 コンクリートブロック 構造及び壁		※標準仕8.3.1及び下表による (8.3.2)	② 張り付け用材料	既製適合モルタル		<table border="1"> <tr> <th>保水率 (%)</th> <th>単位容積質量 (kg/l)</th> <th>接着強度 (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>長さ変化率 (%)</th> <th>曲げ強さ (N/mm<sup>2</sup>)</th> </tr> <tr> <td>70.0以上</td> <td>1.80程度</td> <td>0.60以上</td> <td>0.40以上</td> <td>4.0以上</td> </tr> </table>	保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強度 (N/mm <sup>2</sup> )	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )	70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	4.0以上	2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	(14.2.2) (表14.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・B-1種 (無着色)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B-2種 (・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)</td> <td></td> </tr> </table>	種 別	施工箇所	・B-1種 (無着色)		・B-2種 (・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)																																																																																																
	保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強度 (N/mm <sup>2</sup> )		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )																																																																																																																					
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	4.0以上																																																																																																																							
種 別	施工箇所																																																																																																																										
・B-1種 (無着色)																																																																																																																											
・B-2種 (・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)																																																																																																																											
③ 鋼材	鋼材の材質 (7.2.1) (7.2.10) (表7.2.1)	3 ALCパネル	(8.4.2~6) (表8.4.3.4)	③ 壁タイル張りの工法	内装タイル ※壁タイル接着剤張り ・積上げ張り (11.3.3) (表11.3.2)	3 鉄の亜鉛めっき	(14.2.3) (表14.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種 別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>溶融亜鉛めっき</td> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・F種</td> <td></td> </tr> </table>	表面処理方法	種 別	施工箇所	溶融亜鉛めっき	・A種			・B種			・C種			・D種			・E種			・F種																																																																																															
表面処理方法	種 別	施工箇所																																																																																																																									
溶融亜鉛めっき	・A種																																																																																																																										
	・B種																																																																																																																										
	・C種																																																																																																																										
	・D種																																																																																																																										
	・E種																																																																																																																										
	・F種																																																																																																																										
④ スカラップ	改良型スカラップ	④ 押出成形セメント板 (ECP)	(8.5.2~5) (表8.5.1.2)	4 陶磁器質タイル型枠先付け工法	外装タイル ※密着張り ・マスク張り ○ブリック (引つけ専用固定材) 躯体表面の処理 ・行わない ※行う (施工範囲 ※図示) 躯体表面の処理方法 MOR工法又は目貫工法 (6章コンクリート工事) 下地モルタル塗り ※標準仕15.2.2~15.2.5 タイルの試験張り ※行わない ・行う (※外装タイル) (11.2.1)	④ 金属成形板張り	(14.6.2) (表14.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>形 状</th> <th>製 法</th> <th>材 種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>・スバンドレル形</td> <td>・押し出し</td> <td>※アルミニウム製</td> <td></td> <td></td> <td>・B-1種</td> </tr> <tr> <td>・ロール</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・B-2種 ( )</td> </tr> <tr> <td>・パネル形</td> <td>※プレス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	形 状	製 法	材 種	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面処理	・スバンドレル形	・押し出し	※アルミニウム製			・B-1種	・ロール					・B-2種 ( )	・パネル形	※プレス																																																																																															
形 状	製 法	材 種	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面処理																																																																																																																						
・スバンドレル形	・押し出し	※アルミニウム製			・B-1種																																																																																																																						
・ロール					・B-2種 ( )																																																																																																																						
・パネル形	※プレス																																																																																																																										
⑤ エンドタブ	鋼製エンドタブ 切断する箇所 ( )	⑤ 耐火性能 ○有り ( ) ・無し		5 アルミニウム製窓木	伸縮調整継手 ※設けない ・設ける (施工箇所は図示)	5 アルミニウム製窓木	(14.7.2) (表14.2.1) (表14.7.1)	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>呼称肉厚 (mm)</th> <th>表面処理</th> <th>固定間隔</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・250形</td> <td>1.6以上</td> <td>※A-1又はB-1種</td> <td>固定方法及び間隔は品質計測は本体製造所の仕様による。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・300形</td> <td>1.8以上</td> <td>・B-2種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・350形</td> <td>2.0以上</td> <td>( )</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・100形</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種 別	呼称肉厚 (mm)	表面処理	固定間隔	備 考	・250形	1.6以上	※A-1又はB-1種	固定方法及び間隔は品質計測は本体製造所の仕様による。		・300形	1.8以上	・B-2種			・350形	2.0以上	( )			・100形																																																																																														
種 別	呼称肉厚 (mm)	表面処理	固定間隔	備 考																																																																																																																							
・250形	1.6以上	※A-1又はB-1種	固定方法及び間隔は品質計測は本体製造所の仕様による。																																																																																																																								
・300形	1.8以上	・B-2種																																																																																																																									
・350形	2.0以上	( )																																																																																																																									
・100形																																																																																																																											
⑥ 高力ボルト	※トルシア形高力ボルト ・JIS高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト	⑥ アスファルト防水	(9.2.2.3) (表9.2.3~8)	⑥ 木材の品質	※標準仕12.2.1 ・市販品 (12.2.1) ・保存処理木材を適用する箇所 ( ) ・炭化木材 ※使用する ・使用しない 使用する箇所 ( ) ・仮質の木 ※使用する ・使用しない 使用する箇所 ( ) ・JAS認定品又はJAS規格・基準等の規格証明書が添付された材料 ※使用する ・使用しない 使用する箇所 ( ) ・地域材 ※使用する ・使用しない 使用する箇所 ( )	6 手すり及びタラップ	(14.2.1) (14.8.2.3) (表14.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>材料の種類</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>手すり</td> <td>※ステンレスSUS304</td> <td>※HL程度 ・鏡面程度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・鉄</td> <td>亜鉛めっき 外部 ※C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>内部 ※E種</td> </tr> <tr> <td>タラップ</td> <td>※ステンレスSUS304</td> <td>※研磨無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・鉄</td> <td>亜鉛めっき 内外部 ※C種</td> </tr> </table>	種 別	材料の種類	表面処理	手すり	※ステンレスSUS304	※HL程度 ・鏡面程度		・鉄	亜鉛めっき 外部 ※C種			内部 ※E種	タラップ	※ステンレスSUS304	※研磨無し		・鉄	亜鉛めっき 内外部 ※C種																																																																																																	
種 別	材料の種類	表面処理																																																																																																																									
手すり	※ステンレスSUS304	※HL程度 ・鏡面程度																																																																																																																									
	・鉄	亜鉛めっき 外部 ※C種																																																																																																																									
		内部 ※E種																																																																																																																									
タラップ	※ステンレスSUS304	※研磨無し																																																																																																																									
	・鉄	亜鉛めっき 内外部 ※C種																																																																																																																									
⑦ 溶接部の試験	AOOL ※4.0% ・2.5% (7.6.11) 検査水準 ※第6水準 ・図示 (7.6.11) (表7.6.2)	⑦ 改質アスファルトシート防水	(9.3.2~4) (表9.3.1)	⑦ 集材等 (G)	品 名 規格・品質 芯材の種類 化粧紙の種類	⑦ モルタル塗り材料	(15.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>呼称肉厚 (mm)</th> <th>表面処理</th> <th>固定間隔</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・250形</td> <td>1.6以上</td> <td>※A-1又はB-1種</td> <td>固定方法及び間隔は品質計測は本体製造所の仕様による。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・300形</td> <td>1.8以上</td> <td>・B-2種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・350形</td> <td>2.0以上</td> <td>( )</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・100形</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種 別	呼称肉厚 (mm)	表面処理	固定間隔	備 考	・250形	1.6以上	※A-1又はB-1種	固定方法及び間隔は品質計測は本体製造所の仕様による。		・300形	1.8以上	・B-2種			・350形	2.0以上	( )			・100形																																																																																														
種 別	呼称肉厚 (mm)	表面処理	固定間隔	備 考																																																																																																																							
・250形	1.6以上	※A-1又はB-1種	固定方法及び間隔は品質計測は本体製造所の仕様による。																																																																																																																								
・300形	1.8以上	・B-2種																																																																																																																									
・350形	2.0以上	( )																																																																																																																									
・100形																																																																																																																											
8 耐火措置	(7.9.2~6)	⑧ シーリング	(9.6.2) (表9.6.1)	⑧ 接着剤	接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシン樹脂又はホルムアルデヒド系 防霉剤 (以下、「ユリア樹脂等」という。)を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種	⑧ 床コンクリートの直ぐ仕上げ	(表6.2.4) (15.3.1.2)	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>呼称肉厚 (mm)</th> <th>表面処理</th> <th>固定間隔</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・薄付け仕上塗材</td> <td></td> <td>・外装薄塗材S</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・可とう形外装薄塗材S</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>厚吹きセラキャストX 同等品 山本工業化工</td> <td></td> <td>・外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・多彩陶石キャスト</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・内装薄塗材E</td> <td>・砂壁状しゅく</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・可とう形外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・防水形外装薄塗材E</td> <td>・ゆず肌状 ・さざ波形 ・凹凸状</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・内装薄塗材C</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・内装薄塗材L</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・内装薄塗材S</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・内装薄塗材M</td> <td>・京壁状しゅく</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・複層塗材CE</td> <td>・ゆず肌状 ・凸凹処理 ※凹凸模様</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・可とう形複層塗材CE</td> <td>・耐水性 ※3種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・複層塗材S</td> <td>・上塗材</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・複層塗材E</td> <td>・溶媒 ※水系 ・溶剤系</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・複層塗材RE</td> <td>・樹脂 ※アクリル系</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・複層塗材RS</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○防水形複層塗材CE</td> <td>・外観 ※つやあり ・つやなし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・防水形複層塗材E</td> <td>・メタリック</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・防水形複層塗材RS</td> <td>・防水形の増塗材 ※行う</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・軽量骨材仕上塗材</td> <td>・砂壁状</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・可とう骨材仕上塗材</td> <td>・可とう骨材仕上塗材</td> <td></td> </tr> </table>	種 別	呼称肉厚 (mm)	表面処理	固定間隔	備 考	・薄付け仕上塗材		・外装薄塗材S					・可とう形外装薄塗材S			厚吹きセラキャストX 同等品 山本工業化工		・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・多彩陶石キャスト				・内装薄塗材E	・砂壁状しゅく				・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状				・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波形 ・凹凸状				・外装薄塗材S	・砂壁状				・内装薄塗材C					・内装薄塗材L					・内装薄塗材S					・内装薄塗材M	・京壁状しゅく				・複層塗材CE	・ゆず肌状 ・凸凹処理 ※凹凸模様				・可とう形複層塗材CE	・耐水性 ※3種				・複層塗材S	・上塗材				・複層塗材E	・溶媒 ※水系 ・溶剤系				・複層塗材RE	・樹脂 ※アクリル系				・複層塗材RS					○防水形複層塗材CE	・外観 ※つやあり ・つやなし				・防水形複層塗材E	・メタリック				・防水形複層塗材RS	・防水形の増塗材 ※行う				・軽量骨材仕上塗材	・砂壁状				・可とう骨材仕上塗材	・可とう骨材仕上塗材	
種 別	呼称肉厚 (mm)	表面処理	固定間隔	備 考																																																																																																																							
・薄付け仕上塗材		・外装薄塗材S																																																																																																																									
		・可とう形外装薄塗材S																																																																																																																									
厚吹きセラキャストX 同等品 山本工業化工		・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・多彩陶石キャスト																																																																																																																								
		・内装薄塗材E	・砂壁状しゅく																																																																																																																								
		・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状																																																																																																																								
		・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波形 ・凹凸状																																																																																																																								
		・外装薄塗材S	・砂壁状																																																																																																																								
		・内装薄塗材C																																																																																																																									
		・内装薄塗材L																																																																																																																									
		・内装薄塗材S																																																																																																																									
		・内装薄塗材M	・京壁状しゅく																																																																																																																								
		・複層塗材CE	・ゆず肌状 ・凸凹処理 ※凹凸模様																																																																																																																								
		・可とう形複層塗材CE	・耐水性 ※3種																																																																																																																								
		・複層塗材S	・上塗材																																																																																																																								
		・複層塗材E	・溶媒 ※水系 ・溶剤系																																																																																																																								
		・複層塗材RE	・樹脂 ※アクリル系																																																																																																																								
		・複層塗材RS																																																																																																																									
		○防水形複層塗材CE	・外観 ※つやあり ・つやなし																																																																																																																								
		・防水形複層塗材E	・メタリック																																																																																																																								
		・防水形複層塗材RS	・防水形の増塗材 ※行う																																																																																																																								
		・軽量骨材仕上塗材	・砂壁状																																																																																																																								
		・可とう骨材仕上塗材	・可とう骨材仕上塗材																																																																																																																								
⑧ アンカーボルトの保持及び埋込み工法	○構造用アンカーボルト (※図示) ・埋方用アンカーボルト (・A種 ※B種 ・C種) (7.10.3) (表7.10.1)	⑨ 石工工事	(10.2.1) (表10.2.1.2)	⑨ 1 長尺金属板葺	屋根葺形式 (13.2.2.3) (表13.2.1)	⑨ 溶融亜鉛めっき工法	(7.12.3) (表14.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>材 料</th> <th>適用部位</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td>最低板厚4.5mm以上の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>最低板厚3.2mm以上、4.5mm未満の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>普通ボルト、アンカーボルト 最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> </table>	種 別	材 料	適用部位	A種	最低板厚4.5mm以上の形鋼、鋼板		B種	最低板厚3.2mm以上、4.5mm未満の形鋼、鋼板		C種	普通ボルト、アンカーボルト 最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板																																																																																																								
種 別	材 料	適用部位																																																																																																																									
A種	最低板厚4.5mm以上の形鋼、鋼板																																																																																																																										
B種	最低板厚3.2mm以上、4.5mm未満の形鋼、鋼板																																																																																																																										
C種	普通ボルト、アンカーボルト 最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板																																																																																																																										
⑩ 柱底均しモルタル工法	(7.2.9) (7.10.3) (表7.10.2)	2 テラゾ張り	(10.2.1) (表10.2.2)	2 折板葺	形 式 ※重ね形 ・はげ絡め形 ・かん合形 形状 (mm) 山高 ( ) 山ピッチ ( ) 板厚※0.6 ・0.8 材 質 ※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (GLQCR-20-AZ150) (規格等) 軒先面戸板 ※有り ・無し 断 熱 材 ※有り (種別) 厚さ (mm) ・無し 耐火性能 ※30分耐火 ・無し	縮 尺 日 付	N・D	A																																																																																																																			
11 溶融亜鉛めっき工法	(7.12.3) (表14.2.2)	⑩ 壁の石張り工法	(10.3.2.3) (10.5.2.3)	⑩ 1 とい	材 種 ※配管用鋼管 ○鍍銀塩化ビニル管 (13.5.2) (表13.5.1) ・排水用ポリプロピレン塩化ビニル管 (REP-VU) (G)	図 面 名	特記仕様書 (建築) その2	年 月 日	3																																																																																																																		

<p>(仮称) 観光交流センター建設 工事設計図</p> <p>平成 年 月 (全 枚)</p>		<p>章 項目 特記事項</p>		<p>① 技術士</p>		<p>① 鉄筋工事</p>		<p>① 普通コンクリートの設計基準強度</p>																																																																																												
		<p>① 適用基準等</p> <p>② 工事実績情報の登録</p> <p>③ 品質計画</p> <p>④ 電気保安技術者</p> <p>5 条件明示項目</p> <p>⑥ 発生材の処理等</p> <p>⑦ 建築材料等</p>		<p>⑧ 化学物質を発生する建築材料等</p> <p>⑨ 特別な材料の工法</p> <p>⑩ 建設機械</p>		<p>12 化学物質の濃度測定</p> <p>⑬ 完成図書</p> <p>⑭ 完成写真</p>		<p>6 コンクリート工事</p>		<p>⑤ 骨材の種類</p> <p>⑥ 混和材料</p> <p>8 コンクリート躯体表面の処理</p> <p>9 断熱材兼用型特</p> <p>⑩ 単位重量の測定</p>																																																																																										
<p>仕様書</p> <p>I 工事概要 武雄温泉駅高架橋内に鉄骨平家建ての建築物</p> <p>1. 工事場所 底地番 佐賀県武雄市武雄町大字富岡宇西浦8249番地4の一部 仮地番 武雄北部土地区画整理事業23-8街区2号の一部、10街区の一部</p> <p>2. 敷地面積 600.15㎡</p> <p>3. 工事種目 増築</p> <p>建設概要</p> <table border="1"> <tr> <th>建物名称</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>延べ面積 (㎡)</th> <th>建築面積 (㎡)</th> <th>建築基準法別表第1の区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>(仮称) 観光交流センター</td> <td>鉄骨</td> <td>1</td> <td>433.75</td> <td>435.07</td> <td>物品販売店</td> <td>当該工事申請面積及び主要用途</td> </tr> </table> <p>4. 工事範囲</p> <p>※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。 ※「3. 工事種目」のうち _____ の工事範囲は下記表のとおりとする。 ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>2 仮設工事</th> <td>工事範囲全て</td> </tr> <tr> <th>3 土工</th> <td></td> </tr> <tr> <th>4 地業工事</th> <td></td> </tr> <tr> <th>5 鉄筋工事</th> <td></td> </tr> <tr> <th>6 コンクリート工事</th> <td></td> </tr> <tr> <th>7 鉄骨工事</th> <td></td> </tr> <tr> <th>8 コンクリートブロック・ALCパネル 押出成形セメント板工事</th> <td></td> </tr> <tr> <th>9 防水工事</th> <td></td> </tr> <tr> <th>10 石工事</th> <td></td> </tr> <tr> <th>11 タイル工事</th> <td></td> </tr> <tr> <th>12 木工</th> <td></td> </tr> <tr> <th>13 屋根及びとい工事</th> <td></td> </tr> <tr> <th>14 金属工事</th> <td></td> </tr> <tr> <th>15 左官工事</th> <td></td> </tr> <tr> <th>16 建具工事</th> <td></td> </tr> <tr> <th>17 カーテンウォール工事</th> <td></td> </tr> <tr> <th>18 塗装工事</th> <td></td> </tr> <tr> <th>19 内装工事</th> <td></td> </tr> <tr> <th>20 ユニット及びその他の工事</th> <td></td> </tr> </table> <p>II 建築工事仕様</p> <p>1. 共通仕様</p> <p>(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成19年版)」(以下、「仕様」という。)による。</p> <p>2. 特記仕様</p> <p>(1) 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ◎印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の ( ) 内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の (別 ) は (5.3.7) による別図「各部配筋」の当該項目を示す。 (5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また ( ) 内は製品名を示す。 (6) ☐印は「同等による環境物品等の調達推進に関する法律」の特定調達品目を示す。</p>		建物名称	構造	階数	延べ面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	建築基準法別表第1の区分	備考	(仮称) 観光交流センター	鉄骨	1	433.75	435.07	物品販売店	当該工事申請面積及び主要用途	2 仮設工事	工事範囲全て	3 土工		4 地業工事		5 鉄筋工事		6 コンクリート工事		7 鉄骨工事		8 コンクリートブロック・ALCパネル 押出成形セメント板工事		9 防水工事		10 石工事		11 タイル工事		12 木工		13 屋根及びとい工事		14 金属工事		15 左官工事		16 建具工事		17 カーテンウォール工事		18 塗装工事		19 内装工事		20 ユニット及びその他の工事		<p>① 建築工事標準詳細図 (国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課編 平成17年版)</p> <p>② 工事写真の撮り方 (改訂第二版) 建築編 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)</p> <p>※適用する (1.1.4)</p> <p>・建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 (1.2.2)</p> <p>※風速 (Vo= 34 ) ※地表面粗度区分 (・Ⅰ ・Ⅱ ) ※積雪区分 指示第1455号 別表 ( ) 25 cm</p> <p>工事現場における電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 (1.3.3)</p> <p>・要 ・不要</p> <p>※現場説明書による ・積外搬出適切処理 (1.3.8)</p> <p>本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。</p> <p>(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること (3) 安定的な供給が可能であること (4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること</p> <p>なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関(社)公共建築協会(他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。</p> <p>また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。</p> <p>1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗料及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの発散量」は、次のとおりとする。</p> <p>規制対象外</p> <p>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品</p> <p>a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用</p> <p>第三種</p> <p>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③JISのEo規格品 ④JISのFoc規格品</p> <p>標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。</p> <p>本工事に於いて以下に示す建設機械を使用する場合は、排気ガス対策型建設機械を使用するものとする。なお、排気ガス対策型建設機械に代えて、国交省で認定された排気ガス浄化装置を装着した建設機械についても、排気ガス対策型と同等とみなすものとする。</p> <p>※排気ガス対策型建設機械とは、排気ガス対策型建設機械指定要領に基づき国土交通省で指定された排気ガス対策型建設機械をいう。</p> <table border="1"> <tr> <th>機 種</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・バックホウ ・トラクタショベル(車輪式) ・ブルドーザ ・発動発電機(可搬式) ・空気圧縮機(可搬式) ・油圧ユニット類</td> <td>ディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kW以上260kW以下)を搭載した建設機械を対象とする。</td> </tr> <tr> <td>以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの :油圧ハンマ・バイブロハンマ・油圧式鋼管圧入引抜機・アースオーガ ・オールケーシング掘削機・リバーサキューレションドリル ・アースドリル・地下連続壁施工機・全周転型オールケーシング掘削機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ローラ類 :ロードローラ・タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※建設機械を使用しないときは、エンジンを停止するなど建設機械の稼働時間の抑制に努めること。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・低騒音型建設機械の適用 建設機械名 ・杭打ち機 ・トラクターショベル ・バックホウ ・ブルドーザ</td> <td></td> </tr> </table>		機 種	備 考	・バックホウ ・トラクタショベル(車輪式) ・ブルドーザ ・発動発電機(可搬式) ・空気圧縮機(可搬式) ・油圧ユニット類	ディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kW以上260kW以下)を搭載した建設機械を対象とする。	以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの :油圧ハンマ・バイブロハンマ・油圧式鋼管圧入引抜機・アースオーガ ・オールケーシング掘削機・リバーサキューレションドリル ・アースドリル・地下連続壁施工機・全周転型オールケーシング掘削機		・ローラ類 :ロードローラ・タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン		※建設機械を使用しないときは、エンジンを停止するなど建設機械の稼働時間の抑制に努めること。		・低騒音型建設機械の適用 建設機械名 ・杭打ち機 ・トラクターショベル ・バックホウ ・ブルドーザ		<p>① 規格及び仕上げの程度は現場説明書による (2.3.1)</p> <p>② 工事用水 構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償・無償) (2.3.1)</p> <p>③ 工事用電力 構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償・無償) (2.3.1)</p> <p>④ 枠組足場 枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」(厚生労働省 平成15年4月)により、設置については間ガイドラインに基づく動きやすい安のある足場とし、二段手すりと幅木の性能を有する部材があらかじめ備えられた手すり先行用足場型とするか、又は改善措置機材を用いて手すり先行専用足場型と同等の性能を確保するものとする。</p>		<p>① 種類 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (3.2.3) (表3.2.1)</p> <p>・建設汚泥から再生した処理土 ☐</p> <p>※構外指示の場所 受け入れ場所 ( ) 搬出距離 ( km) ・構外搬出適切処理 ・構内指示の場所にたい種 ・構内指示の場所に敷き均し</p>		<p>① 種類 ※高強度プレストレスコンクリート杭 (4.3.1.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>杭径 (mm)</th> <th>杭長 (m) 及び種別</th> <th>継手数</th> <th>セツト数</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>試験杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本 杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>杭頭の処理 ※切断しない (4.3.7) 先端部形状 ※開放形 ・閉そく平たん形 (4.3.2) 杭の継手 建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。 (4.3.6) 施工法 (4.3.3~5) ・特定埋込み杭工法 ・H13国交令1113号第6による支持力算定式でα=250程度を採用できる工法 ・H13国交令1113号第6による支持力算定式でα=、β=、γ=を採用できる工法</p>		杭径 (mm)	杭長 (m) 及び種別	継手数	セツト数	備考	試験杭					本 杭					<p>① 設計基準強度F<sub>c</sub>(N/mm<sup>2</sup>) 施工箇所 ※21 建物躯体 (建物内土間コンクリートを含む)</p> <p>・18</p> <p>※I類 ・II類 (6.1.5) (6.4.1.2) (表6.1.1)</p> <p>② スランブ 工作物のスランブ 15又は18cm (6.2.3)</p> <p>③ セメントの種類 (6.3.2) (6.13.2) (6.16.2) (表6.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>セメントの種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・高炉セメントB種 ☐</td> <td></td> </tr> </table> <p>普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。</p> <table border="1"> <tr> <th>7d</th> <th>35d</th> </tr> <tr> <td>水和熱</td> <td>28d</td> </tr> <tr> <td></td> <td>402J/g以下</td> </tr> </table> <p>④ 骨材の種類 (6.3.3) (6.5.4) ※A ・B (※コンクリート中のアルカリ反応量R<sub>eq</sub>=3.0kg/m<sup>3</sup>以下)</p> <p>⑤ 混和材料 (6.3.5) (6.4.8) ※混和剤 ・混和材</p> <p>⑥ 無筋コンクリート (6.14.3) 設計基準強度F<sub>c</sub>(N/mm<sup>2</sup>) ※18 セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・高炉セメントB種 ☐ (捨てコンクリート)</p> <p>⑦ コンクリート躯体表面の処理 外装タイル後張り面の躯体表面の処理 MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面凹凸状態とする。 高圧水洗工法の目視しを行う場合は、水圧50N/mm<sup>2</sup>以上かつ、2.5分/m<sup>2</sup>以上とし、施工計画書を監督に提出し承諾を受ける。また、目視しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。 コンクリートの増打ち厚さ ※20mm ※施工範囲は図示による。</p> <p>⑧ 断熱材兼用型特 適用及び適用箇所について ・標仕19車内装工事14断熱材による。</p> <p>⑨ 単位重量の測定 ・行う ○行わない</p>		セメントの種類	施工箇所	※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・高炉セメントB種 ☐		7d	35d	水和熱	28d		402J/g以下
建物名称	構造	階数	延べ面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	建築基準法別表第1の区分	備考																																																																																														
(仮称) 観光交流センター	鉄骨	1	433.75	435.07	物品販売店	当該工事申請面積及び主要用途																																																																																														
2 仮設工事	工事範囲全て																																																																																																			
3 土工																																																																																																				
4 地業工事																																																																																																				
5 鉄筋工事																																																																																																				
6 コンクリート工事																																																																																																				
7 鉄骨工事																																																																																																				
8 コンクリートブロック・ALCパネル 押出成形セメント板工事																																																																																																				
9 防水工事																																																																																																				
10 石工事																																																																																																				
11 タイル工事																																																																																																				
12 木工																																																																																																				
13 屋根及びとい工事																																																																																																				
14 金属工事																																																																																																				
15 左官工事																																																																																																				
16 建具工事																																																																																																				
17 カーテンウォール工事																																																																																																				
18 塗装工事																																																																																																				
19 内装工事																																																																																																				
20 ユニット及びその他の工事																																																																																																				
機 種	備 考																																																																																																			
・バックホウ ・トラクタショベル(車輪式) ・ブルドーザ ・発動発電機(可搬式) ・空気圧縮機(可搬式) ・油圧ユニット類	ディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kW以上260kW以下)を搭載した建設機械を対象とする。																																																																																																			
以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの :油圧ハンマ・バイブロハンマ・油圧式鋼管圧入引抜機・アースオーガ ・オールケーシング掘削機・リバーサキューレションドリル ・アースドリル・地下連続壁施工機・全周転型オールケーシング掘削機																																																																																																				
・ローラ類 :ロードローラ・タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン																																																																																																				
※建設機械を使用しないときは、エンジンを停止するなど建設機械の稼働時間の抑制に努めること。																																																																																																				
・低騒音型建設機械の適用 建設機械名 ・杭打ち機 ・トラクターショベル ・バックホウ ・ブルドーザ																																																																																																				
杭径 (mm)	杭長 (m) 及び種別	継手数	セツト数	備考																																																																																																
試験杭																																																																																																				
本 杭																																																																																																				
セメントの種類	施工箇所																																																																																																			
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・高炉セメントB種 ☐																																																																																																				
7d	35d																																																																																																			
水和熱	28d																																																																																																			
	402J/g以下																																																																																																			
特 記	<p>有限会社 藤崎設計事務所</p> <p>事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号</p> <p>佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533</p>		<p>検 印</p>	<p>意 匠</p>	<p>構 造</p>	<p>設 備</p>	<p>工 事 名 (仮称) 観光交流センター2期建設工事</p>	<p>縮 尺 N・D</p>	<p>日 年 月 日</p>	<p>付 2</p>																																																																																										
	<p>図 面 名 特記仕様書(建築) その1</p>																																																																																																			



20 ユニット及びその他の工事

1 フリーアクセスフロア (20.2.2)

Table with columns: 施工箇所, 構造, 仕上り高, 適用地震時, 耐荷重性能, 表面仕上げ, 備考. Includes details for floor construction and seismic requirements.

2 可動間仕切 (20.2.3)

Table with columns: 構造形式, ハナル部の総厚さ, 表面材種, 表面仕上げ, 遮音性能, 防火性能. Details for movable partitions.

3 移動間仕切 (20.2.4)

Table with columns: 遮音性能, 厚さ, 表面材, 表面仕上げ, 操作方法. Details for sliding partitions.

4 トイレブース (20.2.5)

Table with columns: 表面仕上げ材, 仕様. Details for toilet booth finishes.

5 階段滑止め (20.2.6)

Table with columns: 材種, 形状, 幅, 取付け方法. Details for stair slip resistance.

6 階段手すり (20.2.7)

Table with columns: 種別, 施工箇所. Details for stair handrails.

7 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

Table with columns: 種類, 寸法, 色, 備考. Details for blackboards and whiteboards.

8 鏡 (20.2.9)

Table with columns: 寸法, 厚さ. Details for mirrors.

9 表示 (20.2.10)

Table with columns: 衝突防止表示, 表示仕様. Details for safety signs.

10 煙突ライニング (20.2.11)

Table with columns: 煙突用成形ライニング材, 最高使用温度. Details for chimney lining.

11 ブラインド (20.2.12)

Table with columns: 形式, 種類, スラットの材質, スラットの幅. Details for blinds.

12 ロールスクリーン (20.2.13)

Table with columns: 防火性能, 装飾, 備考. Details for roll-up screens.

13 カーテン (20.2.14)

Table with columns: 施工箇所, 形式, 装飾, ひだの種類, 性能, 備考. Details for curtains.

14 カーテンレール (20.2.14)

15 ブラインドボックス及びカーテンボックス (19.2.2)

16 耐震スリット (19.2.2)

17 止水板 (19.2.2)

18 天井点検口 (19.2.2)

19 床点検口 (19.2.2)

20 鋼製書架及び物品棚 (19.2.2)

21 かざ箱 (19.2.2)

22 くつきマット (19.2.2)

23 流し台ユニット (19.2.2)

24 屋内掲示板 (19.2.2)

25 洗面カウンター (19.2.2)

26 防腫れ壁 (19.2.2)

27 視覚障害者用床タイル (19.2.2)

28 旗竿 (19.2.2)

29 旗竿受金物 (19.2.2)

30 フェンス (19.2.2)

31 屋外掲示板 (19.2.2)

32 車止め支柱 (19.2.2)

33 収納家具 (19.2.2)

34 エキスパンション・ジョイント金物 (19.2.2)

35 建築物緑化 (20.2.3)

21 排水工事 (21.2.1)

2 排水樹及びびふた (21.2.2)

3 埋戻し土 (21.2.3)

4 浸透管及び浸透槽 (21.2.3)

22 舗装工事 (22.2.1)

1 盛り土に用いる材料 (22.2.2)

2 道新層及び凍上抑制層の材料 (22.2.3)

3 路床安定処理 (22.2.3)

4 路床土の支持力試験 (22.2.5)

5 路床締め度の試験 (22.2.5)

6 路盤材料 (22.2.3)

7 アスファルト舗装 (22.4.1)

8 コンクリート舗装 (22.5.3)

9 透水性舗装 (22.6.6)

10 排水性舗装 (22.7.3)

10 排水性舗装 (22.7.3)

11 ブロック系舗装 (22.8.2.3)

12 路面標示用塗料 (22.8.2.3)

23 植栽工事 (23.2.1.2)

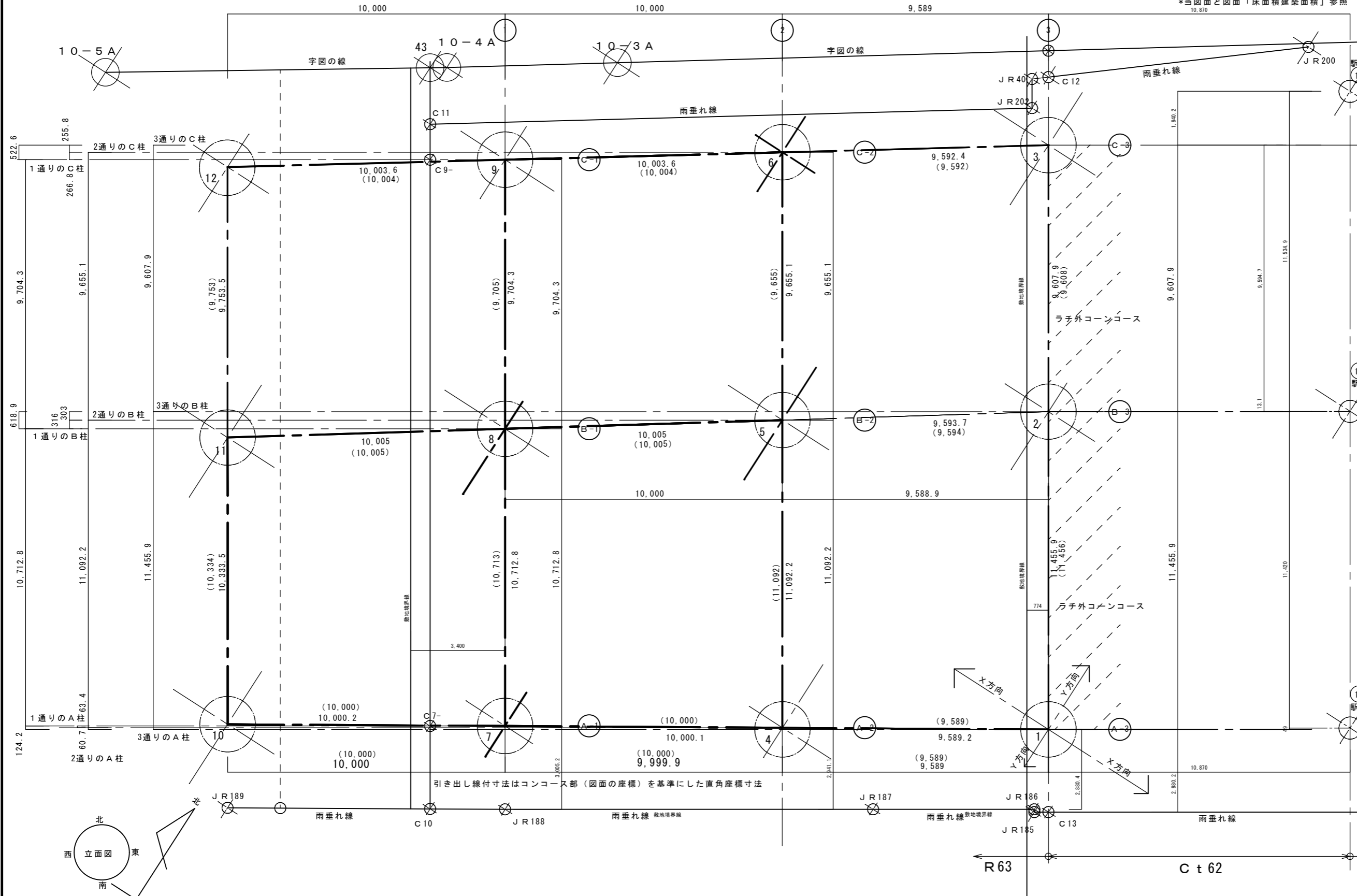
1 樹木の植栽整備 (23.2.3)

2 植込み用土 (23.2.3)

3 土壌改良材 (23.2.3.4)

23 植栽工事 (23.2.3)

- 註 1 当該工事の基準寸法は当図面により追記作成したものである。よってこれを基準線とする。( )内は高架橋図に記載の数値。
  - 2 高架橋のRC柱設計外寸800mm角(隅切付)。
  - 3 基準線間距離、RC柱寸法は施工前に計測確認のこと。
  - 4 当設計図書一式に表示する詳細寸法に於いて質疑がある場合は速やかに設計・監理者との協議、確認を行うこと。
  - 5 雨垂れ線(舗装線石外面)と軒の線(幕板外水切先端面)はJR側へ確認のこと。
- \*当図面と図面「床面積建築面積」参照

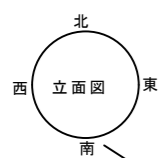


字図の線 至る 10-2Aへ

高架橋NO	X座標	Y座標
1	21812.5968	-90885.7010
2	21822.2309	-90891.8996
3	21830.3109	-90897.0982
4	21807.4595	-90893.7980
5	21816.7878	-90899.7997
6	21824.9074	-90905.0239
7	21802.1021	-90902.2420
8	21811.1113	-90908.0385
9	21819.2723	-90913.2893
JR 200	21838.358	-90891.1340
C 12	21832.374	-90898.4256
JR 40	21831.997	-90898.8850
JR 202	21831.114	-90898.3170
C 11	21818.886	-90916.2527
JR 203	21802.974	-90939.5920
C 9-	21817.8107	-90915.5609
C 7-	21800.6405	-90904.5136
JR 189	21794.2080	-90909.0570
C 10	21798.1250	-90902.8952
JR 188	21799.5740	-90900.6160
JR 187	21806.7540	-90889.4580
JR 186	21809.8980	-90884.5710
JR 185	21809.8140	-90884.5170
C 13	21810.0900	-90884.0881
JR 184	21842.1920	-90834.1930
10-2A	21859.9930	-90859.6970
10-3A	21882.4402	-90911.7740
10-4A	21820.9310	-90916.8520
10-5A	21814.1270	-90927.1020
43	21820.5989	-90917.3540
駅舎 10	21818.5195	-90876.5861
駅舎 11	21828.1234	-90882.7652
駅舎 12	21837.8240	-90889.0066

至る JR 184へ

引き出し線付寸法はコンコース部(図面の座標)を基準にした直角座標寸法



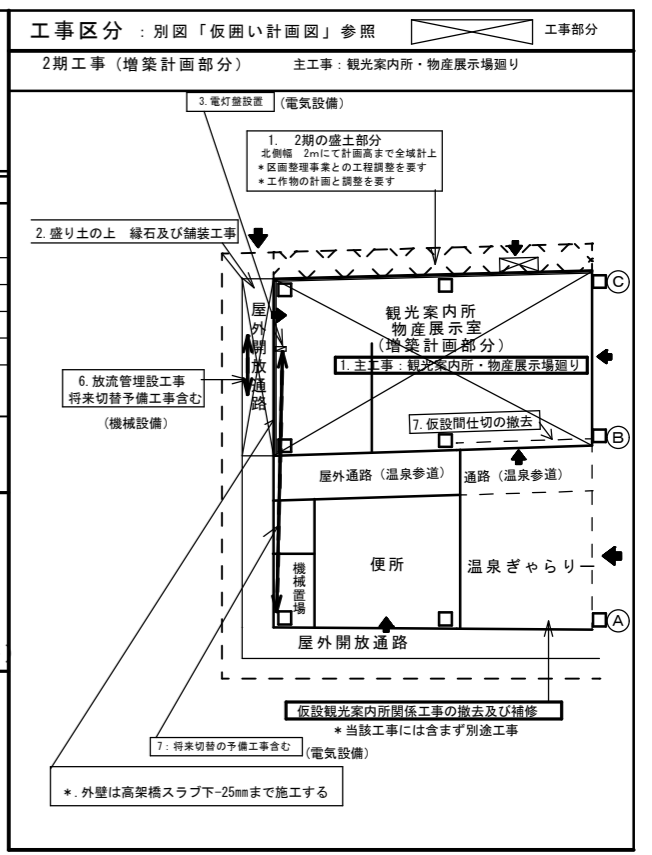
特記事項	有限会社 藤崎設計事務所 佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533	事務所登録第1009号	検印	意匠	構造	設備	工事名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮尺 1/100	A
		管理建築士 藤崎透 1級建築士第128417号					図面名			

建物概要・外部仕上表		主要用途	用途地域	商業地域：80/400	その他	22条地域
		防火 消防法上の扱い：木造扱い・内装不燃および準不燃				
当該工事部分	構造概要		上部構造：鉄骨造平家建	下部構造：独立フーチング基礎		
	基礎	柱・梁	壁	1階床	屋根	
高架橋（既存）部分	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	なし	なし	鉄筋コンクリート造	
注 J R側の躯体とは埋設部とも縁切にて納め必要なヶ所はポリスチレンフォームを施工						

外部仕上げ全体				基点高13.800とG、Lとの関係はJ R側と調整のこと。 外壁水切、タイル仕様についてはJ R側と調整のこと。			J R側の躯体とは埋設部とも縁切にて納め 必要なヶ所はシーリング納め。		
屋根	当該工事：なし								
軒 樋	当該工事：なし 但し外壁とのシーリングは当該工事								
壁	当該工事：なし 但し北側庇のシーリングは当該工事								
外 壁	鉄骨 造機 造機ともJ R工事、但し北側庇用の壁機、埋設排水管は当該工事また西面露出壁機はNADウレタン塗装								
根 廻り	南 面	北 面 (増築計画部分)		西 面 (当該工事部分) (増築計画部分)					
	下地	鉄骨	鉄骨	鉄骨					
その他	下地	コンクリート立ち上がり		コンクリート立ち上がり					
	仕上	御影石厚20mm本磨き		御影石厚20mm本磨き					
屋外開放廊下 床：透水性平板300×300				施設銘板：別図「木製建具及び雑工事」参照 署名板：アクリル板 シルク文字75×300 換気扇カバー：設備工事 外壁丁部：フッ素樹脂焼付塗装鋼板パネル厚1.6mm			外壁開口下断水切：カラ- SUS304 厚0.4mm		

\* 注 1. 仮設計画は関係者間にて調整するものとする。  
\* 注 2. 当該工事の外部仕上げ高はJ R側資料により調整するものとする。  
よって関連する「機械室床高、湯沸室空摺周辺高、屋外開放通路高、床スリーブ施工高、排水管施工高等」は参考値とする。  
\* 注 3. 設備工事に関連する建築工事部分は、設備図面及びJ R側資料により調整するものとする。  
\* 注 4. ラチ外コンコースについてはJ R側と調整のこと。(例：建具関係寸法の確認、納まり、床タイル割り、幅木の納まり等)(例：床開口及び壁、天井開口位置。スリーブ位置。消防設備及び設備機器の位置等)

パラベット 庇 (物産展示場北側入り口)	屋根業内種	特殊耐酸被覆鋼板葺き厚0.4mm
	笠木	フッ素樹脂焼付塗装鋼板パネル厚1.6mm
	幕板	フッ素樹脂焼付塗装鋼板パネル厚1.6mm
	軒天	フッ素樹脂焼付塗装鋼板パネル厚1.6mm
	床	インターロッキング厚60mm 床は周辺地盤高とスリツケにて納める
	壁機	ステンレス42.7Φ HL 溜め拵までの埋設部：VP100 金物：SUS @800内外



### 内部仕上表

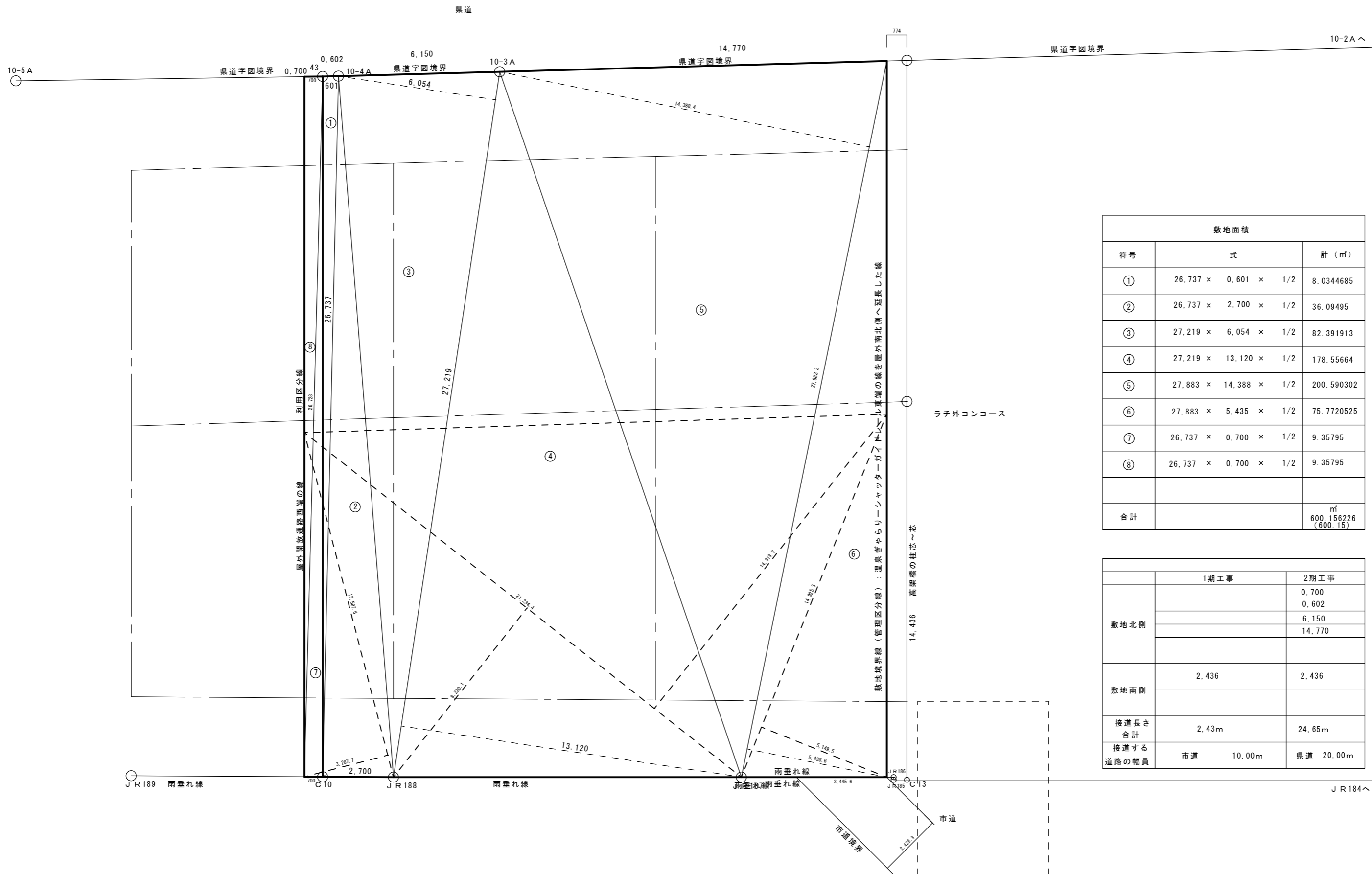
ホルムアルデヒド対策：建材、塗料、接着材は建具を含みF4（F☆☆☆☆）又は規制対象外を採用のこと。

工期	室名	天井高	床			幅木			壁			天井			廻り縁	室名札	その他			
			材料名	厚	床高	材料名	H (FL+)	材料名	シツクハラス対策種別	材料名	シツクハラス対策種別									
1-2期工事 (既存部分) 2期工事 (増築部分)	ラチ外コンコース (3通り境界線の東面)	3.000	下地														アルミ複合パネル下部及び両サイドを曲げ加工			
1-2期工事 (既存部分)	温泉ぎやらし	3.000	下地	RC+モルタルレベル調整厚10mm	FL+0												便所側壁の 押し出しセメント板は高架橋スラブ下-25mmまで延ばしシーリング ビクチャーレールアルミ：天井付フック30個 アルミ製ブラインドボックス 整型ブラインドW80 床仕上げ区分目地種：真鍮3×12			
	屋内通路（温泉参道）	3.000	下地	RC+カラ練りモルタル	FL+0												アルミ製ブラインドボックス (1-1期) 整型ブラインドW80 トイレ説明板：別図「木製建具及び雑工事」参照 床仕上げ区分目地種：真鍮3×12			
2期工事 (増築部分)	風除室	2.500	下地	RC+カラ練りモルタル	FL+0															
	喫茶・軽食	3.000	下地	RC+モルタルこて押え厚20mm	FL+0												可動間仕切り2ヶ所 造付カウンター2ヶ所 H=750,1100 収納棚 本棚W=1100			
	厨房	3.000	下地	RC+モルタルこて押え厚20mm	FL+0												収納棚 消火器BOX 流し台 ガス台 消火器BOX ｽﾌﾟﾙ張り厚0.6			
	観光案内所	3.000	下地	RC+モルタルこて押え厚20mm	FL+0												ビクチャーレールアルミ：天井付フック25個 アルミ製ブラインドボックス 整型ブラインドW80 展示棚 天井点検口 案内カウンター			
1-1期工事 (既存部分)	事務室	3.000	下地	RC+モルタルこて押え厚20mm	FL+0												造付流台 バックガード付コンロ台 ｽﾌﾟﾙ張り厚0.6 屋内コンロ用フード 換気扇不燃枠 機型ブラインド 消火器BOX			
	屋外通路（温泉参道） *床面積に含む部分	3.000	下地	RC+カラ練りモルタル	FL+0												床仕上げ区分目地種：真鍮3×12 トイレ説明板：別図「木製建具及び雑工事」参照			
	女子便所 *コーティング (地下ビット有り)	2.700	下地	モルタル	FL+0												化粧洗面台 プラス 造り付けベンチ 開口寄置：御影石厚30mm 本磨きスリット加工幅5h3@50mm ブラス内蔵：250×350×25 開口上枠（焼付塗装） SUS304厚1.5mm 腰壁天版：御影石厚25mm 本磨き 目隠し袖壁：御影石厚40本磨き			
	ハートフルトレ *コーティング (地下ビット有り)	2.700	下地	モルタル	FL+0												腰壁天版：御影石厚25mm 本磨き 開口上枠（焼付塗装） SUS304厚1.5mm 開口枠：御影石厚25mm 本磨き			
掃除具庫 *コーティング (地下ビット有り)	2.700	下地	モルタル	FL+0												床下点検口ステンレス製タイル貼り用 600角 腰壁天版：御影石厚25mm 本磨き フック掛ステンレスパイプ：19ΦL=1.5Mフック5本付				
機械置場	3.000	下地	コンクリート	FL+0													フェンスH1500 扉W800 鍵付（樹脂コート品）：朝日ユニフェンス同等品 鉄骨：錆止塗装（JIS S5622）+SOP塗			
外壁廻りの内装用軽鉄W65			シーリング：流台、水切、吊戸欄廻り：防カビ性能シリコン系 10×7/2			化粧ケイカル板厚8mm：ニチアスアスラックス200標準準色同等品とし出隅はカラーアルミ役物			天井地下鉄鉄LGS は特記なき限り19型			床 ホモジュニアシート 東リ同等品			腰壁 化粧合板厚5.5mm 大建工業同等品			アルミ複合パネルの目地は変性シリコンシーリングとする		

RC -鉄筋コンクリート	PB -石膏ボード	: 厚9.5mm準不燃QM9828 厚12.5mm不燃NM8619	SOP-合成樹脂調合ペイント塗り	2UE塗り -2液形ポリウレタンエナメル塗り
CB -空洞コンクリートブロック	化粧PB -化粧石膏ボード	: 準不燃QM9072	EP-合成樹脂エマルジョンペイント塗り	UC-1 -1液形変性ポリウレタン樹脂ワニス塗り
LGS -軽量鉄骨	ケイカル板-無石棉セメントケイカルシウム板	: 不燃 NM-8578	VP-塩化ビニール樹脂エナメル塗り	
	化粧ケイカル板-化粧繊維混入ケイカルシウム板	: 不燃 NM-8424	C-クレーヤーラック塗り	
	アルミ複合パネル厚3mm	: 不燃 NM-0209	W -樹脂ワニス (2回塗り)	
	押し出し成形セメント板厚20 (ラムダ20コップ・Y同等品)	: 不燃 NM-8431	OSUC.L-着色ウレタン	
	押し出し成形セメント板厚60	: 耐火1時間 (壁機 F P060N E-9035 機機060N E-9036)		

特記	有限会社 藤崎設計事務所			事務所登録第1009号	検印	意匠	構造	設備	工事名	（仮称）観光交流センター2期建設工事	縮尺	N・S	A
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533			管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号					図面名				

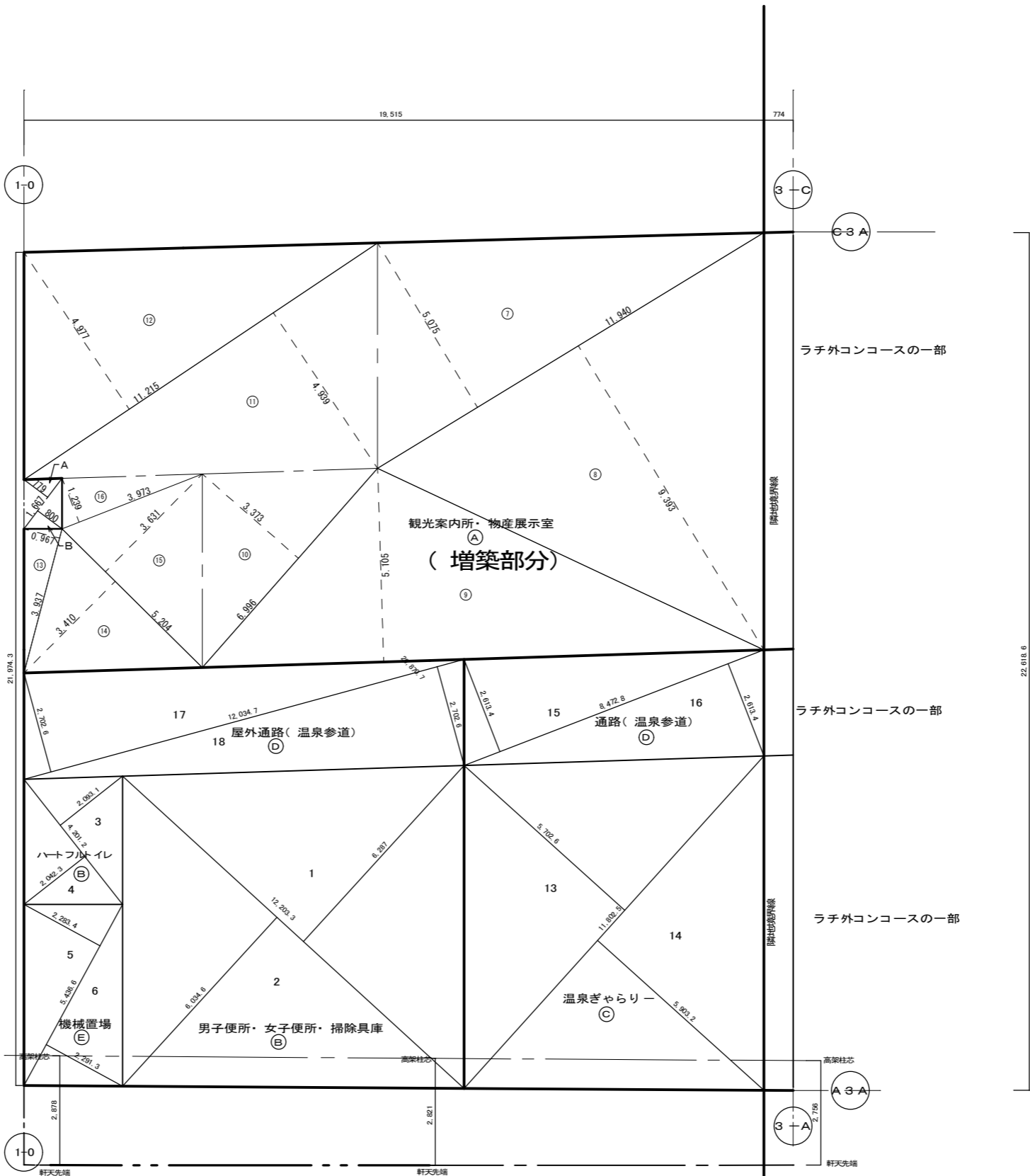




敷地面積		
符号	式	計 (㎡)
①	$26.737 \times 0.601 \times 1/2$	8.0344685
②	$26.737 \times 2.700 \times 1/2$	36.09495
③	$27.219 \times 6.054 \times 1/2$	82.391913
④	$27.219 \times 13.120 \times 1/2$	178.55664
⑤	$27.883 \times 14.388 \times 1/2$	200.590302
⑥	$27.883 \times 5.435 \times 1/2$	75.7720525
⑦	$26.737 \times 0.700 \times 1/2$	9.35795
⑧	$26.737 \times 0.700 \times 1/2$	9.35795
合計		600.156226 (600.15)

	1期工事	2期工事
敷地北側		0.700
		0.602
		6.150
		14.770
敷地南側	2.436	2.436
接道長さ合計	2.43m	24.65m
接道する道路の幅員	市道 10.00m	県道 20.00m

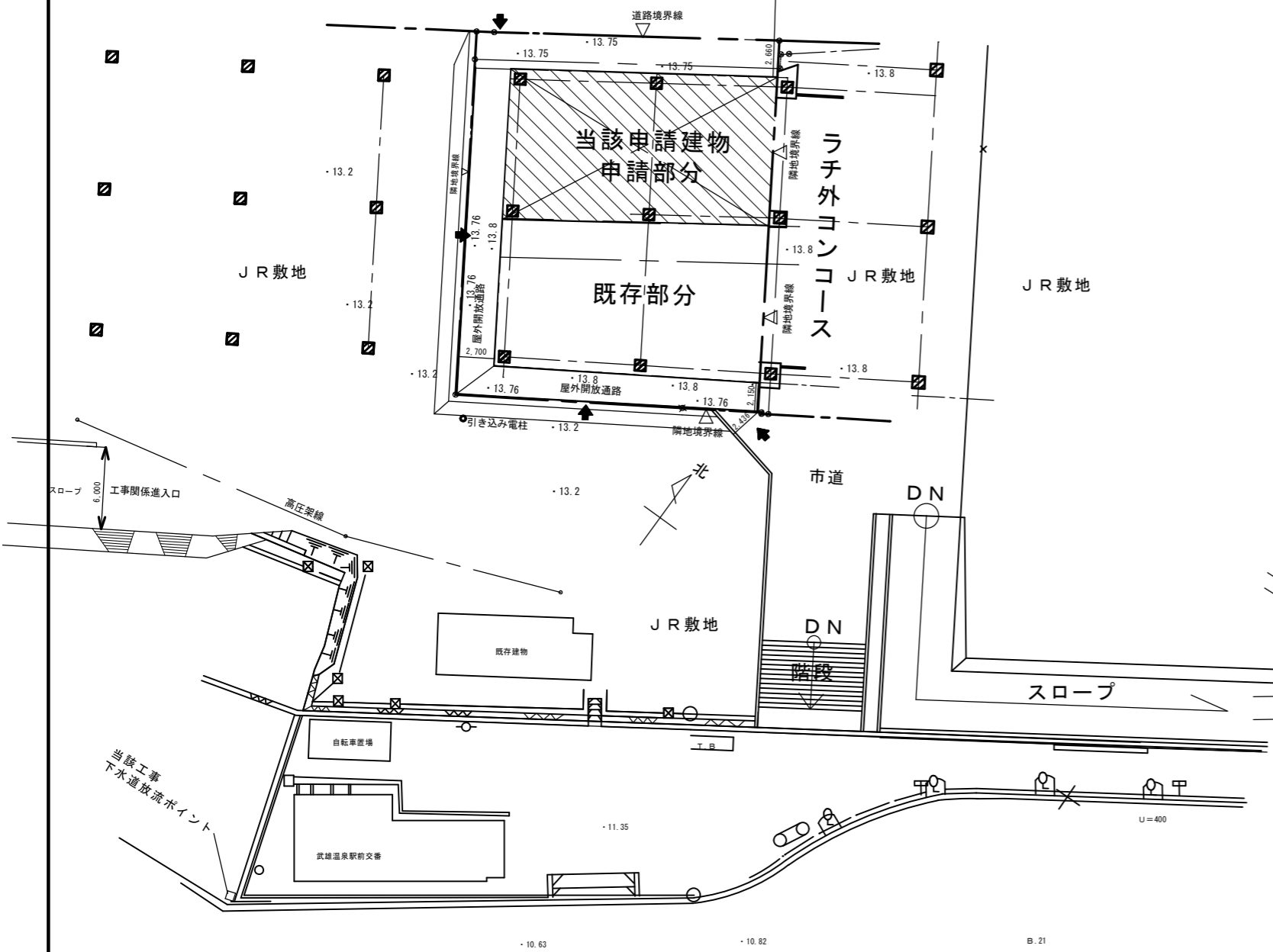
床面積求積表						
位置	式	小計: m <sup>2</sup>	計: m <sup>2</sup>	合計: m <sup>2</sup>	総計: m <sup>2</sup>	
1-1 期工事	男子便所・女子便所 掃除具庫	1 12,203.3 × 6,287 × 0.5	38,361,073.55	75,181,190.64	約38,98坪 128,828,399.1 (128.82)	
		2 12,203.3 × 6,034.6 × 0.5	36,821,017.09			
	身障者置場	3 4,201.2 × 2,093.1 × 0.5	4,396,765.86	8,688,212.4		
		4 4,201.2 × 2,042.3 × 0.5	4,290,055.38			
	機械置場	5 5,436.6 × 2,283.4 × 0.5	6,206,962.2	12,435,407.01		
		6 5,436.6 × 2,291.3 × 0.5	6,228,440.79			
屋外通路(温泉参道)	18 12,034.7 × 2,702.6 × 0.5	16,262,490.11	32,524,980.22	17 16,262,490.11		
	17					
1-2 期工事	通路(温泉参道)	15 2,613.4 × 8,472.8 × 0.5	11,071,407.76	22,142,815.52	約27,42坪 90,631,757.02 (90.63)	既存面積 219.45
		16 2,613.4 × 8,472.8 × 0.5	11,071,407.76			
	温泉ぎやらしー	14 11,802.5 × 5,903.2 × 0.5	34,836,259	68,488,941.5		
		13 11,802.5 × 5,702.6 × 0.5	33,652,468.25			
2 期工事	観光案内所 物産展示室	7 11,940 × 5,075 × 0.5	30,297.75	136,005,869	約64,84坪 214,295,384 (214.30)	増築面積 214.30
		8 11,940 × 9,393 × 0.5	56,076.21			
		9 14,822 × 5,105 × 0.5	37,833,155			
		10 6,996 × 3,373 × 0.5	11,798,754			
	軽食・喫茶店	11 11,215 × 4,939 × 0.5	27,695,442.5	55,603,97		
		12 11,215 × 4,977 × 0.5	27,908,527.5			
	事務室	13 3,937 × 0,967 × 0.5	1,903,539.5	22,685,545		
		14 5,204 × 3,410 × 0.5	8,872.87			
		15 5,204 × 3,631 × 0.5	9,447,862			
		16 3,973 × 1,239 × 0.5	2,461,273.5			
1期工事・2期工事の合計(増築計画部分を含む床面積)					(433.75)	
建築面積求積表						
位置	式	小計: m <sup>2</sup>	計: m <sup>2</sup>	合計: m <sup>2</sup>	総計: m <sup>2</sup>	
1-1 期工事	床面積に同じ		(128.82)		既存面積 (219.45)	
1-2 期工事	床面積に同じ		(90.63)			
2 期工事	床面積に同じ	214.30	215.62	増築面積 (215.62)		
	A 1.667 × 0.779 × 0.5	0.6492965				
	B 1.667 × 0.800 × 0.5	0.6668000				



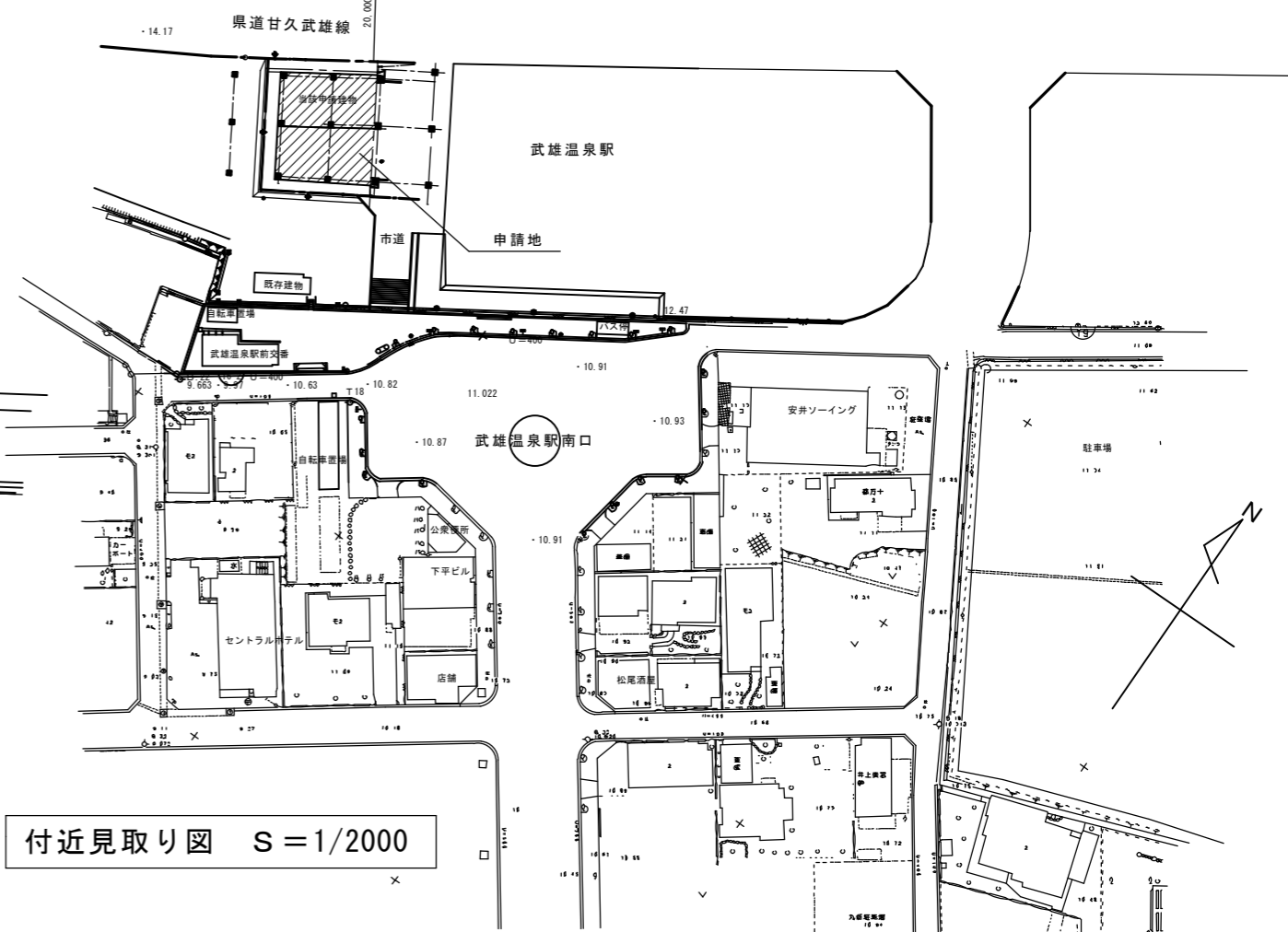
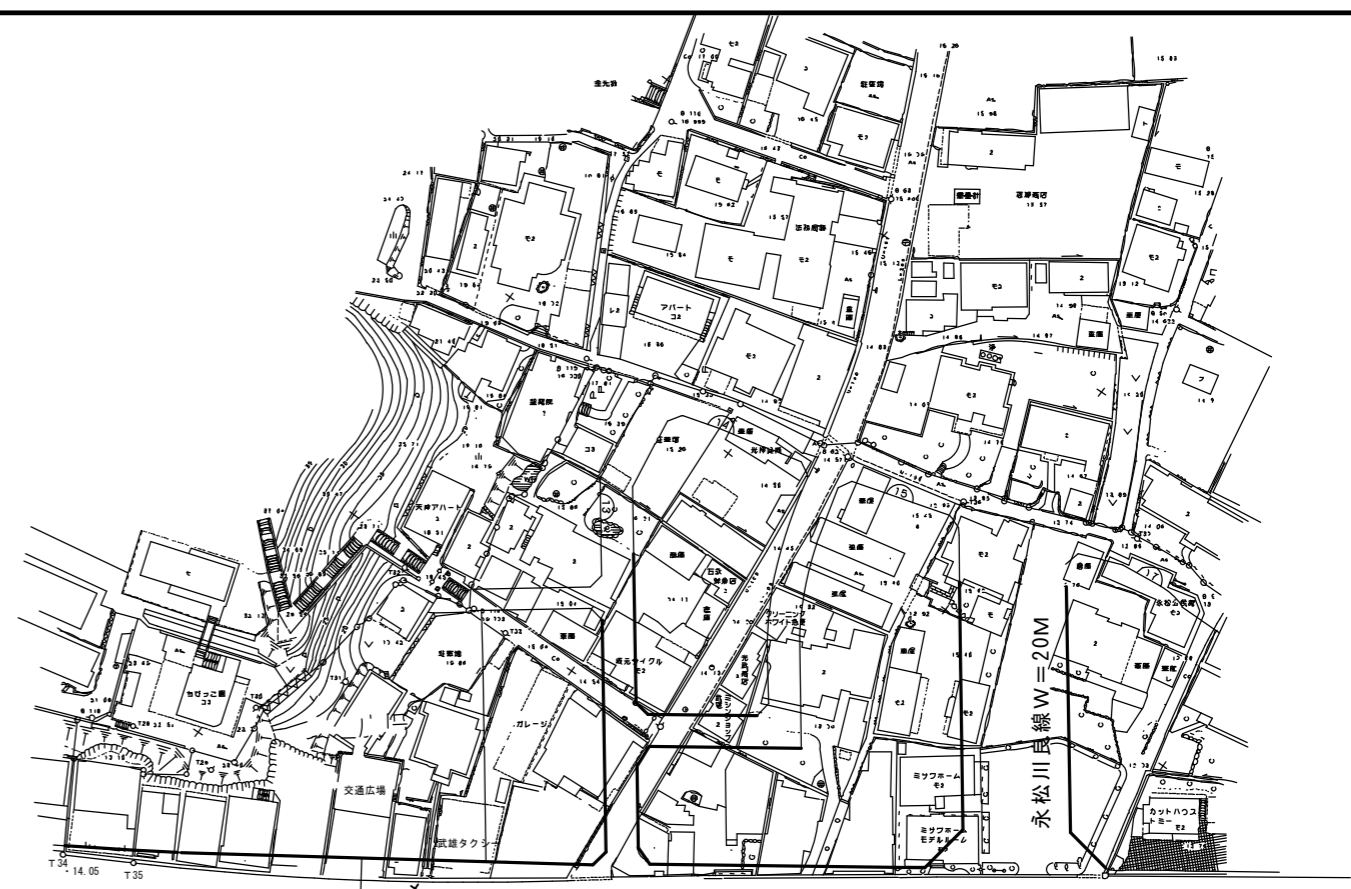
床面積求積図 S=1/100

特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士第128417号	検印	意匠	構造	設備	工事名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮尺	1/100	A 9
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図面名	床面積 建築面積	年月日		

至 武雄市役所 ← 県道甘久武雄線 → 至高橋駅

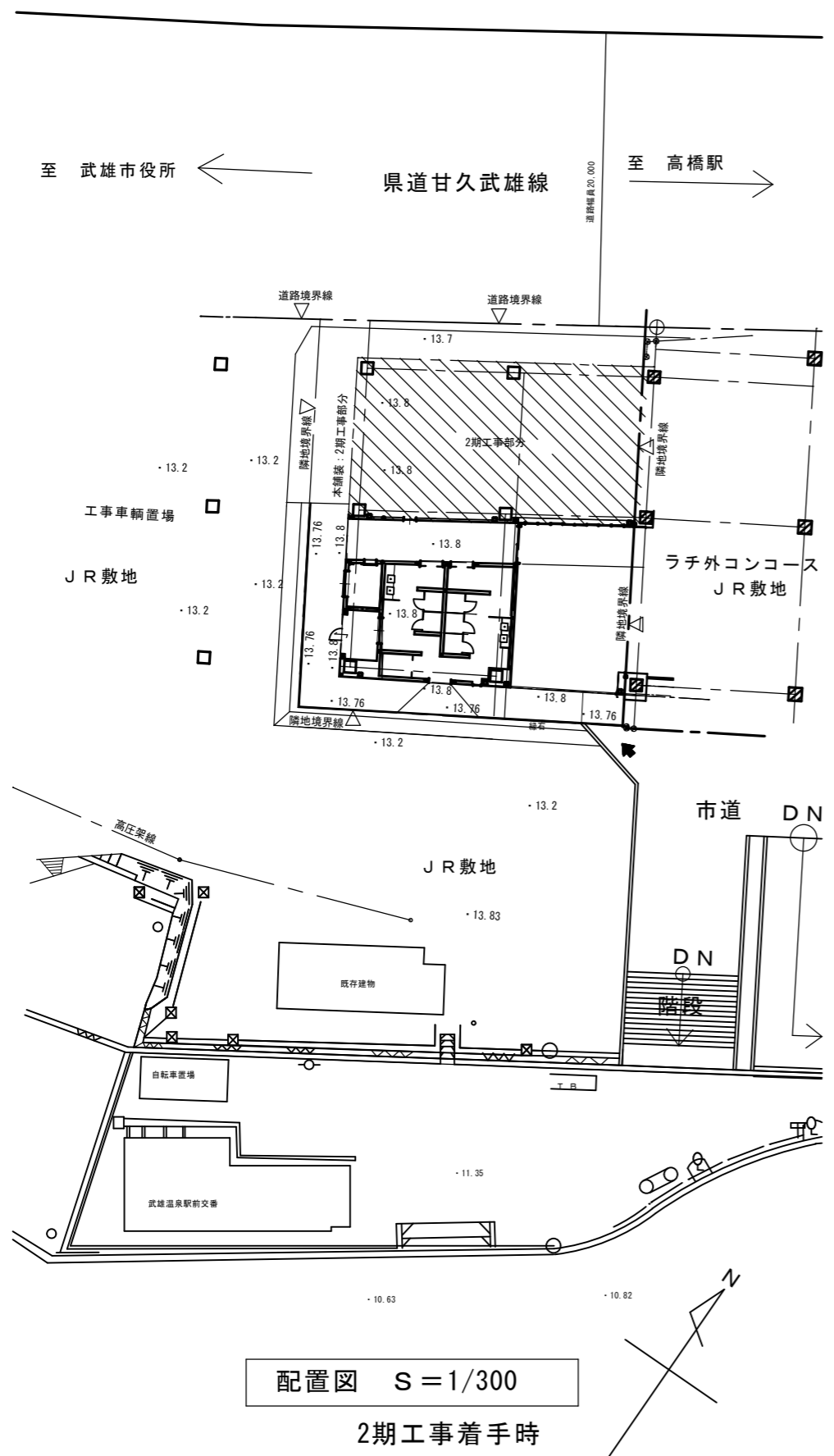


配置図 S = 1/600

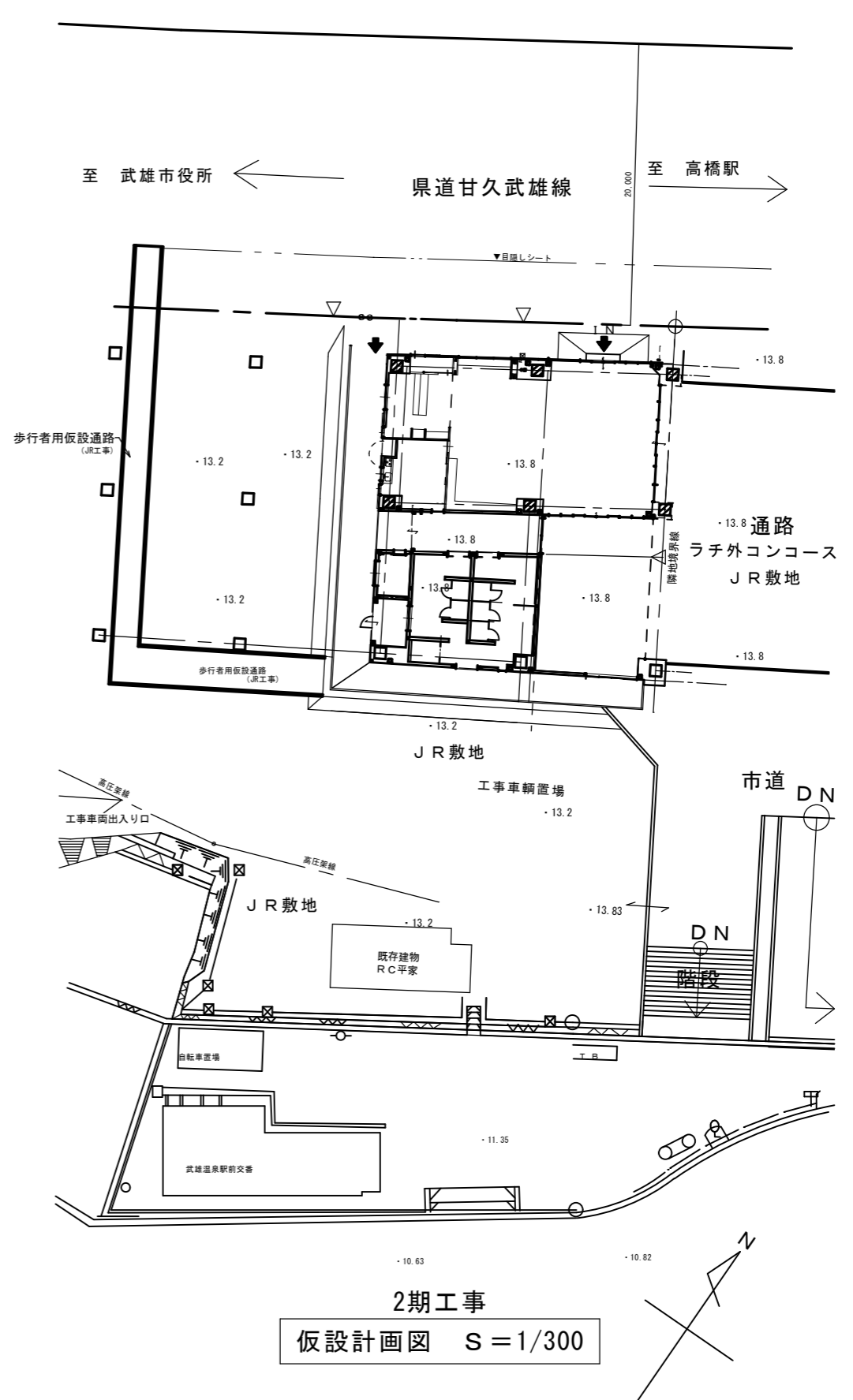


付近見取り図 S = 1/2000

特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号 建築士 川原 貴子 2級建築士 第4744号	検印	意匠	構造	設備	工事名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮尺	1/600 1/1000	A 10
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図面名	配置図・附近見取り図	年月日		



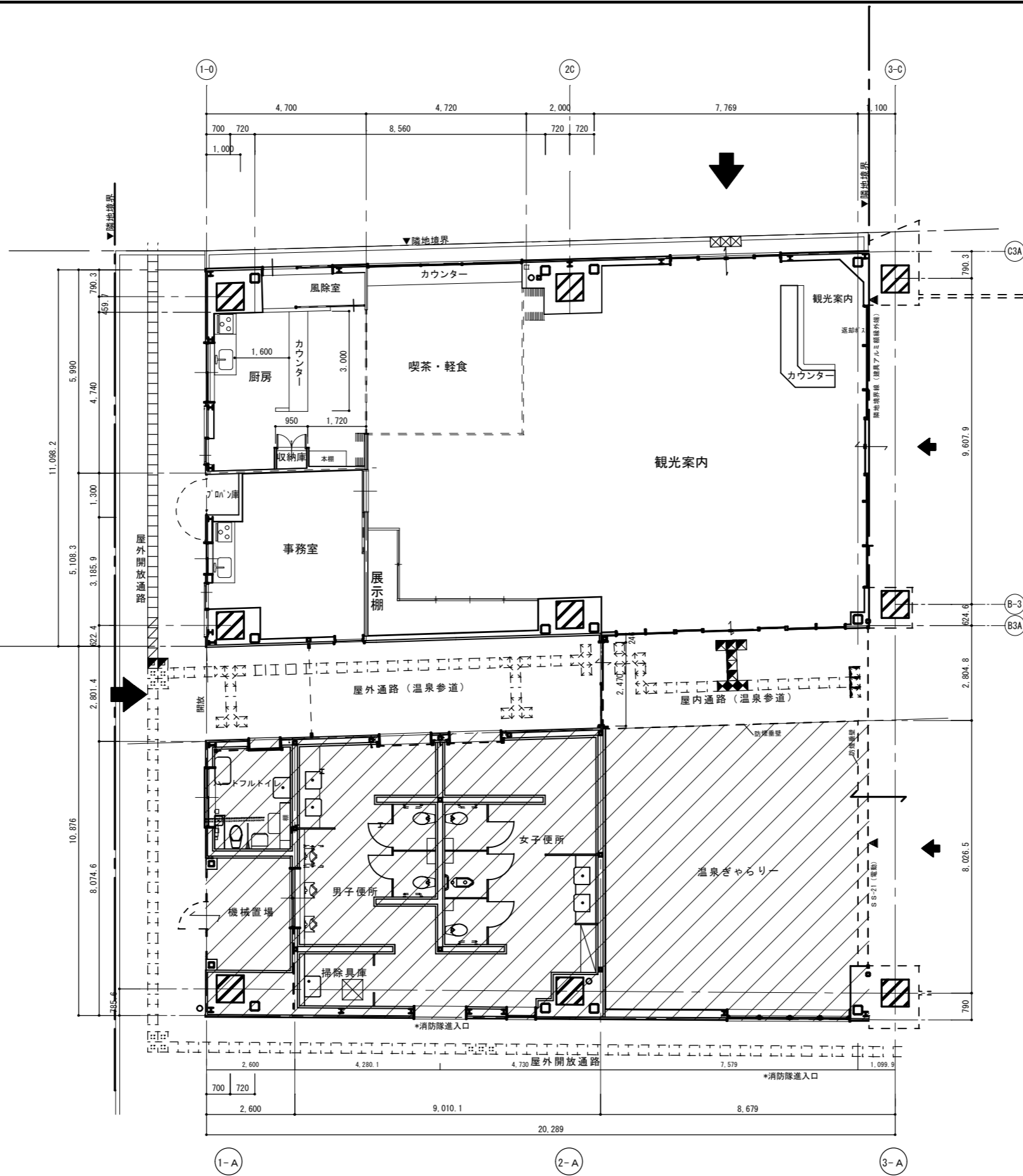
配置図 S = 1/300  
2期工事着手時



2期工事  
仮設計画図 S = 1/300

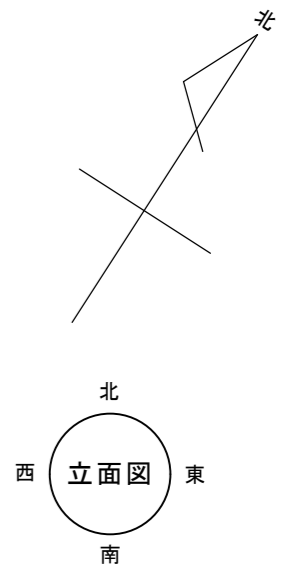
特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号	検印	意匠	構造	設備	工事名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮尺	1/300	A
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533	管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号 建築士 川原 貴子 2級建築士 第4744号					図面名	配置図・仮設計画図	年月日		

増築計画部分



ラチ外コンコース

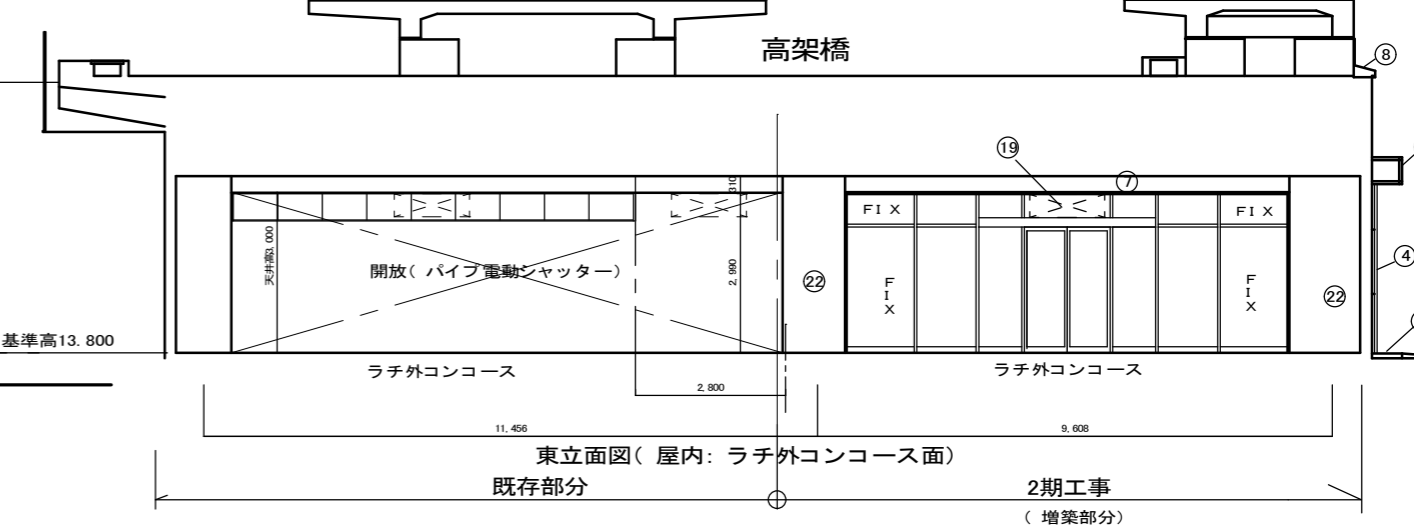
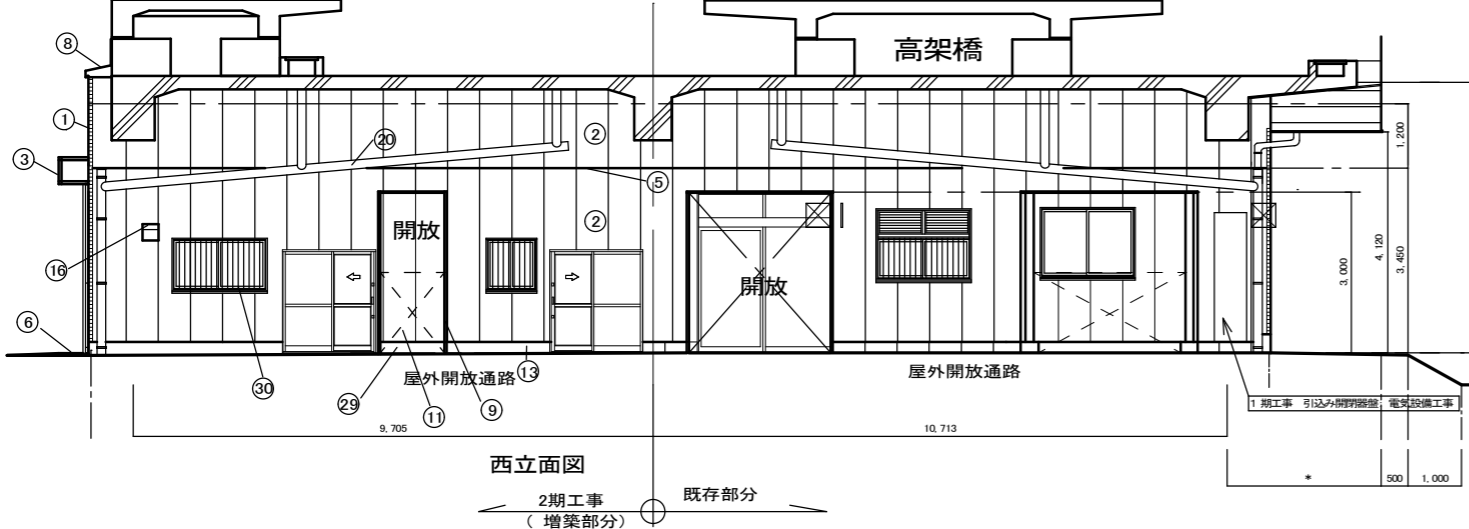
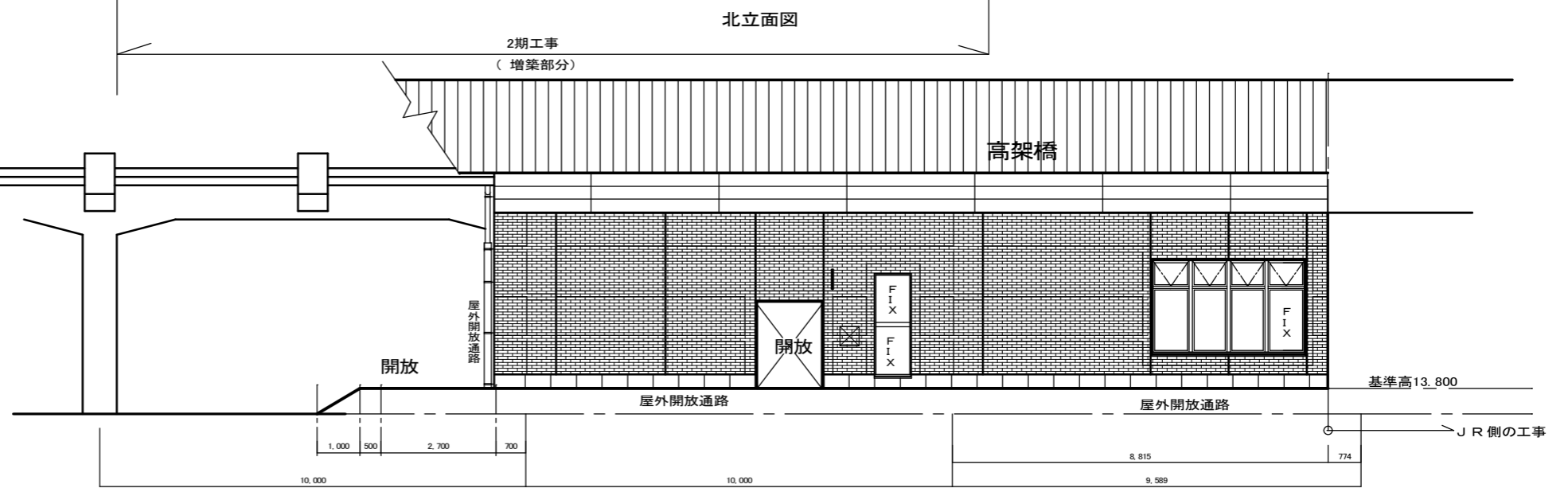
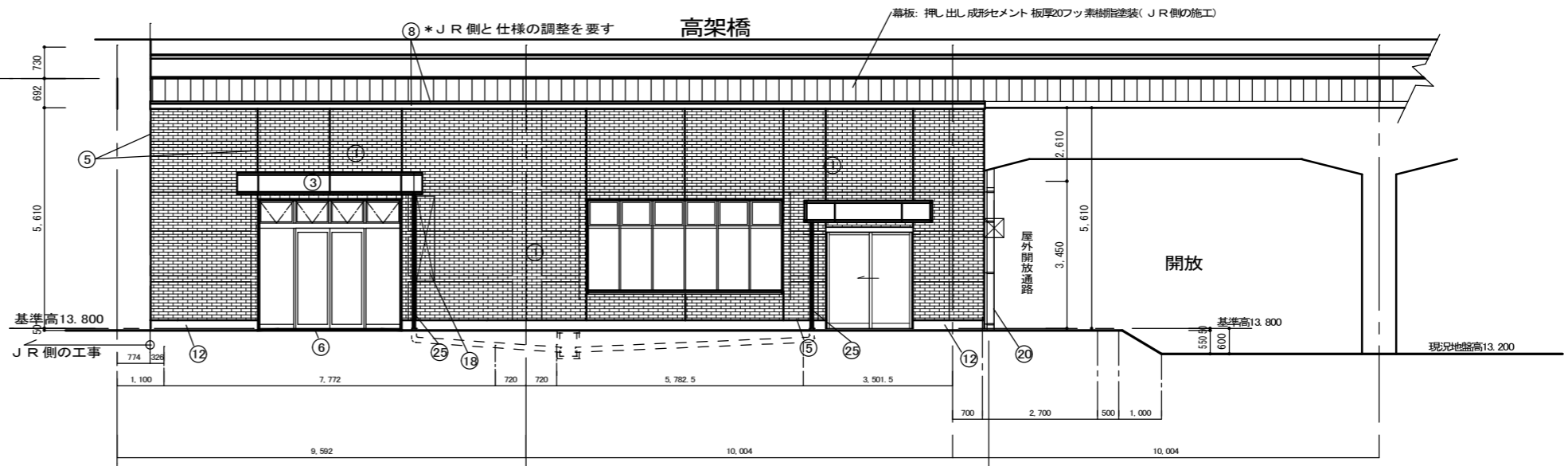
<input checked="" type="checkbox"/> 既存 高架橋RC柱：800角	
磁器タイル	<input checked="" type="checkbox"/> 1期工事にて誘導形タイルを施工 2期工事にて警告形タイルに張り替え <input checked="" type="checkbox"/> 1期工事にて一般床タイルを施工 2期工事にて警告形タイルに張り替え
	<input checked="" type="checkbox"/> 1期工事にて平板を施工 <input checked="" type="checkbox"/> 2期工事にて警告形ブロックに張り替え 平板300×300 25点プレート
タイル	<input checked="" type="checkbox"/> 1期工事にて一般床タイルを施工 2期工事にて誘導形タイルに張り替え 平板ブロック300×300 4線字ブロック
	<input checked="" type="checkbox"/> 1期工事にて一般平板を施工 2期工事にて誘導形に張り替え
備考 点線ブロックは既存を示す。	
縄張り、遣り方	基準FL高さは「ラチ外コンコースFL高」とする
	屋外の舗装高さはラチ外コンコース高さとする。但し周辺高さを勘案した水勾配をとる（鉄骨柱脚RC柱型等の納まりに留意のこと）
	縄張り、遣り方は字図確認、施主の確認を得ること。 敷地北側の庇及びポーチの出は施主立会いのもと字図確認の上製作のこと。



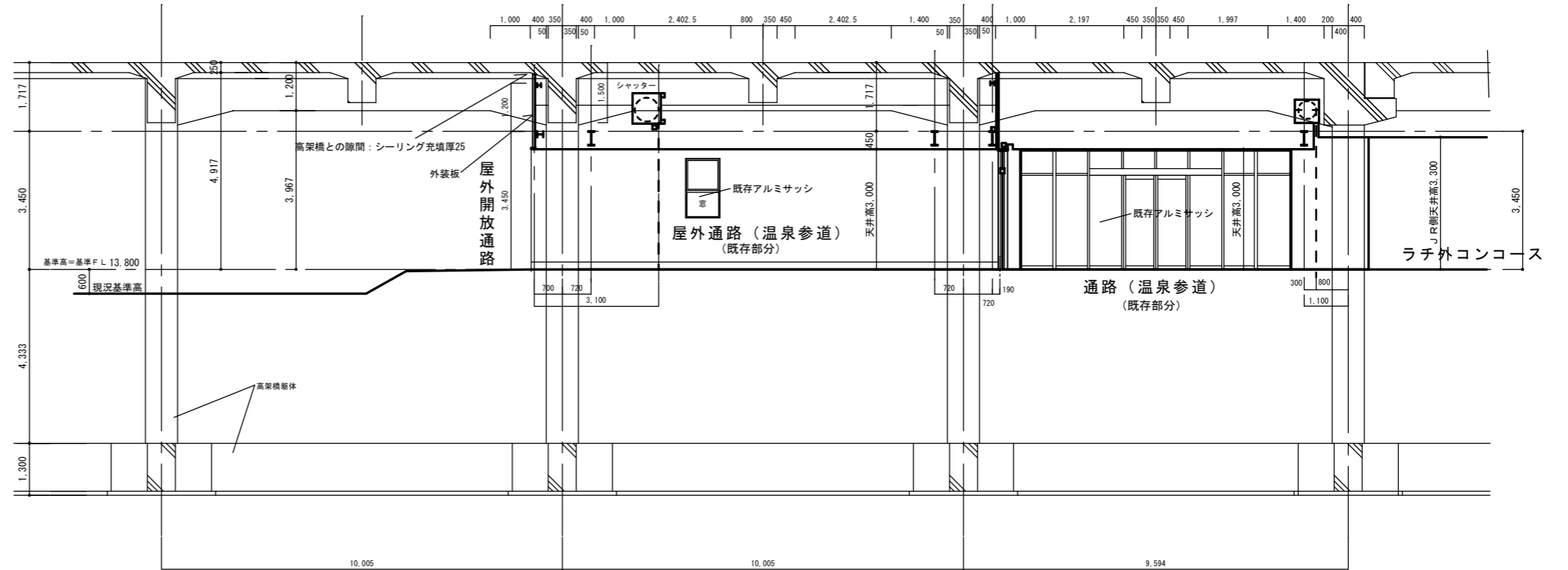
特記	有限会社 藤崎設計事務所 佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎透 1級建築士第128417号 建築士 川原貴子 2級建築士 第4744号	検印	意匠	構造	設備	工事名 (仮称) 観光交流センター2期建設工事 図面名 平面図	縮尺 1/100 日付 年月日	A 12
	消防隊出入口								

記号	部位	仕上げ
①	外壁	押し出しセメント板厚60mm下地(ブリック) せり器質ニ丁掛けタイル(ブリック) 西壁側コーナ―は7mm折り返し型、帯型、開口部は白色、他はレンガ色 *JR側と仕様の調整を要す
②	外壁	押し出しセメント板厚60mm下地 +防水形複層塗材E
③	笠木・幕板	フッ素樹脂焼付塗装鋼板パネル厚1.6mm
④	防煙垂壁	
⑤	シーリング	変成シリコン系 MS-2
⑥	床	インターロッキング
⑦	内壁	アルミ複合板 *JRと調整
⑧	水切	フッ素樹脂焼付塗装鋼板パネル *JR側と調整
⑨	開口三方枠	カラーステンレス
⑩	鉄骨	錆止め+S-O-P塗り
⑪	フェンス	ビニール被覆H1500扉付
⑫	根廻	御影石貼り厚20mm *JR側と仕様の調整を要す
⑬	根廻	御影石貼り厚10mm *JR側と仕様の調整を要す
⑭	幕板	押し出し成形セメント板厚20フッ素樹脂塗装
⑮	郵便受箱	ステンレス 25 応用壁幅 ステンレス
⑯	換気扇フード	ステンレス(設備工事) 26 開口壁幅 御影石厚25mm
⑰		27 マダサ ステンレス(焼付塗装)
⑱	施設銘板	木板 28 沓摺 御影石厚30mm
⑲	室名札	木板 29 根廻 モルタル金こて
⑳	高架橋用縦樋	V P 150φ JR側の工事範囲 NADウレタン塗(当該工事) 30 鋼製建具 面格子付
㉑	室名札	木板 31 床見切縁 目地棒
㉒	柱型	別途工事: JR側の工事範囲 ㉒ トイレ案内板
㉓	空調屋外機	設備工事 ㉓ トイレ説明板
㉔	シーリング+見切	テルミ焼付(当該工事範囲)

\*換気設備用フード及び他の設備用機器は設備図面参照

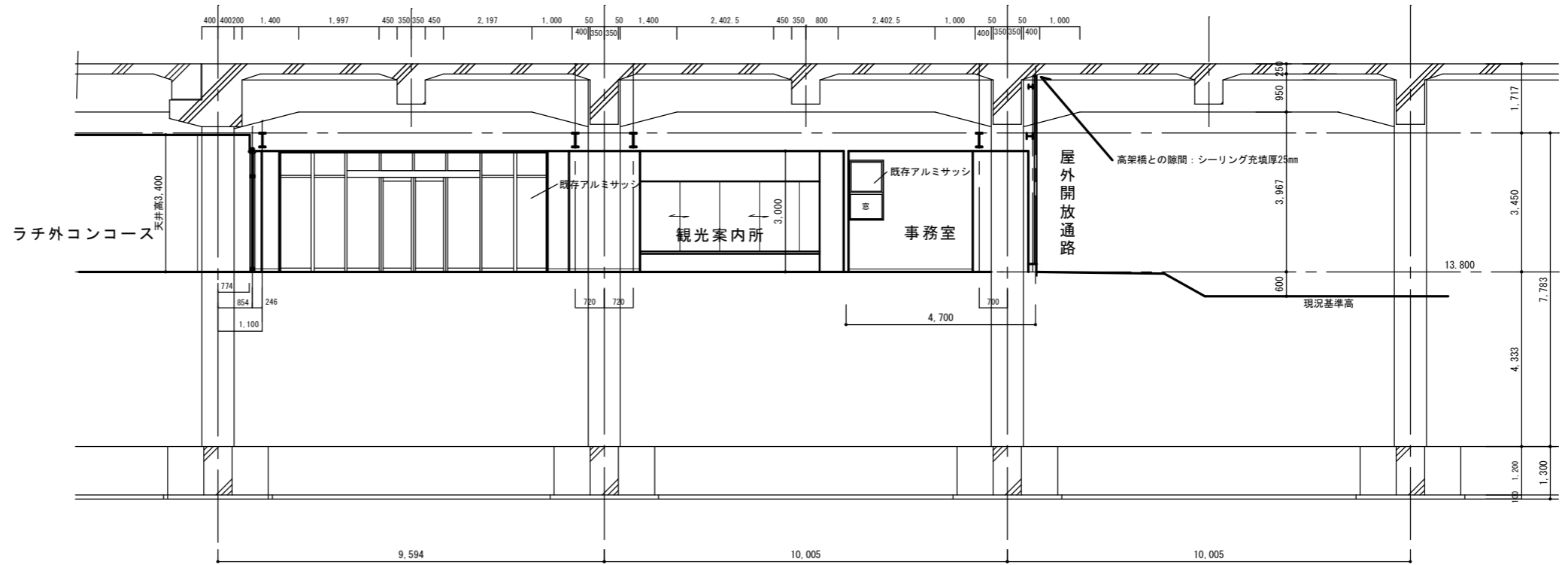


特 記	注: 屋外舗装高はJR計画高に倣う(当該図面表示高は参考値)	有限会社 藤崎設計事務所 佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7 TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号 建築士 川原 貴子 2級建築士 第4744号	検印	意匠	構造	設備	工事名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮尺	1/100	A 13
						図面名	立面図	年月日				

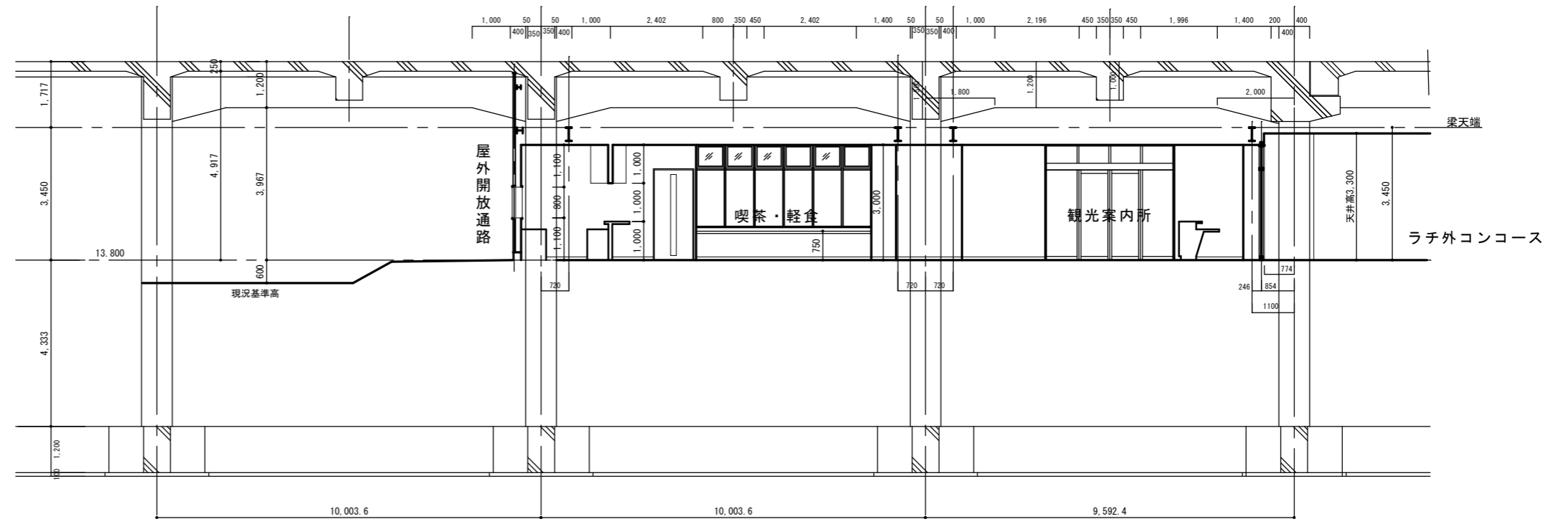


温泉ギャラリー・屋外通路北面断面図 (既存部分)

特 記	有限会社 藤崎設計事務所 佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7 TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533	事務所登録第1009号	検	印	意	匠	構	造	設	備	工事名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮 尺 日 付	1/100	A
		管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号									図面名				



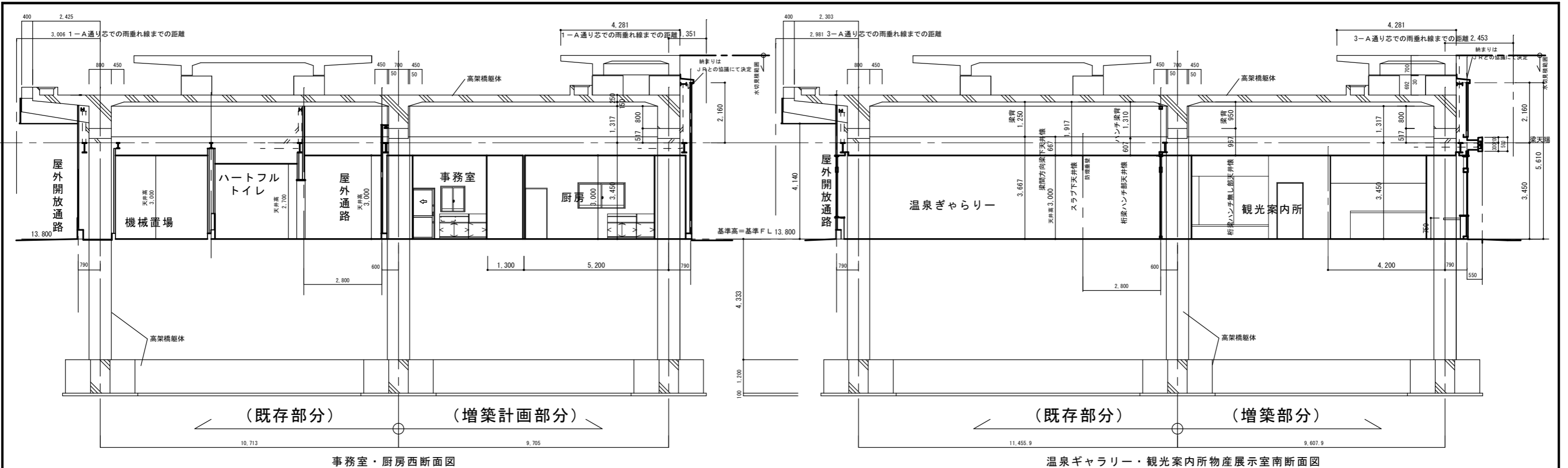
観光案内所・喫茶、軽食南面断面図  
(増築部分)



観光案内所・物産展示室北面断面図  
(増築計画部分)

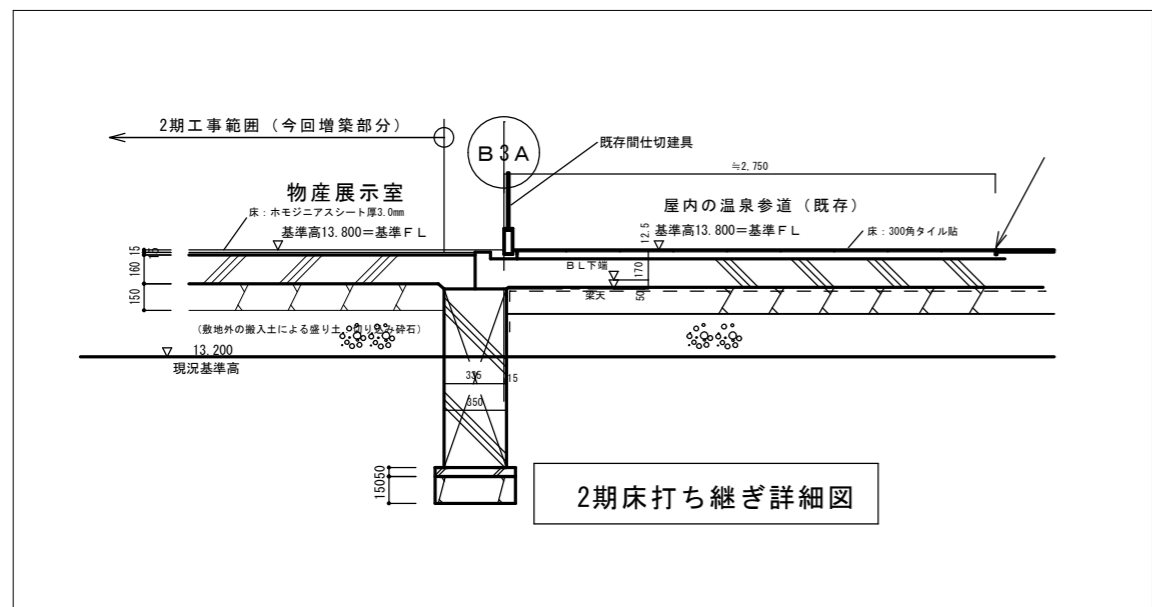
特 記	有限会社 藤崎設計事務所 佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533	事務所登録第1009号	検 印	意 匠	構 造	設 備	工 事 名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮 尺 日 付	1/100	A
		管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号					図 面 名				





事務室・厨房西断面図

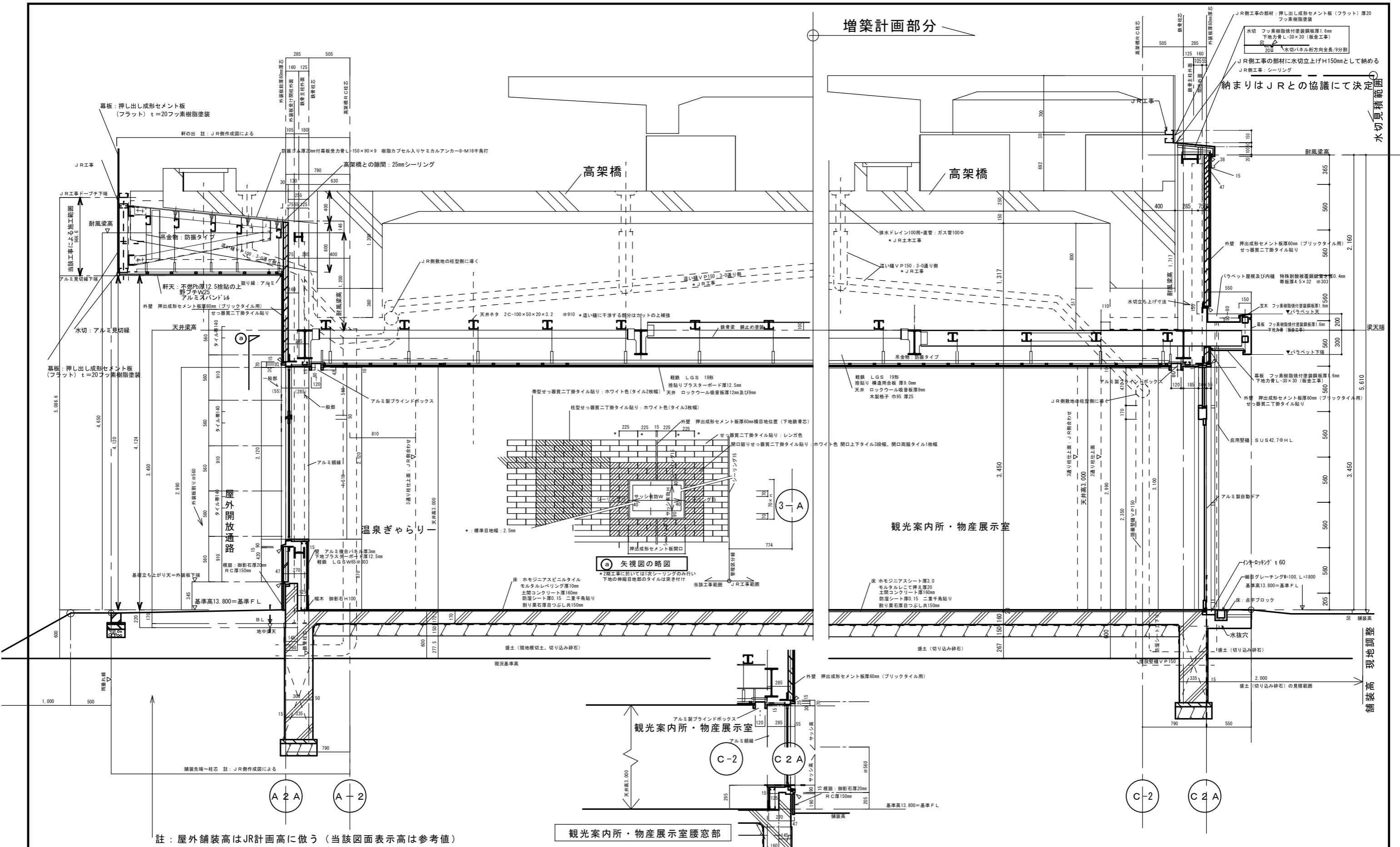
温泉ギャラリー・観光案内所物産展示室南断面図



2期床打ち継ぎ詳細図

特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎透 1級建築士第128417号	検印	意匠	構造	設備	工事名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮尺	1/100	A 16
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図面名	断面図(3)	年月日		

増築計画部分



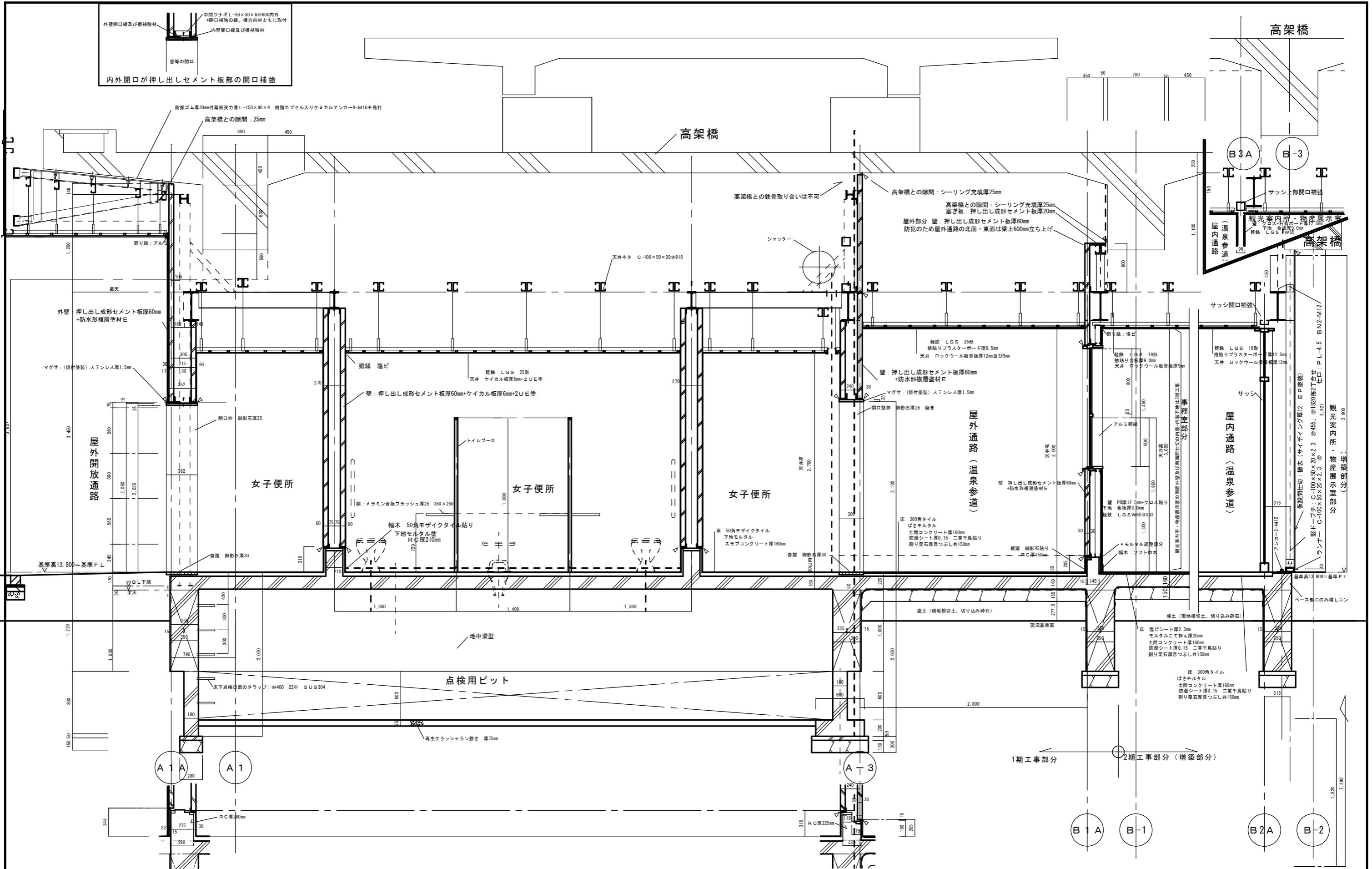
註：屋外舗装高はJR計画高に倣う（当該図面表示高は参考値）

有限会社 藤崎設計事務所  
 佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7 TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533

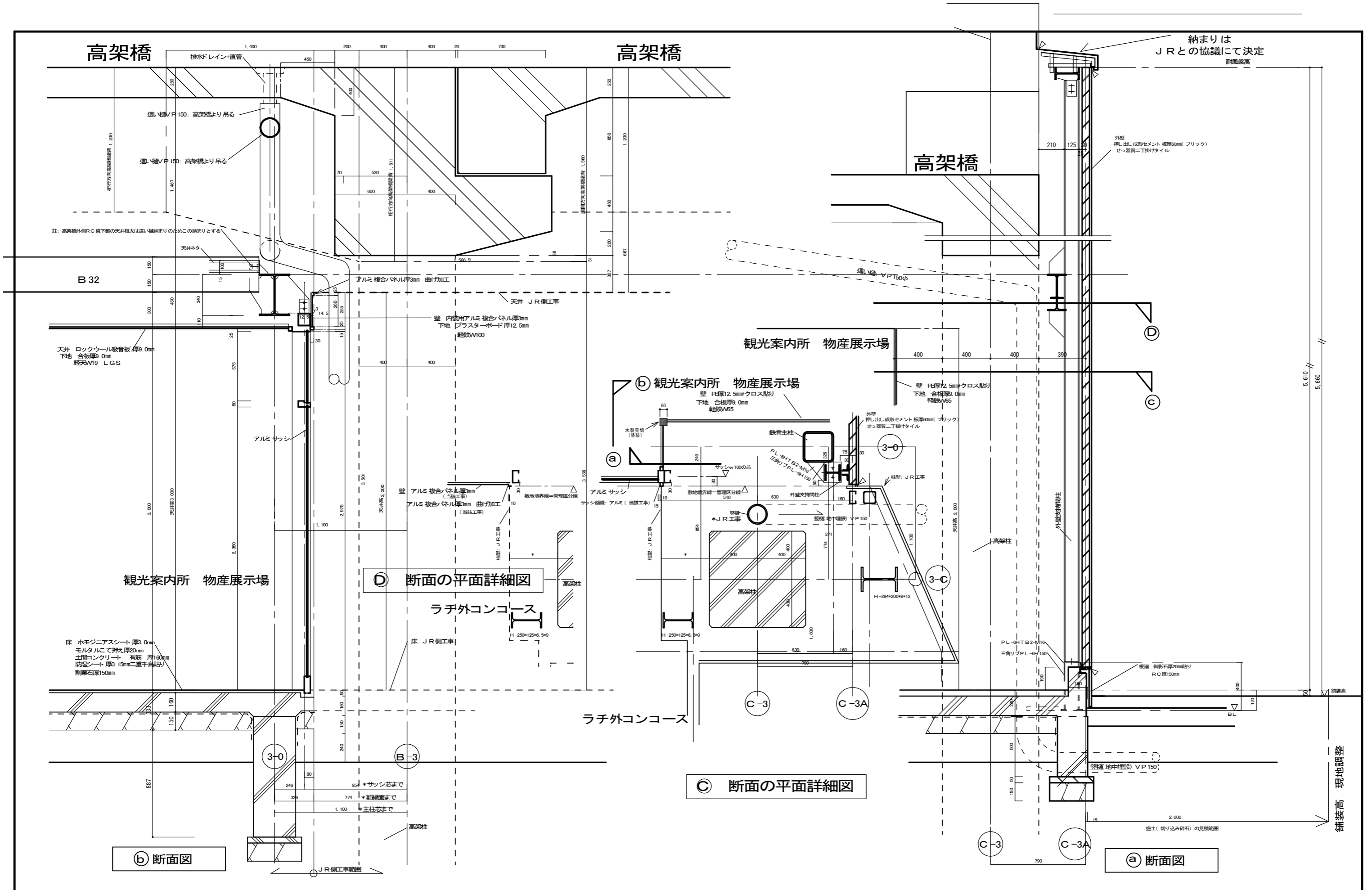
事務所登録第1009号  
 管理建築士 藤崎 透  
 1級建築士 第128417号

検印 意匠 構造 設備

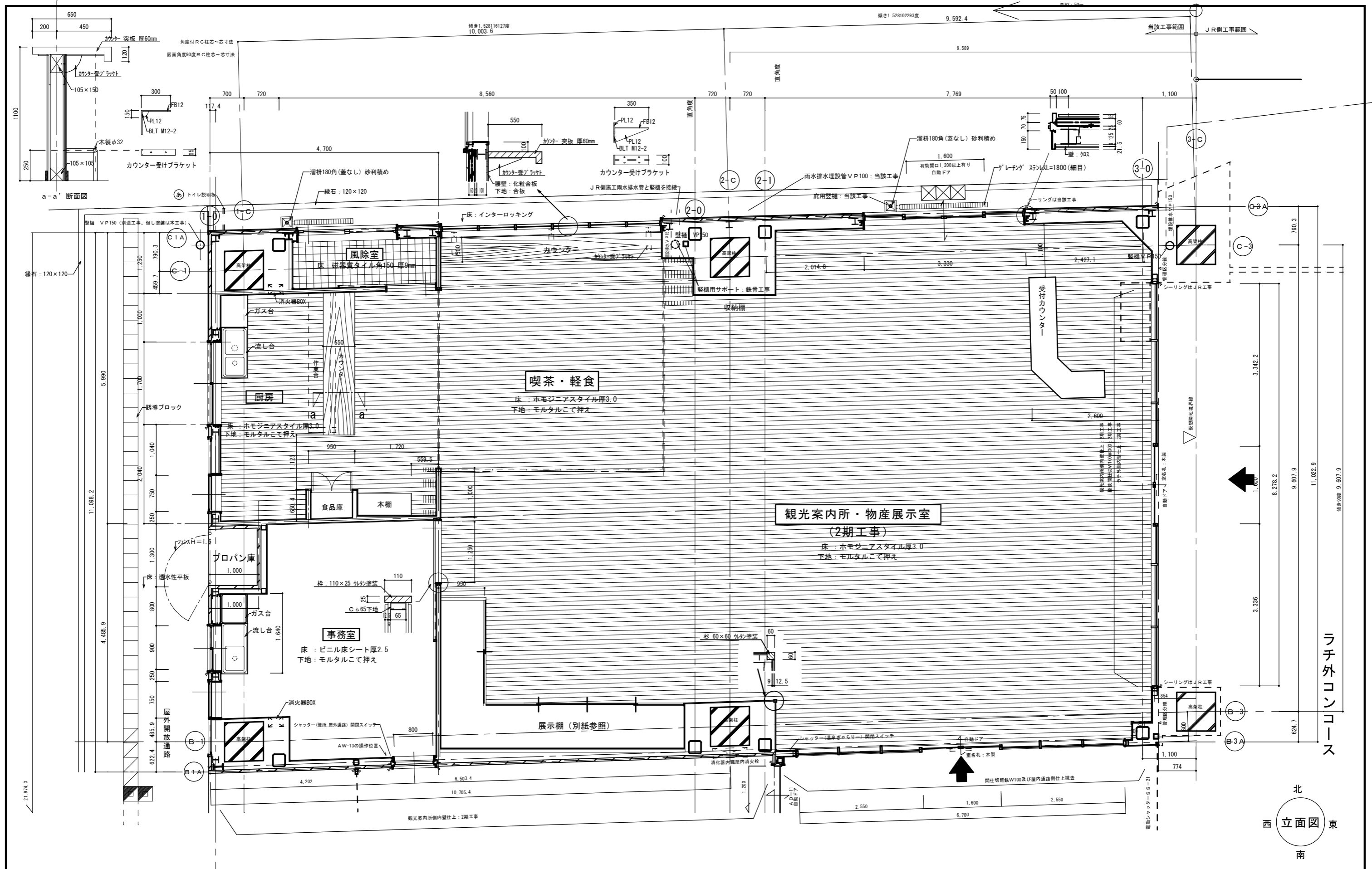
工事名 (仮称) 観光交流センター2期建設工事  
 図面名 矩計図  
 縮尺 1/30  
 年月日  
 A  
 17



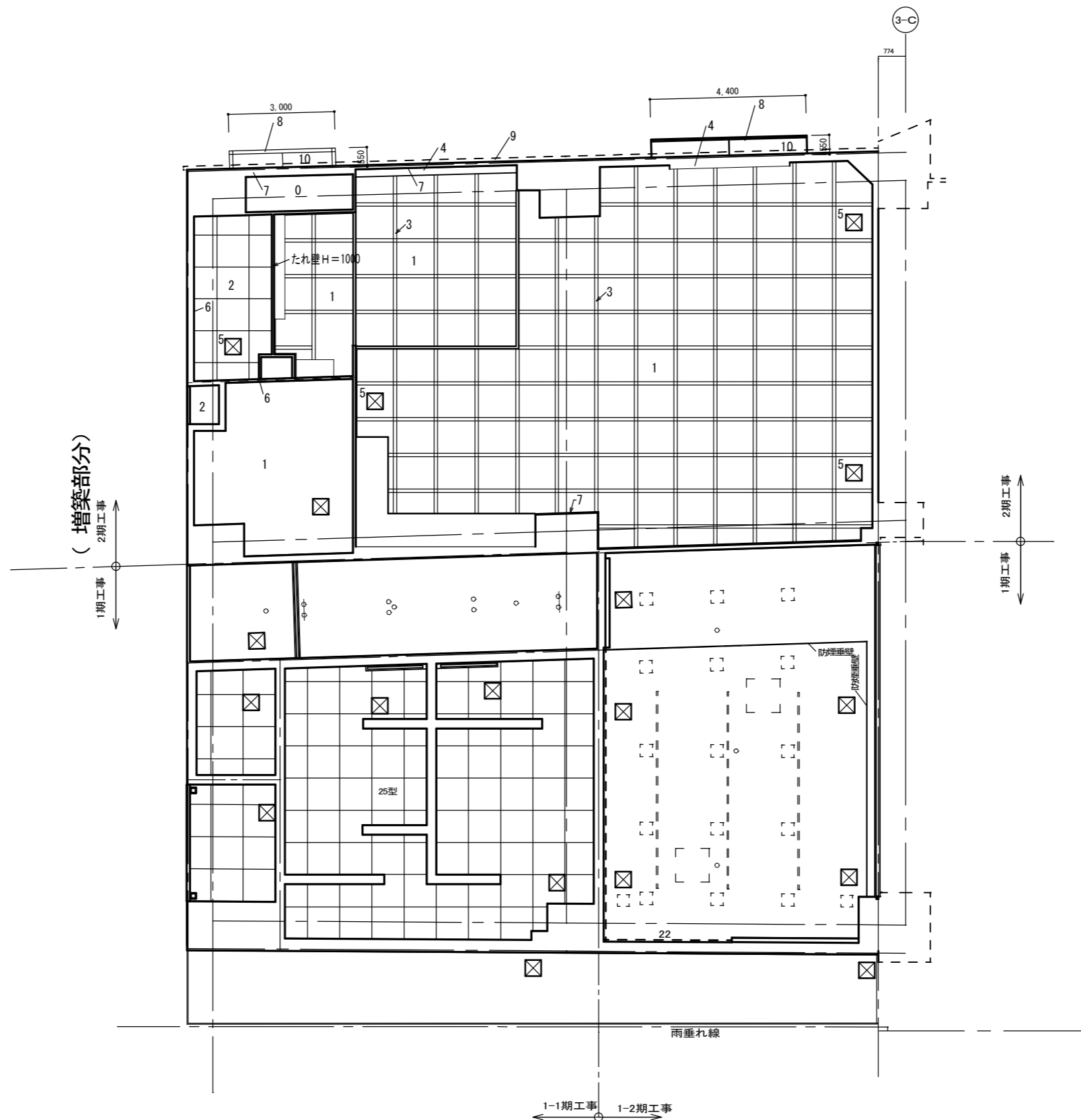
特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士第128417号	検印	意匠	構造	設備	工事名 (仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮 尺 日 付	1/30	A
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7 TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						断面詳細図(1)	年 月 日		18



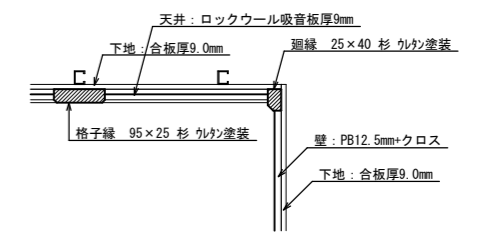
特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士第128417号	検印	意匠	構造	設備	工事名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮尺	1/20	A 19
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図面名	部分詳細図1(増築部分)・ラチ外コンコース北側廻り納まり図	年月日		



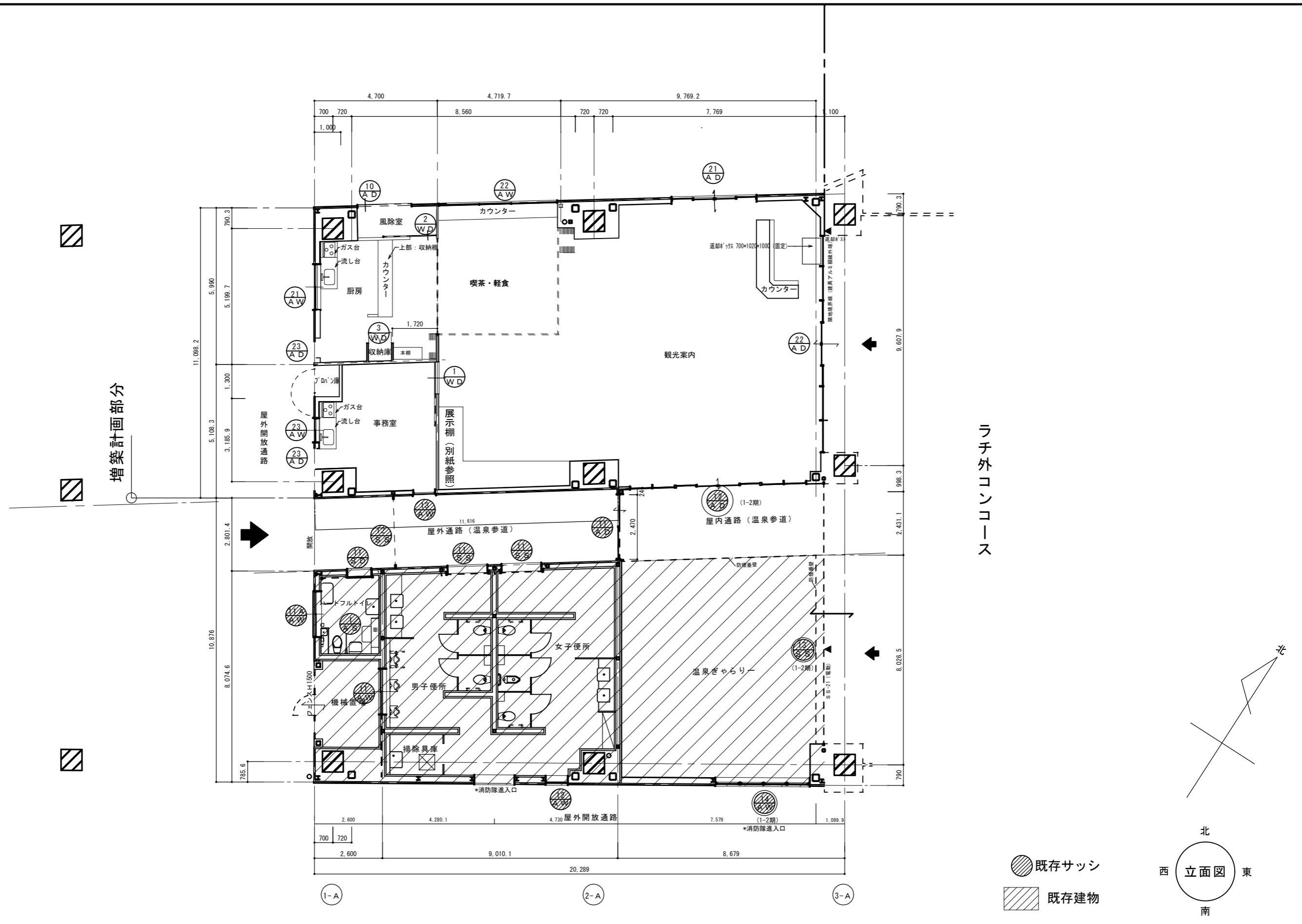
特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士第128417号	検印	意匠	構造	設備	工事名	縮尺	A
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						(仮称) 観光交流センター2期建設工事	1/50	
							図面名	年月日	20



記号	部位	仕上
0	天井	合板厚9.0mm下地 プラスターボード 厚9.5mm+クロス
1	天井	合板厚9.0mm下地 ロックウール吸音板厚9mm
2	天井	合板厚9.0mm下地 ケイカル板厚6mm+2U B 塗り
3	木製格子	木製 杉 巾95 厚25
4	ブラインドボックス	アルミカラー 200×120
5	天井改め口	アルミ 450
6	廻り縁	塩ビ
7	廻り縁	木製 杉
8	幕板	フッ素樹脂焼付塗装鋼板/パネル厚1.6mm
9	水切( JRとの取合い)	フッ素樹脂焼付塗装鋼板/パネル厚1.6mm
10	軒天	フッ素樹脂焼付塗装鋼板/パネル厚1.6mm



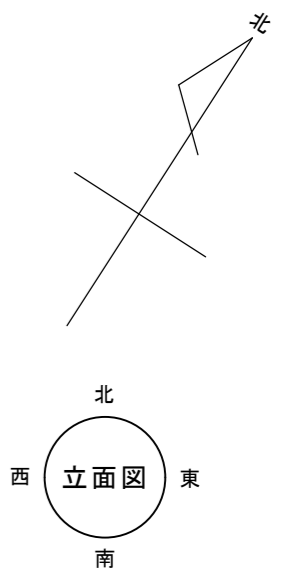
天井廻縁収まり詳細図



増築計画部分

ラチ外コンコース

● 既存サッシ  
 ▨ 既存建物



特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号	検印	意匠	構造	設備	工事名	縮尺	A 22
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533	管理建築士 藤崎 透 1級建築士第128417号					(仮称) 観光交流センター2期建設工事	1/100	
							図面名	年月日	
							建具配置図		

1-1 期工事	記号・数量	⑪ AW 1.700×1.215 1ヶ所	⑫ AW 798×2.290 1ヶ所	⑬ AW 800×1.450 1ヶ所	⑪ SS 1.550×2.700 2ヶ所	⑪ SD 900×2.100 1ヶ所	① AS 1ヶ所
	形状	外壁厚：276mm 	外壁厚：358mm 網入り型6.8mm 強化型4.0mm 	外壁厚：210mm 800 	* 2期工事期間（仮設観光案内所としての利用期間）のスイッチはリモコン操作のみに限定 * 2期工事にて観光案内所内壁に操作BOXを取付の上、スイッチ及びリモコン操作に切替 	外壁厚：276mm 有効開口800確保のこと 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200 開口枠W950 	内壁押し出しセメント板部分+ 腰ブロック積み部分の範囲に施工 →の部分 AS-1 腰見切 AS-1 腰見切 ハートフルトイレ 平面図 
	場所	男子便所	女子便所	観光案内所・物産展示室（会議室）～屋外通路（温泉参道）	男子・女子便所～屋外通路（温泉参道）	ハートフルトイレ～屋外通路（温泉参道）	ハートフルトイレ
	形式	引き違い窓	FIX窓	外倒し欄間付FIX窓	軽量電動グリルシャッター 単相100V 0.1KW	片引き自動閉鎖式ハンガードア	腰見切
	見込	70	100	100	16Φ@70×500	40	
	材質・仕上	アルミ：カラー	アルミ：カラー	アルミ：スリムタイプ カラー	ステンレス	スチール焼付塗装	アルミ見切縁 H25 D25 合計長さ5.7m
硝子	網入り型6.8mm	網入り型6.8mm 強化型4.0mm	網入り型6.8mm	ステンレスガイドレール厚1.5mm	網入り型6.8mm		
金物	4方内部額縁・4方外部水切 クレセント・戸車	4方内部額縁・4方外部水切	4方内部額縁・4方外部水切 開閉装置	リモコン付	4方内部額縁 上吊式戸車 大型ハンドル 表示鍵 戸当ゴム		
備考			全開角度45度 シーリング交換により乙種防火戸になる仕様	ガイドレールは最寄の鉄骨に取り合い固定すること	*ノンレールタイプ SUS製防虫網付きガラリ	アルミサッシに採用する仕様のもの	

2 期工事	記号・数量	②① AW 1ヶ所	②② AW 1ヶ所	②③ AW 1ヶ所	①①A AW 1.700×1.250 1ヶ所
	形状	外壁厚：210mm 	外壁厚：317mm 	外壁厚：210mm 	外壁厚：276mm 網戸：ガラス繊維入り合成樹脂性 面格子：1.700×700 
	場所	厨房	観光案内所・物産展示室の北側	観光案内所・物産展示室（事務室）	ハートフルトイレ
	形式	引き違い窓	排煙外倒し欄間付FIX窓	引き違い窓	固定ガラリ付引き違い窓
	見込	70	100 方立150	70	70
	材質・仕上	アルミ：カラー	アルミ：スリムタイプ カラー	アルミ：カラー	アルミ：カラー
硝子	網入り型6.8mm	欄間：網入り型6.8mm 下部：熱線反射トメイ10mm	網入り型6.8mm	網入り型6.8mm	
金物	4方内部額縁・4方外部水切・クレセント・戸車・網戸 外部面格子：水切面内にてサッシに取り合い（事故防止）	4方内部額縁・4方外部水切 アルミブラインドボックス200×120 兆番 障子コーナ保護キャップ オペレーター	4方内部額縁・4方外部水切・クレセント・戸車・網戸	4方内部額縁・4方外部水切 クレセント・戸車	
備考	シーリング交換により乙種防火戸になる仕様	全開角度45度 *欄間以外は目隠し用フィルム貼り シーリング交換により乙種防火戸になる仕様	シーリング交換により乙種防火戸になる仕様	外部面格子：水切面内にてサッシに取り合い 欄間：SUS製防虫網	

2 期工事	記号・数量	②① AD 1ヶ所	②② AD 8.238×2.975	②③ AD 2ヶ所
	形状	外壁厚：317mm 	間仕切り壁厚：131mm 	
	場所	観光案内所・物産展示室の北側	観光案内所・物産展示室～ラチ外コンコース	事務室・厨房
	形式	引き分け自動ドア及び排煙外倒し欄間付FIX窓	引き分け自動ドア及びFIX欄間付FIX窓	FIX+片引き戸
	見込	100 方立150	100 方立150	70
	材質・仕上	アルミ：スリムタイプ カラー ボタン	アルミ：スリムタイプ カラー ボタン	アルミ：カラー
硝子	欄間：網入り型6.8mm 下部：熱線反射強化8mm	欄間：網入り型6.8mm 下部：強化8mm	下部：アルミパネル 上部：網入り型6.8mm	
金物	内部サムターン本締り鍵 4方内部額縁・4方外部水切 アルミブラインドボックス200×120 エンジン タッチ式感知器 兆番 障子コーナ保護キャップ オペレーター 水抜きパイプ	内部サムターン本締り鍵 4方内部額縁×両面 エンジン タッチ式感知器	4方内部額縁・指詰め防止・外部水切他一式	
備考	全開角度45度 *欄間以外は目隠し用フィルム貼り	ガラス及びシーリング交換により乙種防火戸になる仕様	室名札取付用ピースは当該工事	ガラス及びシーリング交換により乙種防火戸になる仕様

特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号	検印	意匠	構造	設備	工事名	（仮称）観光交流センター2期建設工事	縮尺	1/50	A
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533	管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号 建築士 川原 貴子 2級建築士 第4744号					図面名	金属製建具表（1）	年月日	23	



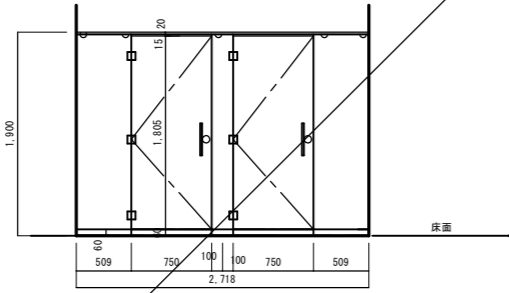
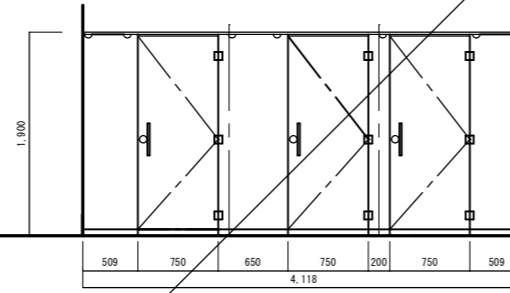
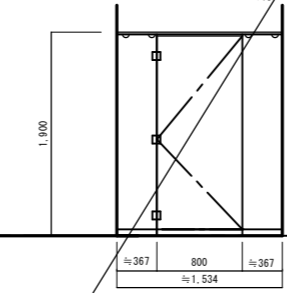
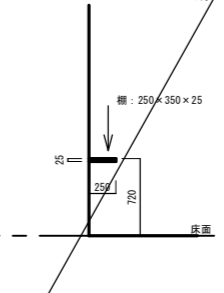
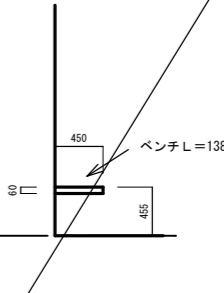
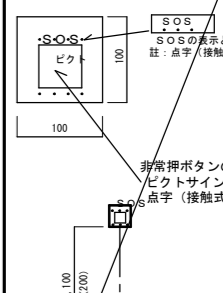
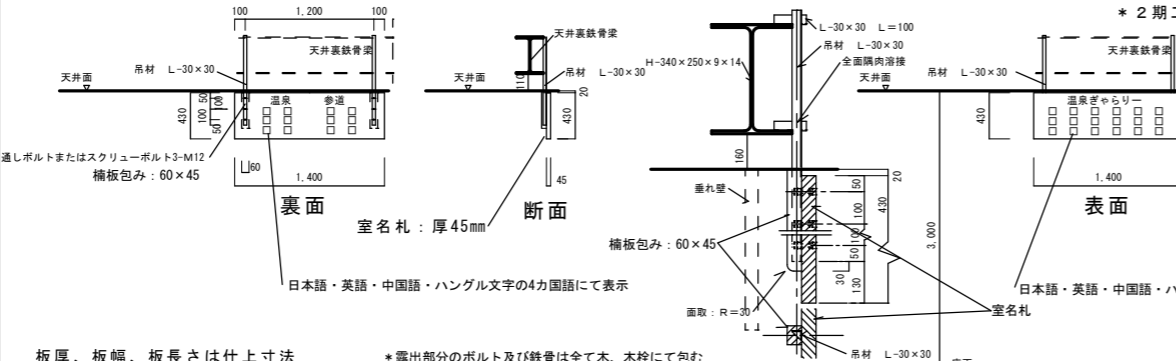
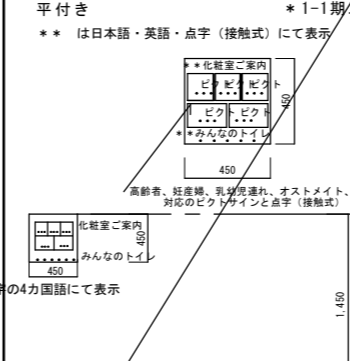
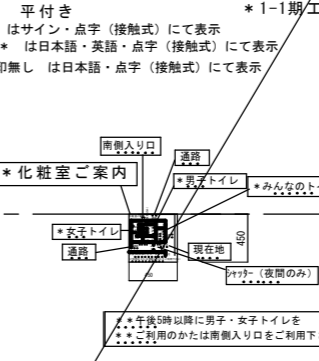
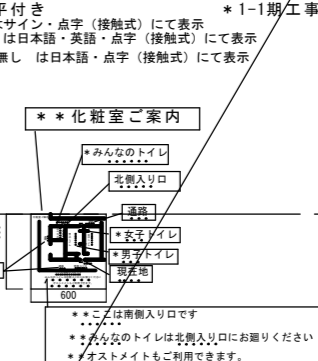
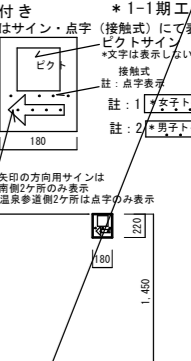
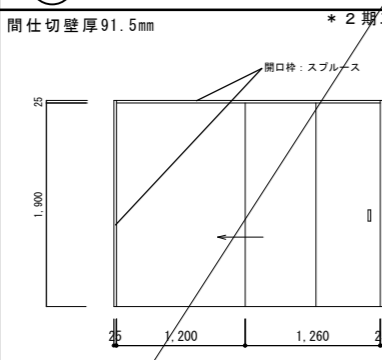
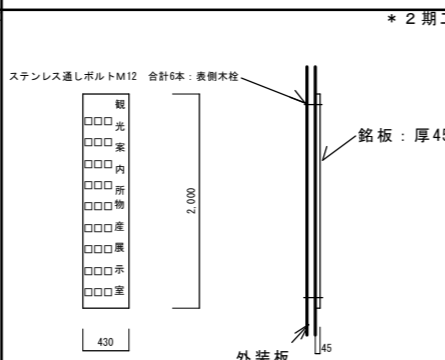
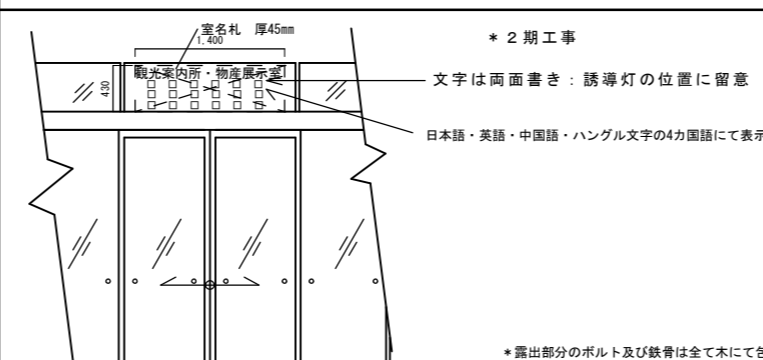
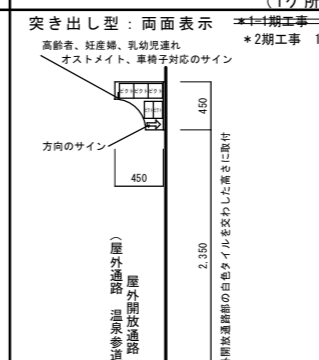
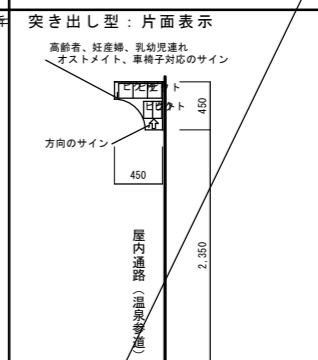
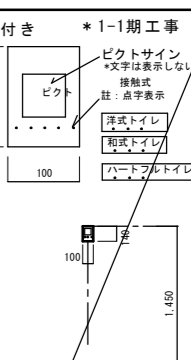
1-1期工事	記号・数量	⑪ AD 2.440×2.975 1ヶ所 外壁厚：246mm	⑫ SS 2.520×3.000 1ヶ所 *2期工事期間（仮設観光案内所としての利用期間）のスイッチはリモコン操作 *2期工事にて観光案内所内壁に操作BOXを取付の上、スイッチ及びリモコン操作に切替
	形状		
	場所	屋外通路（温泉参道）～屋内通路（温泉参道）	屋外通路（温泉参道）～屋外通路（温泉参道）
	形式	片引き自動ドア付欄間付FI窓	軽量電動グリルシャッター 単相100V 0.1KW
見込	100	16Φ@70×500	
材質・仕上	アルミ：スリムタイプ カラー ボタン	ステンレス	
硝子	欄間：納入リトメイ6.8mm 下部：強化8mm		
金物	4方内部額縁・4方外部水切 アルミブラインドボックス120×80 エンジン 感知器	ステンレスガイドレール厚1.5mm ステンレスマグサ リモコン付 電動開閉装置 障害物検知装置	
備考	ガラス及びシーリング交換により乙種防火戸になる仕様	ガイドレールは最寄の鉄骨に取り合い固定すること	
1-2期工事	記号・数量	⑭ AW 3.540×2.120 1ヶ所 外壁厚：210mm	防煙垂壁 500×7.216 1ヶ所 500×7.432 1ヶ所
	形状		
	場所	温泉ぎやらりー	温泉ぎやらりー
	形式	排煙外倒し欄間付FI窓	防煙垂壁：免震タイプ
見込	100 方立100		
材質・仕上	アルミ：スリムタイプ カラー	アルミ	
硝子	腰：トメイ厚10mm 欄間：納入リトメイ6.8mm	納入リトメイ6.8mm	
金物	4方内部額縁・4方外部水切 アルミブラインドボックス120×80 開閉ハンドル 障子コーナ保護キャップ オペレーター		
備考	欄間全開角度45度 シーリング交換により乙種防火戸になる仕様	* 天井下地用吊り上げボルトの結束。 天井下地用吊り上げボルト用補強材を施工の事 防煙垂壁のガラス接触部、隠しナット接合部はシリコンシーリング	
1-2期工事	記号・数量	⑫ AD 6.700×2.975 1ヶ所 室名札（鋼製建具工事に含まず） 間仕切り壁厚：131mm	⑬ SS 9.941×3.000 1ヶ所 *2期工事期間（仮設観光案内所としての利用期間）のスイッチはリモコン操作のみ *2期工事にて観光案内所内壁に操作BOXを取付の上、スイッチ及びリモコン操作に切替
	形状		
	場所	観光案内所・物産展示室～屋内通路（温泉参道）	屋内通路（温泉参道）及び温泉ギャラリー～ラチ外コンコース
	形式	引き分け自動ドア及びFI窓欄間付FI窓	重量電動グリルシャッター 3相200V 0.7KW
見込	100 方立150	19Φ@70×500	
材質・仕上	アルミ：スリムタイプ カラー ボタン	アルミ（ステンレス芯）	
硝子	欄間：納入リトメイ6.8mm 下部：強化8mm		
金物	内部サムターン本締め鍵 4方内部額縁×両面 エンジン タッチ式感知器 室名札取付用ピースは当該工事	ステンレスガイドレール厚1.5mm ステンレスマグサ 電動開閉装置 障害物検知装置 急降下停止装置 ステンレスT型座板（アングル） リモコン付 下がり壁 天井納め	
備考	観光案内所側より旋錠	ガイドレールは最寄の鉄骨に取り合い固定すること	

<p>材質・仕上 アルミ片引き戸</p> <p>ガラス 強化透明 t4</p> <p>錠・金物 錠 片引き分付駆動装置</p> <p>備考 ガラス部分をアルミパネルt3.0交換により防火戸になる仕様</p>	<p>材質・仕上 片引戸 米松 着色ウレタン</p> <p>ガラス スリ t5</p> <p>錠・金物 引き戸錠他 ステンレスレール他一式</p> <p>備考 掘り込み引手</p>	<p>材質・仕上 片引戸 米松 着色ウレタン</p> <p>ガラス 強化透明 t4</p> <p>錠・金物 ステンレスレール他一式</p> <p>備考 木製引棒 L=1500</p>	<p>材質・仕上 両開き戸</p> <p>ガラス ポリ合板</p> <p>錠・金物 丁番 取手 他一式</p>	<p>見え掛部 : ポリ板</p> <p>可動棚板 : ポリ板</p> <p>金物 : 棚受けダボその他一式</p>

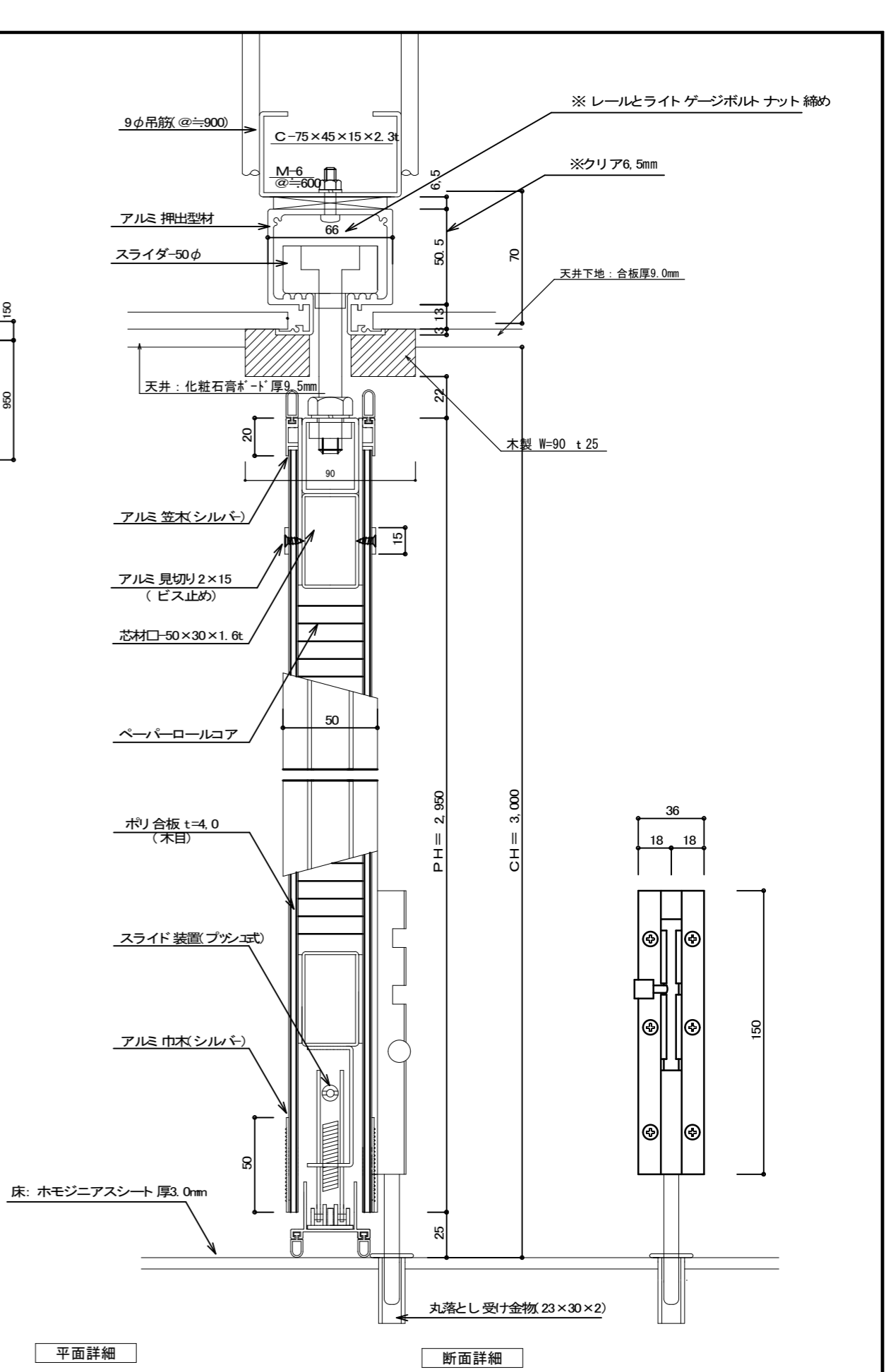
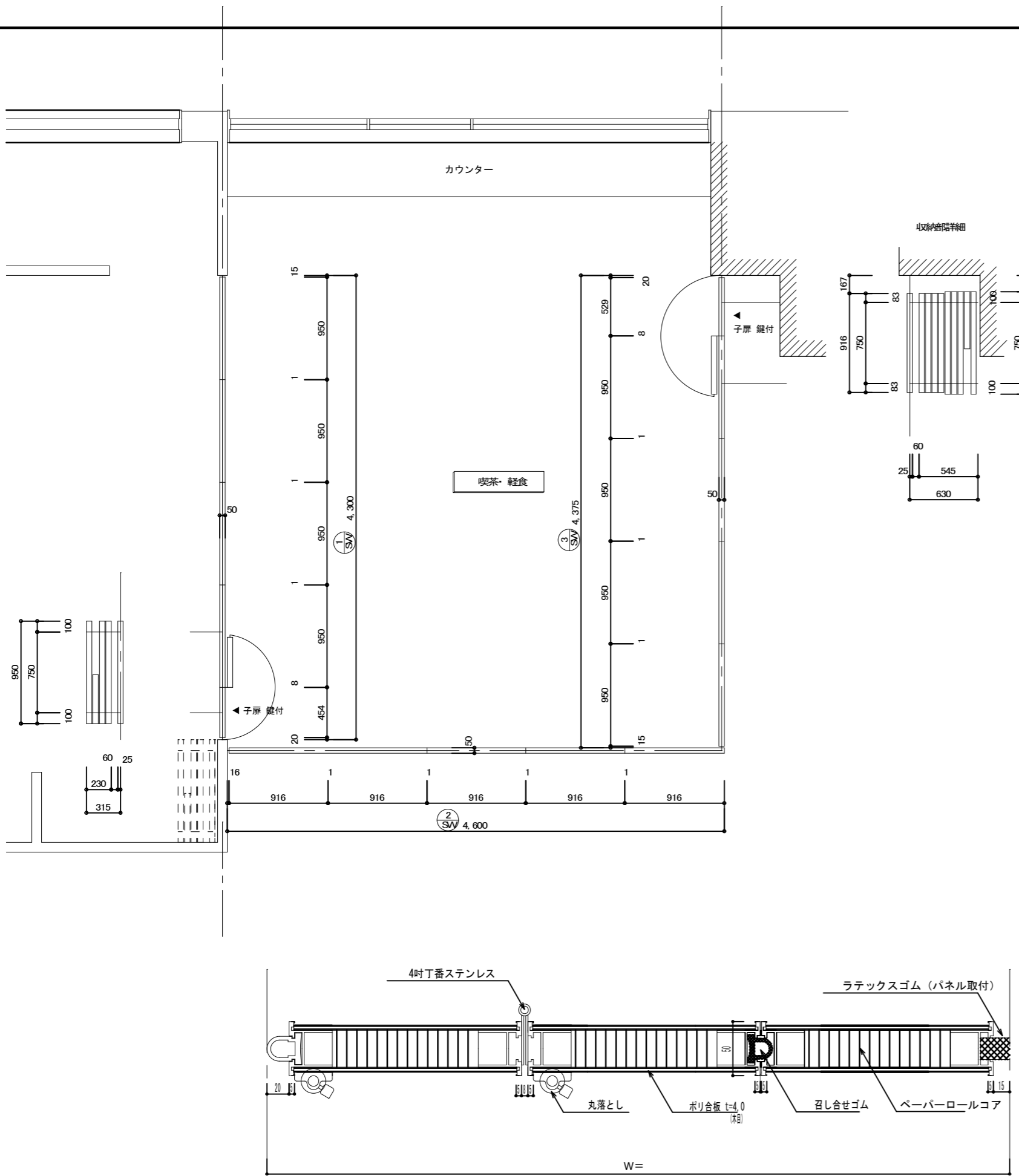
<p>見え掛部 : メラミン化粧板</p> <p>可動棚板 : メラミン化粧板</p> <p>金物 : 引手その他一式</p>	<p>天板 : 楠 CL</p> <p>見え掛部 : 突板+着色ウレタン</p> <p>固定棚板 : 突板+着色ウレタン</p> <p>金物 : その他一式</p>	<p>見え掛部 : 突板+着色ウレタン</p> <p>金物 : 棚受けダボその他一式</p>

<p>軽食・喫茶カウンター</p> <p>材料 楠突板 2900×650×60, 4530×500×60</p> <p>仕上 着色ウレタン</p>	<p>見え掛部 : 突板+着色ウレタン</p> <p>可動棚板 : 突板+着色ウレタン</p> <p>金物 : 棚受けダボ(スリス) 掘り込み引手その他一式</p>	<p>見え掛部 : メラミン化粧板</p> <p>可動棚板 : メラミン化粧板</p> <p>金物 : 引手その他一式</p>	<p>見え掛部 : メラミン化粧板, ステンレス(SUS304)</p> <p>可動棚板 : メラミン化粧板</p> <p>金物 : 引手その他一式</p>

特記	<p>有限会社 藤崎設計事務所</p> <p>佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7 TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533</p>	<p>事務所登録第1009号</p> <p>管理建築士 藤崎 透</p> <p>1級建築士 第128417号</p>	<p>検印</p>	<p>意匠</p>	<p>構造</p>	<p>設備</p>	<p>工事名 (仮称) 観光交流センター2期建設工事</p>	<p>縮尺 1/50</p>	A
	<p>図面名 アルミ建具・木製建具・家具図</p>	<p>年月日</p>	<p>25</p>						

1期工事	記号・数量	男子便所ブース 1ヶ所	女子便所ブース 1ヶ所	掃除具庫ブース 1ヶ所	トイレブース内棚 5ヶ所	ベンチ 1ヶ所	ピクトサイン 2ヶ所
	形状	<p>延べ長さ：扉2枚を含め3.9m *1-1期工事</p>  <p>基本形状 詳細は展開図参照 *扉は外開き、有効幅750ミリ</p>	<p>延べ長さ：扉3枚を含め6.5m *1-1期工事</p>  <p>基本形状 詳細は展開図参照 *扉は外開き、有効幅750ミリ</p>	<p>延べ長さ：扉1枚を含め1.5m *1-1期工事</p>  <p>詳細は展開図参照</p>	<p>*1-1期工事</p>  <p>床面</p>	<p>*1-1期工事</p>  <p>ベンチL=1380</p> <p>ウレタン塗装UC-1</p>	<p>平付き *1-1期工事</p>  <p>SOSの表示と注：点字（接触式） 非常押ボタンのピクトサインと点字（接触式）</p>
場所	男子便所	女子便所	掃除具庫	男子・女子便所	女子便所	ハートフルトイレ	
形式	片開き扉付ブース	片開き扉付ブース	片開き扉付ブース				
見込	13	13	13	25	60		
材質・仕上	熱硬化性フェノール樹脂板	熱硬化性フェノール樹脂板	熱硬化性フェノール樹脂板	メラミン合板フラッシュ	集成材	アルミ厚5mm	
硝子	無し	無し	無し	無し	無し	無し	
金物	表示器付ラッチ鍵（内部サムターン）・ラバトリージンジ・ステンレス丁番・大型棒引手・帽子掛け	表示器付ラッチ鍵（内部サムターン）・ラバトリージンジ・ステンレス丁番・大型棒引手・帽子掛け	シリンダー鍵・ステンレス丁番	ステンレス304アーム×2本		ステンレスビス	
備考	ステンレス304HL幅木 ステンレス304笠木	ステンレス304HL幅木 ステンレス304笠木	ステンレス304HL幅木 ステンレス304笠木	取付金物：亜鉛メッキ	SUS金物	シルク印刷	
1期工事	記号・数量	天井吊室名札	片面文字表示：1ヶ所 両面文字表示：1ヶ所	ハートフルトイレ説明板 1ヶ所	トイレ説明板（温泉参道側） 2ヶ所	トイレ説明板（南側入り口） 1ヶ所	ピクトサイン 4ヶ所
	形状	 <p>室名札：厚45mm 日本語・英語・中国語・ハングル文字の4カ国語にて表示</p> <p>板厚、板幅、板長さは仕上寸法 *露出部分のボルト及び鉄骨は全て木、木栓にて包む</p>	<p>日本語・英語・中国語・ハングル文字の4カ国語にて表示</p>	<p>平付き *1-1期工事 ** は日本語・英語・点字（接触式）にて表示</p>  <p>高齢者、妊産婦、乳幼児連れ、オストメイト、車椅子対応のピクトサインと点字（接触式）</p>	<p>平付き *1-1期工事 * はサイン・点字（接触式）にて表示 ** は日本語・英語・点字（接触式）にて表示 *印無し は日本語・点字（接触式）にて表示</p>  <p>*化粧室ご案内 *みなさんのトイレ *男子トイレ *女子トイレ *オストメイトもご利用できます。</p>	<p>平付き *1-1期工事 * はサイン・点字（接触式）にて表示 ** は日本語・英語・点字（接触式）にて表示 *印無し は日本語・点字（接触式）にて表示</p>  <p>*化粧室ご案内 *みなさんのトイレ *男子トイレ *女子トイレ *オストメイトもご利用できます。</p>	<p>平付き *1-1期工事 * はサイン・点字（接触式）にて表示 ** は日本語・英語・点字（接触式）にて表示 *印無し は日本語・点字（接触式）にて表示</p>  <p>注：点字表示 注：1*女子トイレ 注：2*男子トイレ</p>
場所	温泉ざらりー 温泉参道	屋外通路（温泉参道）	屋外通路（温泉参道）	屋外通路（温泉参道）	開放通路（南側外壁）	屋外通路（温泉参道）側外壁 トイレ直前間仕切	
形式							
見込							
材質・仕上	楠板 文字書OP+全面ポリウレタン樹脂ワニス塗 「温泉ざらりー」の文字は片面のみ文字書き 「温泉参道」の文字は両面文字書き	アルミ厚5mm	アルミ厚5mm	アルミ厚5mm	アルミ厚5mm	アルミ厚5mm	
硝子							
金物	SUS304 *ボルト及び鉄骨は全て木及び木栓にて包む	ステンレスビス	ステンレスビス	ステンレスビス	ステンレスビス	ステンレスビス	
備考	天井裏鉄骨梁に溶接止め	シルク印刷	シルク印刷	シルク印刷 *図面は便器、洗面、ブースまで表現のこと	シルク印刷 *図面は便器、洗面、ブースまで表現のこと	シルク印刷	
2期工事	記号・数量	1200×1900 1ヶ所	面付式施設銘板 1ヶ所	面付式室名札 2ヶ所	トイレ案内板 3ヶ所 (1ヶ所)	トイレ案内板 1ヶ所	ピクトサイン 6ヶ所
	形状	<p>間仕切壁厚91.5mm *2期工事</p>  <p>開口枠：スプルー</p>	<p>*2期工事</p>  <p>ステンレス通しボルトM12 合計6本：表側木栓</p> <p>板厚、板幅、板長さは仕上寸法</p>	<p>*2期工事</p>  <p>文字は両面書き：誘導灯の位置に留意</p> <p>日本語・英語・中国語・ハングル文字の4カ国語にて表示</p> <p>*露出部分のボルト及び鉄骨は全て木にて包む 板厚、板幅、板長さは仕上寸法</p>	<p>3ヶ所 (1ヶ所) *2期工事 1ヶ所</p>  <p>突き出し型：両面表示 高齢者、妊産婦、乳幼児連れ、オストメイト、車椅子対応のサイン</p> <p>方向のサイン</p>	<p>1ヶ所</p>  <p>突き出し型：片面表示 高齢者、妊産婦、乳幼児連れ、オストメイト、車椅子対応のサイン</p> <p>方向のサイン</p>	<p>平付き *1-1期工事</p>  <p>ピクトサイン *文字は表示しない 注：点字表示 *形式トイレ *ハートフルトイレ</p>
場所	事務室	観光案内所の屋外出入り口外壁面：1ヶ所	観光案内所の温泉参道側入り口：1ヶ所 観光案内所のラテ外コンコース側入り口：1ヶ所	屋外開放廊下（屋外通路 温泉参道）	屋内通路（温泉参道）	男子便所 女子便所のブースに表示 ハートフルトイレの扉に表示	
形式	片引き戸（開口3方枠：スプルー）						
見込	40						
材質・仕上	ポリ合板	楠板 文字書OP+全面ポリウレタン樹脂ワニス塗	楠板 文字書OP+全面ポリウレタン樹脂ワニス塗	アルミ厚5mm	アルミ厚5mm	アルミ厚5mm	
硝子	型 2mm						
金物	引き戸 レール他一式	SUS304	ステンレスボルト：木板面は木栓	ステンレスビス シルク印刷	ステンレスビス シルク印刷	シルク印刷	
備考		外装板にボルト止め *露出部分のボルト及び鉄骨は全て木、木栓にて包む	鋼製建具のアルミ型材に取付 アルミアングル等の取付用ビスは鋼製建具工事に含む				

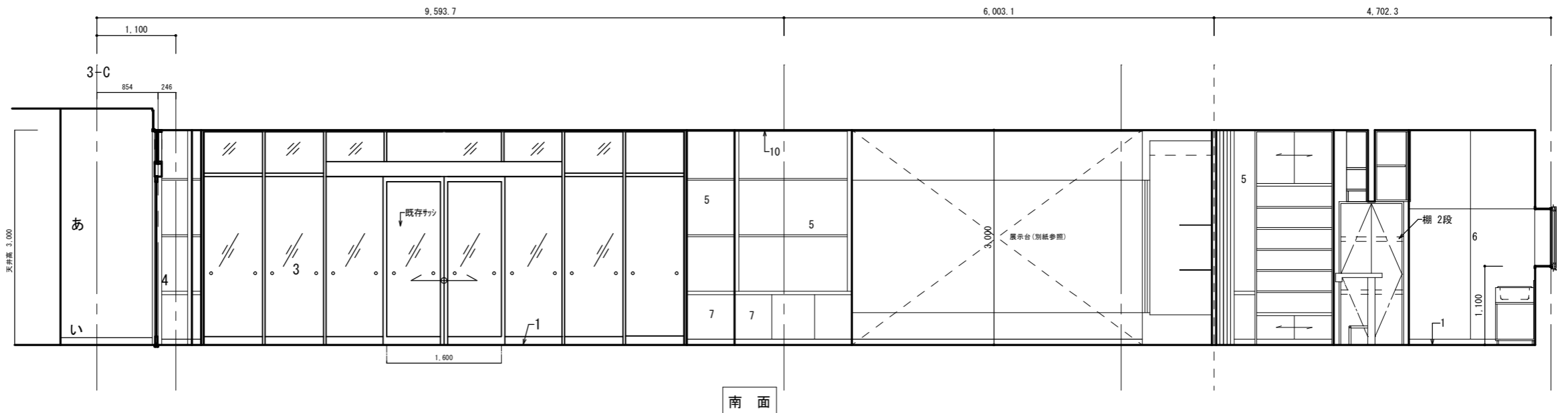
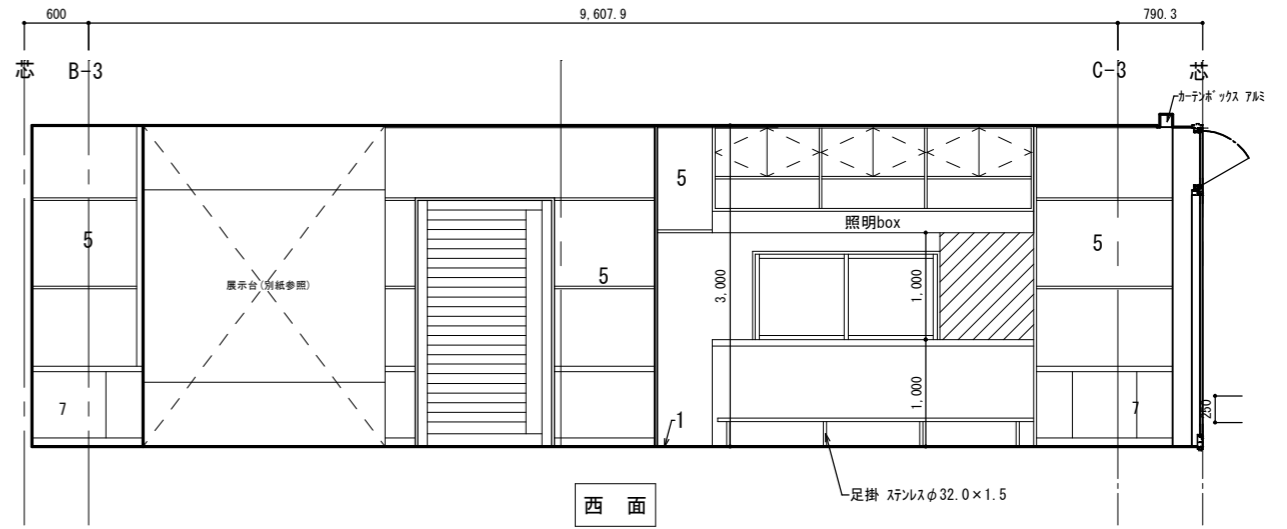
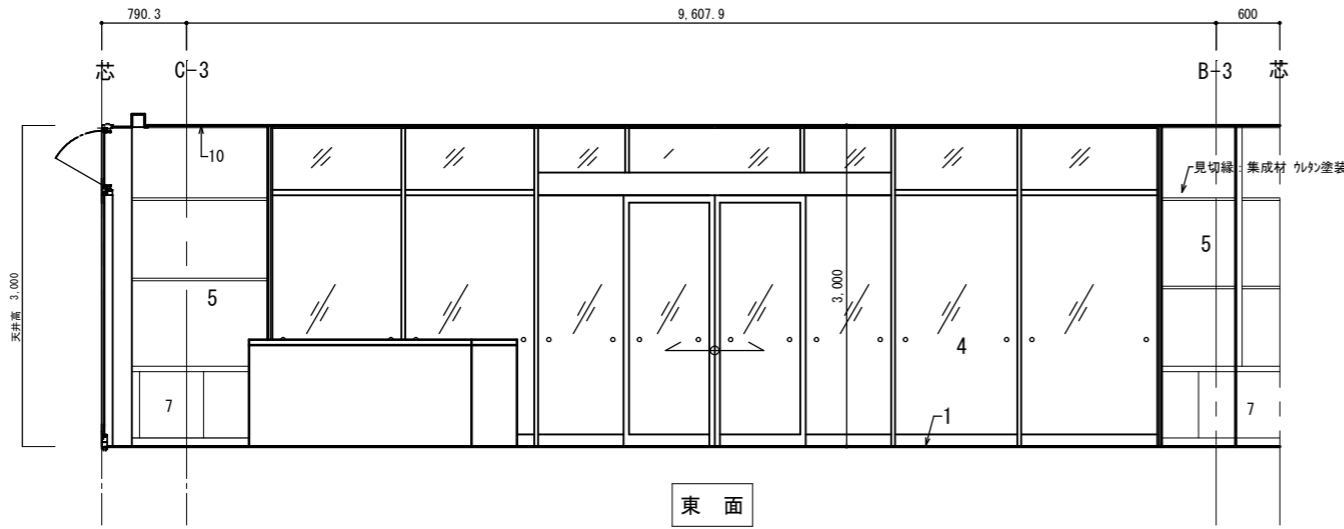
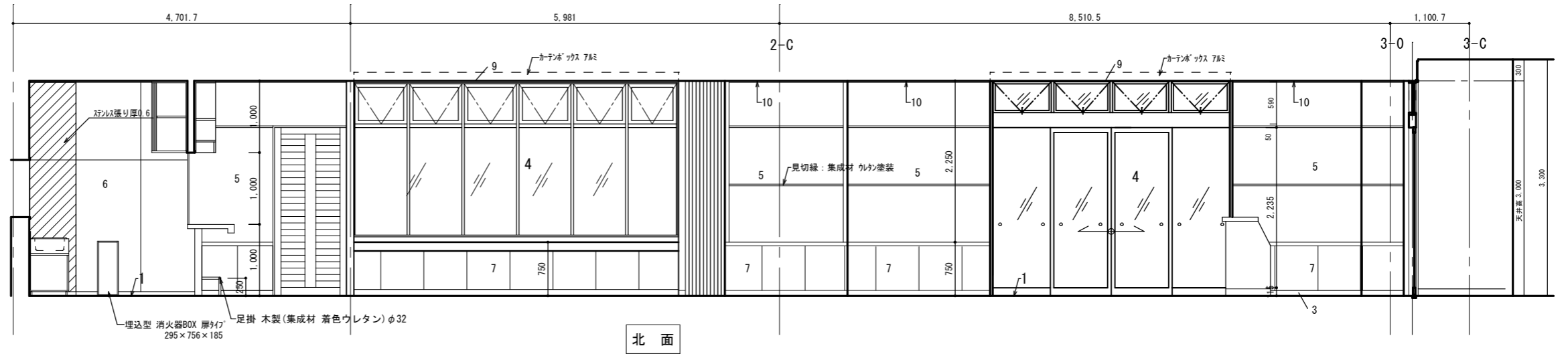
特記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号	検印	意匠	構造	設備	工事名 (仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮尺 1/50	A
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7 TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図面名 雑工事	年月日	



特記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士第128417号	検印	意匠	構造	設備	工事名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮尺	1/30・1/2	A 27
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図面名	稼動間仕切り 平面・断面図	年月日		

符号	観光案内所・物産展示室、喫茶軽食	
1	床	ホモジニアスピニルタイル 厚3.0 モルタルこて押え厚20mm
2	床	塩ビシート 厚2.5
3	巾木	木製 厚20 h=80
4	建具	アルミサッシ
5	壁	下地 合板厚9.0mm プラスターボード厚12.5mm+クロス
6	壁	下地 合板厚9.0mm ケイカル板 厚8 2UB塗装
7	腰壁	下地 合板厚9.0mm 化粧合板 厚5.5mm
8	天井	下地 合板厚9.0mm ロックウール吸音板厚9.0mm
9	ブラインドボックス	アルミ 200×120
10	ピクチャーレール	アルミ壁付 フックは部屋全体で18個
あ	壁	J R側の工事範囲
い	幅木	J R側の工事範囲

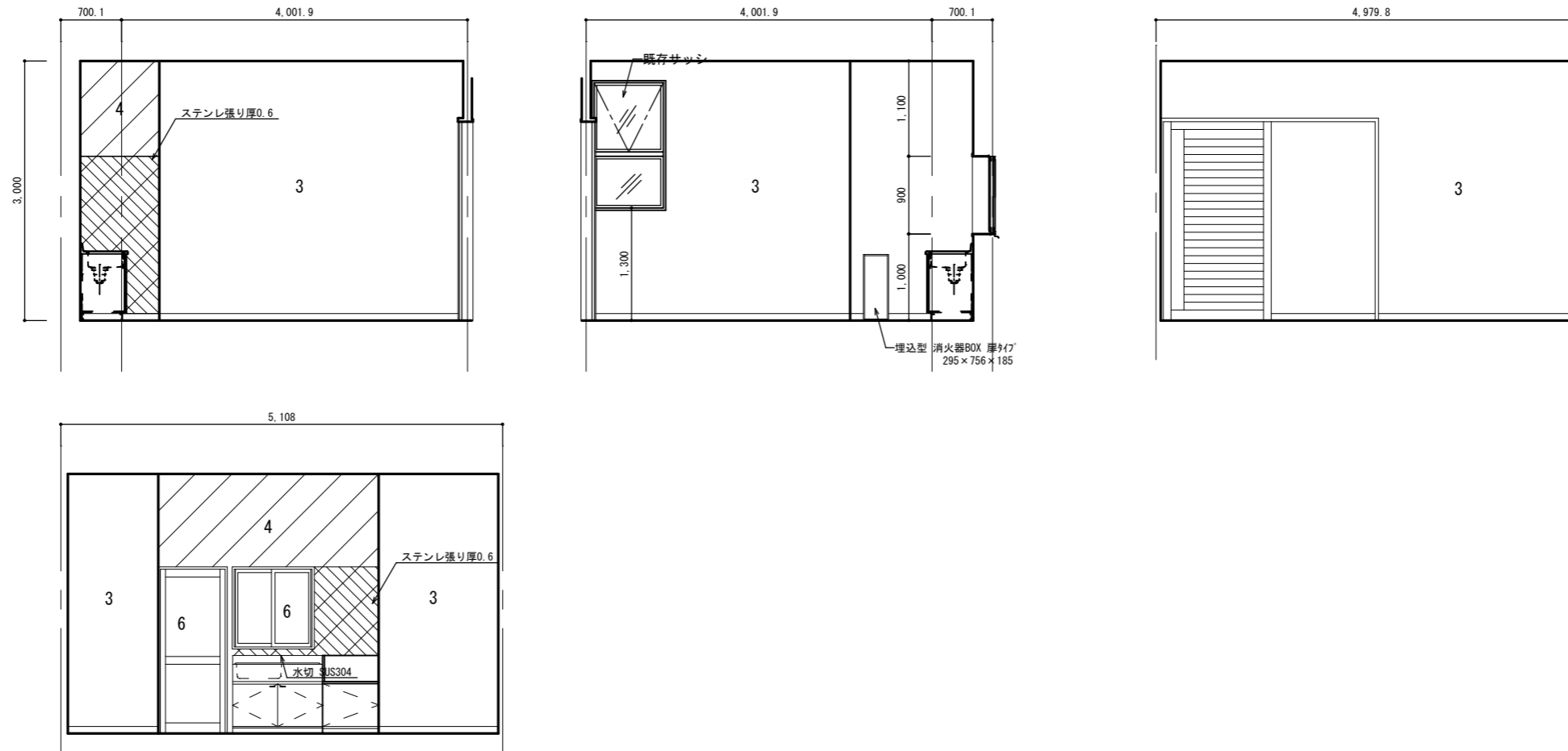
\* ラチ外の納まり 割付はJ R側に合わせる



特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号	検 印	意 匠	構 造	設 備	工 事 名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮 尺	1/50	A 28
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図 面 名	展開図 1	年 月 日		

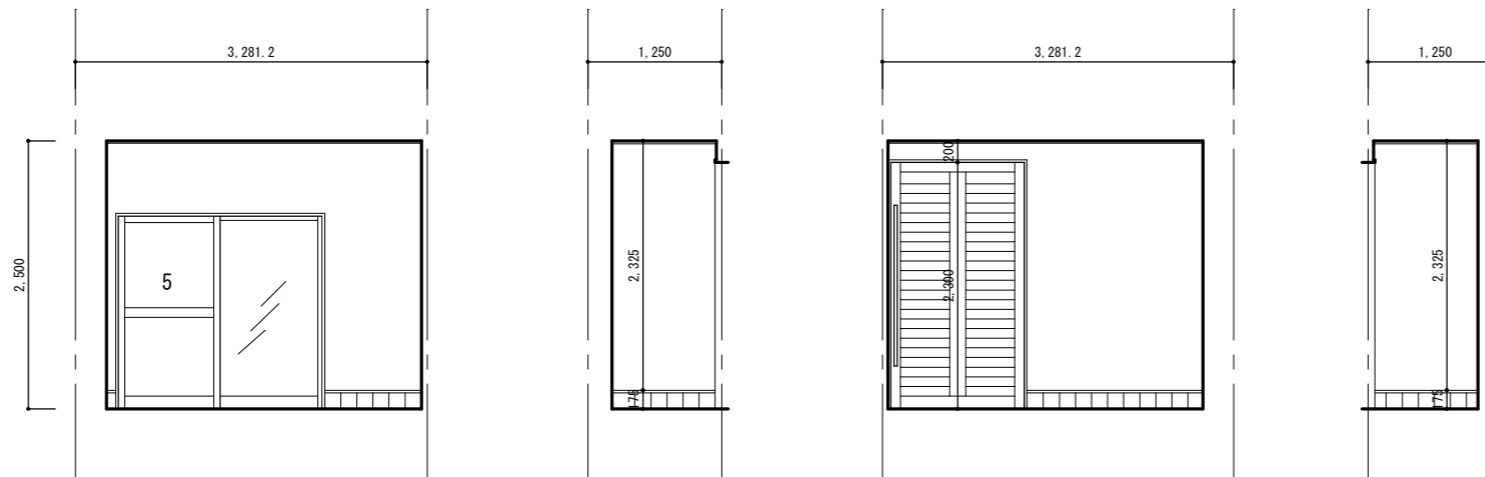
符号	事務室	
1	床	ビニル床シート 厚2.5
2	巾木	ソフト巾木 H=75
3	壁	下地 合板厚9.0mm プラスターボード厚12.5mm+クロス
4	壁	下地 合板厚9.0mm ケイカル板 厚8 2UB塗装
5	天井	下地 合板厚9.0mm ロックウール吸音板厚9mm
6	建具	アルミサッシ
7	ブラインドボックス	アルミ

\* ラチ外の納まり 割付は J R 側に合わせる

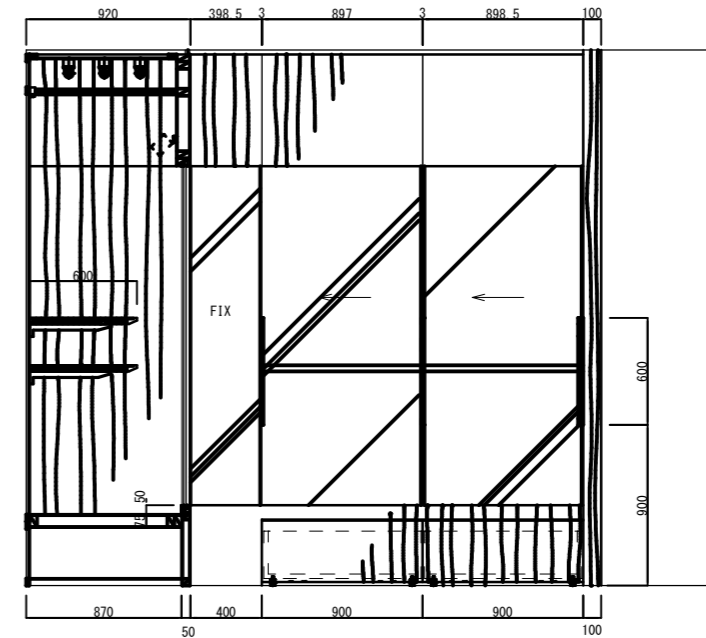
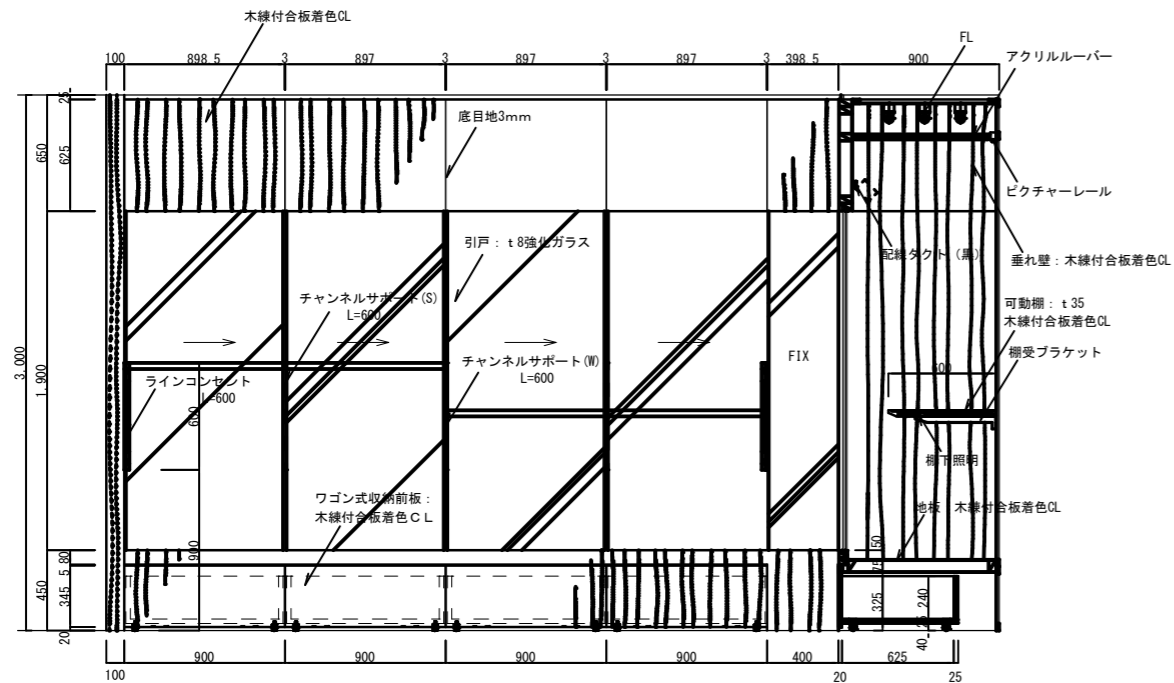
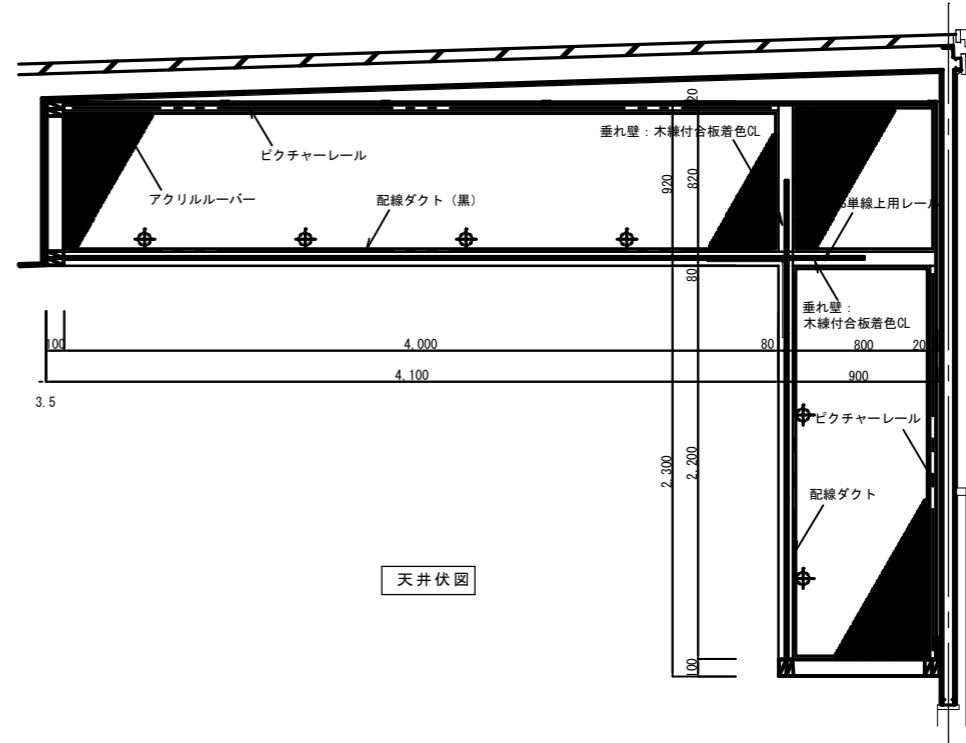
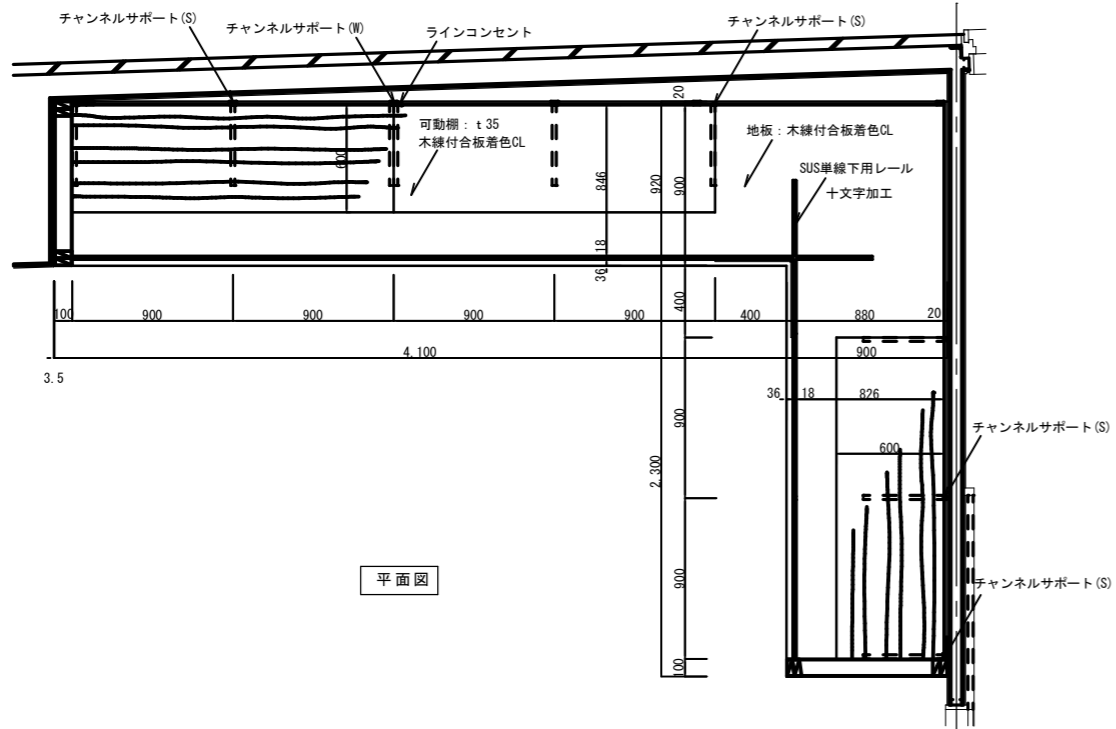


符号	風除室	
1	床	磁器質タイル 角150
2	巾木	磁器質タイル 角150
3	壁	下地 合板厚9.0mm プラスターボード厚12.5mm+クロス
4	天井	下地 合板厚9.0mm プラスターボード厚9.5mm+クロス
5	建具	アルミ

\* ラチ外の納まり 割付は J R 側に合わせる



特 記	-----	有限会社 藤崎設計事務所 佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎透 1級建築士第128417号	検 印	意 匠	構 造	設 備	工 事 名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮 尺 日 付	1/50	A 29
	図 面 名							展開図 2	年 月 日			



特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士第128417号	検 印	意 匠	構 造	設 備	工 事 名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮 尺	1/30	A 30
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図 面 名	展示台平面図	年 月 日		





鉄筋コンクリート造構造標準図

本図面は、一般の鉄筋コンクリート造建築物及び鉄骨造の鉄筋コンクリート部分用とする。  
本図面以外の構造図に指示のある場合は、その指示による。なおその他明示のない場合は、係員の指示による他、「建築工事共通仕様書」（公共建築協会）、又は「J.A.S.S. 5」（日本建築学会）に準ずる。

S.1 使用材料等

1-1 鉄筋

種別	規格等	適用
SD295A	JIS	D10、D13、D16
SD345	同上	D19、D25

1-2 コンクリート

種別	適用
21・3N/mm <sup>2</sup> ・S-18	基礎、地中梁、ピット壁、根廻り、土間
15N/mm <sup>2</sup> ・S-18	捨てコン
15N/mm <sup>2</sup> ・S-18	

1-3 基礎種別

直接基礎	設計地耐力（長期） 200 KN/m <sup>2</sup>	土質：礫混じりの砂質土
杭基礎		
場所打ちコンクリート杭基礎		
地耐力の確認	1-1期、1-2期、2期工事にて載荷試験各1ヶ所を行なう	

1-4 その他の材料等

・特記仕様による

1-5 材料試験等

・特記仕様による

S.2 鉄筋径表示記号

鉄筋径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
表示記号	1	x	o	●	○	∅	×	◎

S.3 鉄筋の加工要領

3-1 鉄筋の折曲げ規準

a) 鉄筋末端部の形状

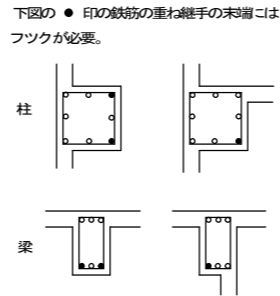
曲げ角度	形状	鉄筋種別	曲げ内法寸法D	余長(l)	備考
180°		SD295A SD345	4d以上	4d以上	
135°		同上	4d以上	6d以上	
90°		同上	4d以上	10d以上	係員の指示する梁のSIFのみ使用する。

b) 鉄筋中間部の形状

曲げ角度	形状	使用箇所	鉄筋径	鉄筋種別	曲げ内法寸法D
90°以下		i HOP SIF	全て	SD295A SD345	4d以上
		ii 床壁	D16以下	同上	5d以上
		iii 上記以外	d ≤ D25 d ≥ D29	同上	6d以上 8d以上

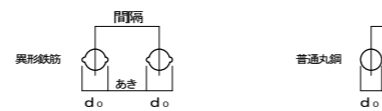
3-2 フックの必要な箇所

- 全ての普通丸鋼
- HOP SIP 巾止め筋 □ A・HOP
- 柱主筋の内柱頭4隅、及び、4隅の重ね継手
- 梁主筋の内、出隅部分にある重ね継手
- 煙突の鉄筋



3-3 鉄筋のあき

- 普通丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値
- 1.5d以上、粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上

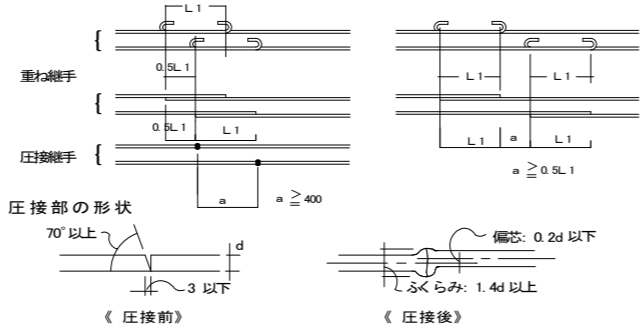


3-4 鉄筋の定着及び継手長さ

鉄筋種別	コンクリートの設計強度	フックなし			フックあり			
		L <sub>1</sub> 及び継手	L <sub>2</sub>	L <sub>3</sub>	L <sub>1</sub> 及び継手	L <sub>2</sub>	L <sub>3</sub>	
SD295A SD345	F <sub>c</sub> = 18	45d	40d	25d	10d かつ 150以上	35d	30d	15d
	F <sub>c</sub> = 21以上	40d	35d	同上	同上	30d	25d	同上

- 注1) 端部のフックは、定着及び継手長さには含まない。  
注2) 径の異なる重ね継手は細い方の径による。  
注3) D05以上の異形鉄筋は、原則として重ね継手としてはならない。

3-5 鉄筋継手の間隔及び形状



ガス圧接継手の有無

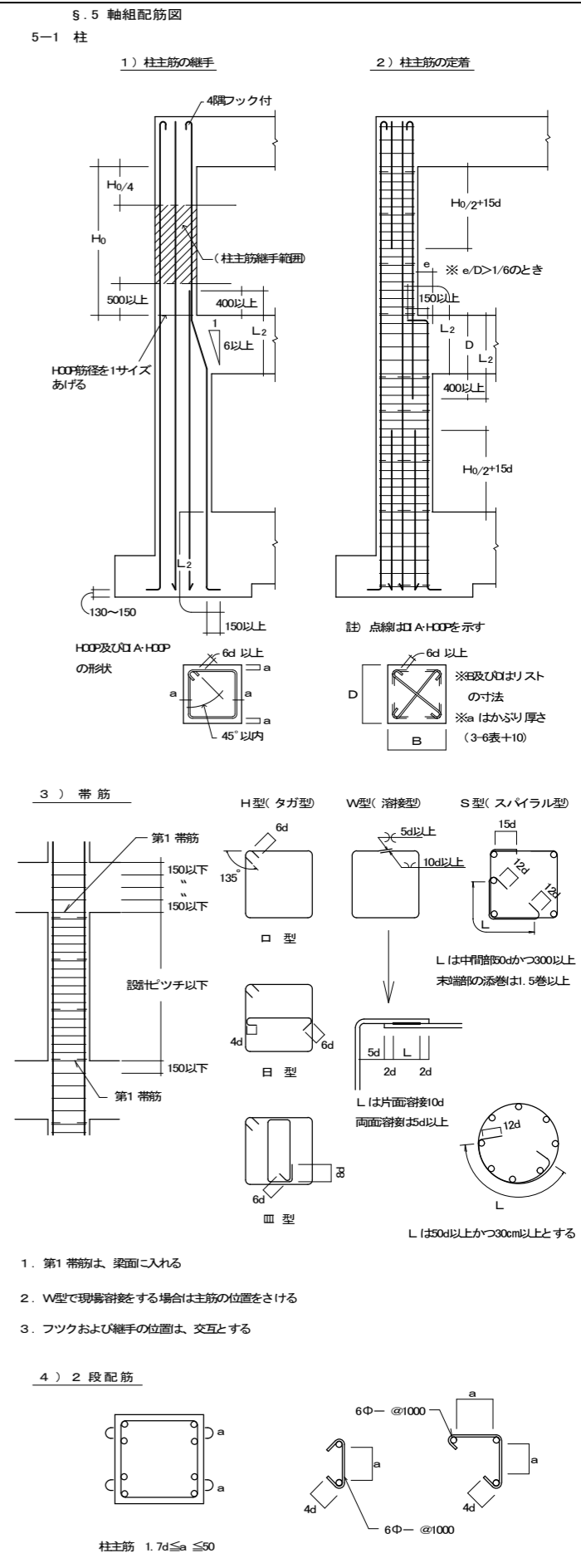
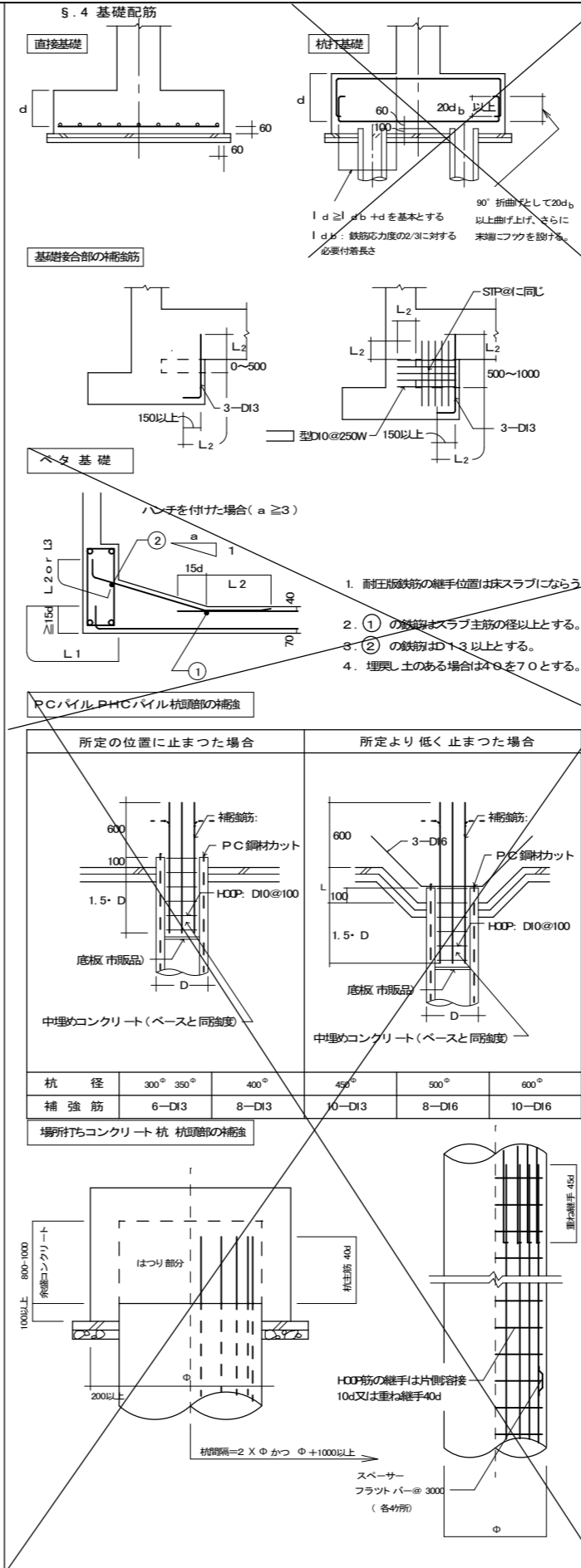
D25	
-----	--

3-6 鉄筋の最小かぶり厚さ

土に接しない部分	構造部分の種別		かぶり厚さ	備考
	床版 非耐力壁	仕上有		
土に接する部分	柱梁 耐力壁	仕上無	20	
	擁壁 耐力床版	下記以外	30	
		屋外仕上無	40	
	柱梁 床版 壁		40	
基礎 擁壁 耐力床版		60		

3-7 鉄筋の最小間隔（2段配筋の場合）

鉄筋径	間隔(a)
D16	45
D19	55
D22	60
D25	70
D29	80
D32	85



### 鉄骨造構造標準図

本図面は、一般の鉄骨造建築物に適用する。本図面以外の構造図に指示のある場合はその指示による。なおその他明示のない場合は、係員の指示による他、「建築工事共通仕様書」(公共建築協会)又は「J.A.S.S. 6」(日本建築学会)に準ずる。詳細に関しては「鉄骨工事標準仕様書」(日本建築学会)による。

#### 5.1 使用材料等

##### 1-1 鉄筋

種別	規格等	適用
SD295	JIS	鉄筋コンクリート 造標準図参照
SD45	JIS	鉄筋コンクリート 造標準図参照

##### 1-2 コンクリート

種別	適用
	鉄筋コンクリート 造標準図参照

##### 1-3 鋼材

種別	規格等	備考
鋼材	鉄骨断面リスト参照	
高カボルト	鉄骨断面リスト参照	
ボルト	鉄骨断面リスト参照	

##### 1-4 基礎種別

鉄筋コンクリート 造標準図参照

##### 1-5 その他の材料等

特記仕様書による

##### 1-6 屋根、床、壁

折版：形式 H= 厚=

QLデッキ：QL99-50-12 : SDP1G : SDP2G  
JIS G 3352 亜鉛メッキ(G) Z12

ALC版：厚=

コンクリートブロック(CB)：A種 B種 C種  
厚= 100 150 190

コンクリート壁：厚= 120 150 180 200

##### 1-7 塗装

#### 防錆塗装

- 防錆塗装の範囲は、高カボルト接合の摩損面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントはJIS K5622を2回塗り標準とする。
- 現場における高カボルト接合部及び接合部の表面処理は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ。錆止めペイントを使用し2回塗りとする。

注) コンクリートに埋め込まれる部分も塗装。但しコンクリートとの接合面、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分である主柱ベース底及び開柱ベース底は、塗装をしない。

##### 1-8 鉄骨工事

1) 工事監督者の承認を必要とするもの

- 製作工場 製作要領書 工作図 施工計画書 材目録表
- 建設者告示第1103号による認定工場(大臣認定 J グレード、都道府県 ランク)
- 材料規格証明書又は試験成績書(鋼材 高カボルト 頭付スタッド)

2) 工事監督者に検査事項を連絡し確認を受けるもの

- 現寸検査 組立、開先検査 製品検査 建方検査

3) 溶接及び接合部を 検査し、工事監督者に報告すること

- 溶接部及び接合部の検査報告

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			特記事項
		自主	第三者	工事監督者	
突合せ溶接部	超音波探傷試験	70% 個	30% 個		
ビード、われ、アダーカ、オバツガ、余盛、ヤケ他	外観(目視)検査	100% 個	30% 個	100%	

注) 第三者検査とは、建築主、工事監督者又は工事施工者が受入検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

#### 5.2 ボルト接合

##### 2-1 H.T.B

※トルクコントロールボルトの場合はメーカー規格外による

H.T.B	締め付け長さに加える長さ
M16	30以上
M20	35 "
M22	40 "

首下長さ(ボルト長さ) 締め付け長さ 余長(ネジ山8山以上)

#### ボルト接合面の処理

締め付け面は、母材においては平グラインダー掛け、スライズプレートにおいてはショット掛けを行い、黒皮を除去し、黒皮を除去し、黒皮を生じさせる。

##### 2-2 H.T.Bのピッチ

呼び径	M16	M20	M22
孔径	17.0	21.5	23.5
ピッチ(3-d)	p	60	70
はしあき(2-d)	e1	35	45
へりあき(1.5-d)	e2	25	35

##### 2-3 型钢のゲージ

A又はB	g1	g2	最大軸径	B	g1	g2	最大軸径	B	g1	最大軸径
**50	30	16	**100	60	16	**50	30	16		
60	35	16	125	75	16	65	35	20		
65	35	20	150	90	22	70	40	20		
70	40	20	175	105	22	75	40	22		
75	40	22	200	120	24	80	45	22		
80	45	22	250	150	24	90	50	24		
90	50	24	*300	150	40	24	100	55	24	
100	55	24	350	140	70	24				
125	50	35	400	140	90	24				
130	50	40	24							
150	55	55	24							

\* B=300はテドリ打ちとする  
\*\* 印欄のg及び最大軸径の値は、強度上支障がないとき最小軸径距離の規定にかかわらず用いる事ができる

#### 3-2 開先形状

##### (1) 隅肉溶接

脚長 S  
0 ≤ S ≤ S3 S: 設計サイズ S: 実測サイズ

t ≤ 16mm 0 ≤ f ≤ 0.4S かつ 4mm

t (t1とt2の小さい方)	6以下	7.8	9.10	11	12.13	14.15	16
SI	6	7	8	9	10	11	12
SI	4	5	6	7	8	9	10

##### (2) 部分溶け込み溶接 (使用箇所に注意)

D1 ≥ t/3  
t/4 ≤ S ≤ 10mm  
S: 設計サイズ  
t ≤ 1

t	溶接姿勢
t > 16mm	F, V

##### (3) 突合せ溶接 (平継手)

G = t/2, (t/3)  
0.5 ≤ f ≤ 3

t	溶接姿勢
t < 6mm	F, H, V, O
溶接方法	MC CC SCC AAG ( )内はCC SCC

##### W3

余盛 f

ビード幅B	余盛 f
B < 15	0.5 ≤ f ≤ 3
15 ≤ B < 25	0.5 ≤ f ≤ 4
B ≥ 25	0.5 ≤ f ≤ 4/25

溶接方法	MC	CC	SCC	AAG	SAC	AAG
t mm	G	R	D1	D2	θ1	θ2
6 ≤ t < 12	0	2	2/3 t-R	1/3 t-R	45°	60°
12 ≤ t < 19					0	6 50°
溶接姿勢	F, H, V, O				F	

##### W4

板厚の異なる場合

a ≤ 4  
5以上 1 a > 4

溶接方法	MC	CC	SCC	AAG	SAC	AAG
t mm	G	R	D1	D2	θ1	θ2
6 ≤ t < 12	0	2	2/3 t-R	1/3 t-R	45°	60°
12 ≤ t < 19					0	6 2/3 t-R 1/3 t-R 50° 60°
溶接姿勢	F, H, V, O				F	

##### W5

板厚の異なる場合

a ≤ 4  
5以上 1 a > 4

溶接方法	MC	SCC	SAC					
t mm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6 < t < 12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12 ≤ t ≤ 19	35°	9	9	5	45°	6	9	5
t > 19	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F, V							

##### W6

余盛 f は W4 に準ず

溶接方法	MC	SCC	SAC					
t mm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6 < t < 12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12 ≤ t ≤ 19	35°	9	9	5	45°	6	9	5
t > 19	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F, V							

##### 板厚の異なる場合

a ≤ 4  
5以上 1 a > 4

#### (4) 突合せ溶接 (T継手)

##### W7

f = t/4

溶接方法	MC	CC	SCC	AAG	SAC	AAG
t mm	G	R	θ	G	R	θ
6 ≤ t < 12	0	2	45°	0	6	60°
12 ≤ t < 19				0	6	60°
溶接姿勢	F, H, V, O			F		

##### W8

25以上

溶接方法	MC	CC	SCC	AAG	SAC	AAG		
t mm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6 < t < 12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12 ≤ t < 16	35°	9	9	5	45°	6	9	5
16 ≤ t	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F, V							

##### W9

T形突合せ継手余盛  
のど厚 t mm 余盛の高さ mm

t ≤ 4	1
4 < t ≤ 12	2
12 < t ≤ 19	3
t > 19	4

スラブ溶接は、鋼筋に接する全長とする。溶接角度 θ は 30° ~ 40° とする。

9mm ~ 16mm は t1 以上、19mm 以上は t2 以上とする。

溶接方法	MC	CC	SCC	AAG	SAC	AAG
t mm	G	R	D1	D2	θ1	θ2
t ≥ 16	0	2	2/3 t-R	1/3 t-R	45°	60°
t ≥ 19					0	6 2/3 t-R 1/3 t-R 50° 60°
溶接姿勢	F, H, V, O				F	

##### W10

φ 9	13	16	19	22	25
B 7	8	9	10	11	12
S 4	4.5	5	6	7	8

#### (5) 溶接材料と入熱パス間温度 (JIS Z 3312-1999)

\* 鋼材の種類、溶接材料、入熱及びパス間温度の組合せは、下表の通りとする。

溶接条件	適用鋼材の引張強さ		
	400N/mm <sup>2</sup> 級	490N/mm <sup>2</sup> 級	420N/mm <sup>2</sup> 級
入熱 (kJ/cm)	YQW11, 15, 18, 19	YQW11, 15, 18, 19	YQW18, 19
パス間温度 (°C)	YQW11, 15, 18, 19	YQW11, 15, 18, 19	YQW18, 19
1	15~20	≤150	
2	15~30	≤250	
3	15~40	≤350	

#### 5.4 柱・梁接合部及び継手

通しR: 梁F.R.板厚の2サイズ以上

柱溶接切り筋

建方用止構造図による

注) 現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%行う

柱角形鋼管の場合

現場溶接継手

#### 5.5 梁継手及び仕口

##### 5-1 剛接

ファイラプレート  
F.R., W.R.面で段差が0.0をこえる場合はファイラプレートを入れる。

##### 5-2 小梁仕口

#### 5.6 柱脚

##### 6-1 ピン柱脚

アンカーボルトに施工誤差を生じた場合

補強鉄(座金をかめる)

すべて二重ナット後締め止め

つめ止め後200程度

コナリはBASE R.厚の1/2以上かつ6以下

アカー: BOLT

コナリ表面のシラス等を取り除いた後、割合(容積比)が1:1の堅練りモルタルを平らに仕上げる。

モルタルを後詰めする場合は、空隙のない様に充填する。

アカープレートを使用する場合の詳細図は別図による。

#### 5.7 その他

##### 7-1 貫通孔補強

Aタイプ(φ ≤ 0.1H) Bタイプ(0.1H < φ ≤ 0.2H)

Cタイプ(0.2H < φ ≤ 0.3H) Dタイプ(0.3H < φ ≤ 0.4H)

R.厚さはW.R.厚さの1/2以上

R.厚さはW.R.厚さと同厚面

R.厚さはW.R.厚さの1/2以上

R.厚さはW.R.厚さの1/2以上

特記なき限り補強方法は上図によるが孔径φ)は0.4H以下とし、そのピッチは3φ以上とする。

スリーブは梁成の中央1/2の範囲右図とする。

##### 7-2 デッキプレート 床の納まり(合成床版の場合は別図による)

アークスポット溶接

アークスポット溶接

##### 7-3 鉄筋コンクリート床版シャーコネクター

300

180° フック付

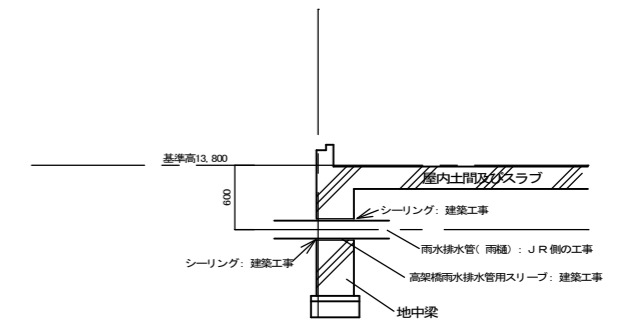
φ65

R13 φ @ 300

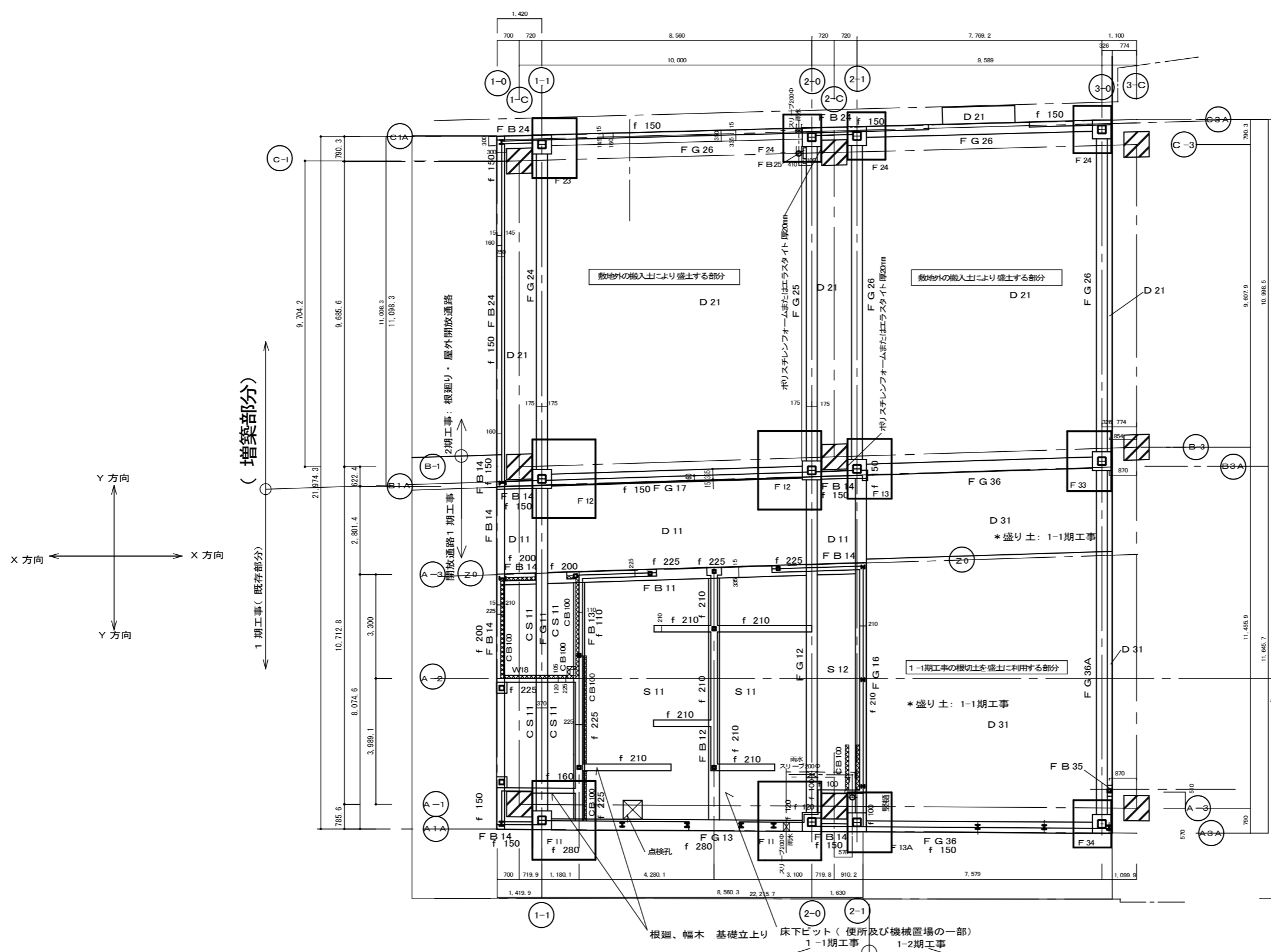
高架柱RC部と当該工事RC部が接する部分はポリスチレンフォームとする 厚20mm

工区	部材番号の桁	部材番号例
1-1期工事	11	F 11 F G 11 S 11 D 11
* 2期工事	21~	F 21 F G 24 D 21
* 1-2期工事	31	F 31 F G 36 D 31

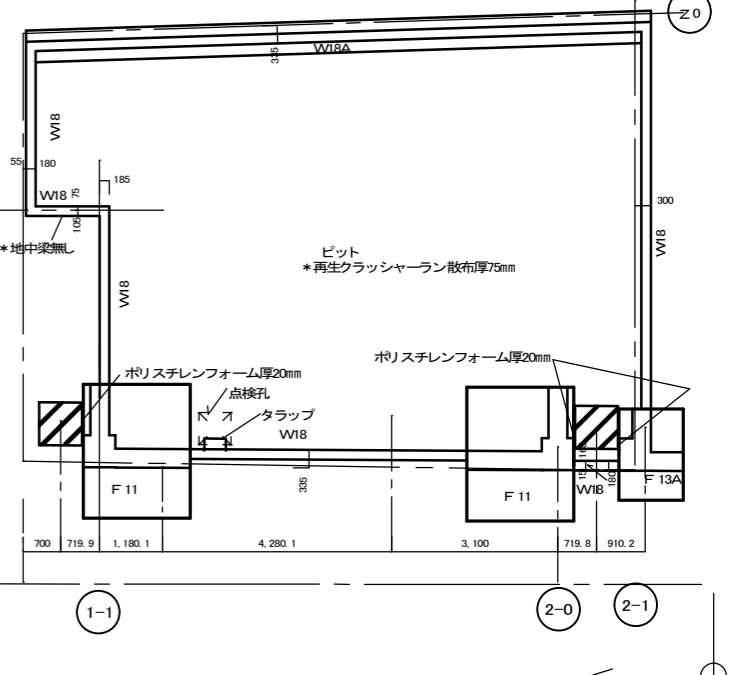
基礎立上り(根廻)の工事区分: 下部の地中梁の工事区分に同じ



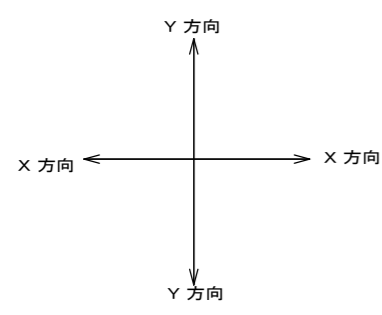
高架橋雨水排水管用スリーブ 断面図



1階基礎伏図



1階ピット基礎伏図

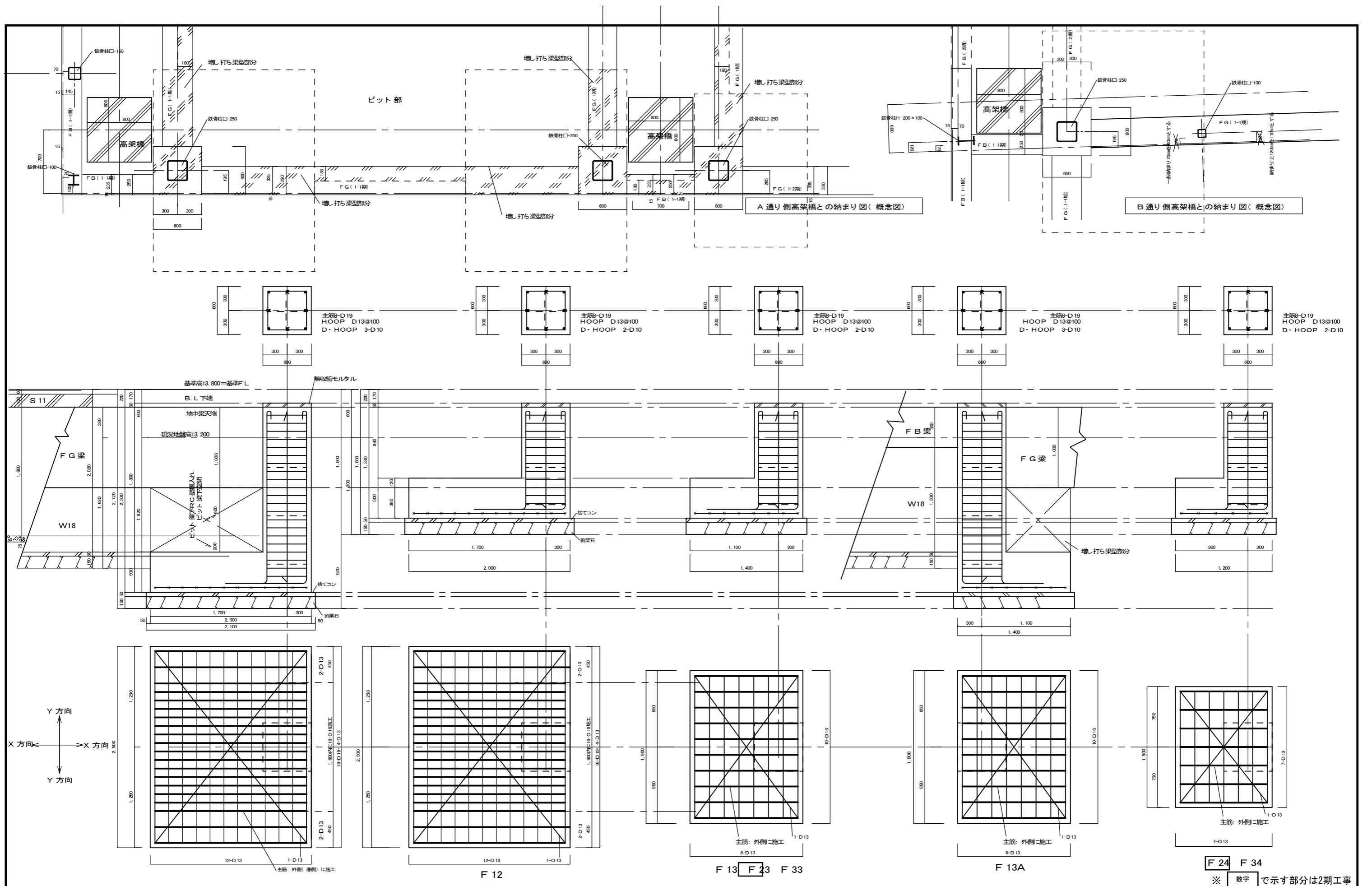


(増築部分)  
1期工事(既存部分)

根廻、幅木 基礎立上り 床下ビット(便所及び機械置場の一部)  
1-1期工事 1-2期工事

設備工事用スリーブは設備施工による  
排水用スリーブは参考としJ R側の排水計画により施工すること  
屋外開放通路は1-1期工事の根切土を利用する

特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号	検印	意匠	構造	設備	工事名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮尺	1/100	S 3
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図面名	基礎伏図	年月日		



特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号	検 印	意 匠	構 造	設 備	工 事 名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮 尺 日	1/30	S
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7 TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図 面 名	基礎詳細図	年 月 日		4

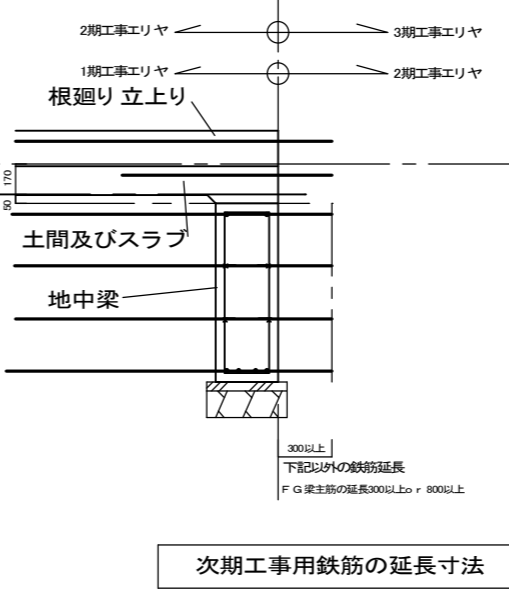
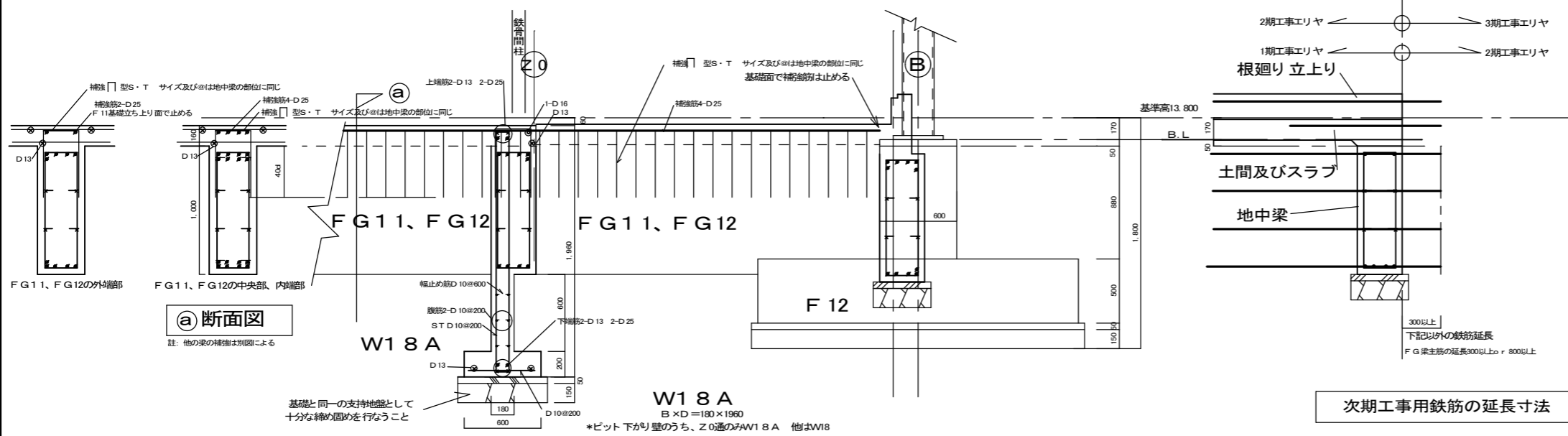
※ 数字 で示す部分は2期工事

# 地中梁リスト

主筋の施工は南北方向の地中梁を優先すること（梁の外側へ配置）  
 詳細 梁石の締め固めは十分に行い、梁底に型枠施工の部位の処理は監理者へ事前に報告のこと

※ 数字で示す部分は2期工事を示す。

記号	FG11			FG12			FG13			FG24			FG25		
サイズ	370×1000			350×1000			350×1000			350×1000			350×1000		
位置	外端	中央	内端	外端	中央	内端	外端	中央	内端	内端	中央	外端	内端	中央	外端
断面															
上端筋	5-D 25	8-D 25	8-D 25	5-D 25	8-D 25	8-D 25	6-D 25	5-D 25	5-D 25	7-D 25	5-D 25	5-D 25	6-D 25	3-D 25	4-D 25
下端筋	5-D 25	8-D 25	7-D 25	5-D 25	8-D 25	8-D 25	5-D 25	6-D 25	5-D 25	6-D 25	5-D 25	4-D 25	5-D 25	4-D 25	3-D 25
S.T	D 13@125	D 13@200	D 13@75	D 10@125	D 10@200	D 10@75	D 10@150			D 10@150			D 10@150		
腹筋	4-D 13			4-D 13			4-D 13			4-D 13			4-D 13		
幅止筋	D 10@600			D 10@600			D 10@600			D 10@600			D 10@600		
記号	FB11		FB12		FB13		FB14	FB24	FB34	FB25		FB35	FG16	FG26	FG36 (FG36A)
サイズ	350×1000		350×1000		350×1000		250×500 (350×500)		350×500		350×1000		350×1000		
位置	両端	中央	両端	中央	両端	中央	全断面		全断面		両端	中央			
断面															
上端筋	5-D 25	4-D 25	4-D 25	4-D 25	4-D 25	3-D 25	2-D 16		2-D 16		2-D 16		4-D 25	3-D 25	
下端筋	4-D 25	8-D 25	3-D 25	8-D 25	3-D 25	7-D 25	2-D 16		2-D 16		2-D 16		3-D 25	4-D 25 (3-D 25) ( )はFG36A	
S.T	D 10@150	D 10@200	D 10@150	D 10@200	D 10@150	D 10@200	D 10@200		D 10@200		D 10@200		D 10@200		
腹筋	4-D 13		4-D 13		4-D 13		4-D 13		4-D 13		4-D 13		4-D 13		
幅止筋	D 10@600		D 10@600		D 10@600		D 10@600		D 10@600		D 10@600		D 10@600		



記号	FG17		
サイズ	350×1000		
位置	外端	中央	内端
断面			
上端筋	7-D 25	7-D 25	5-D 25
下端筋	5-D 25	4-D 25	3-D 25
S.T	D 10@200		
腹筋	4-D 13		
幅止筋	D 10@600		

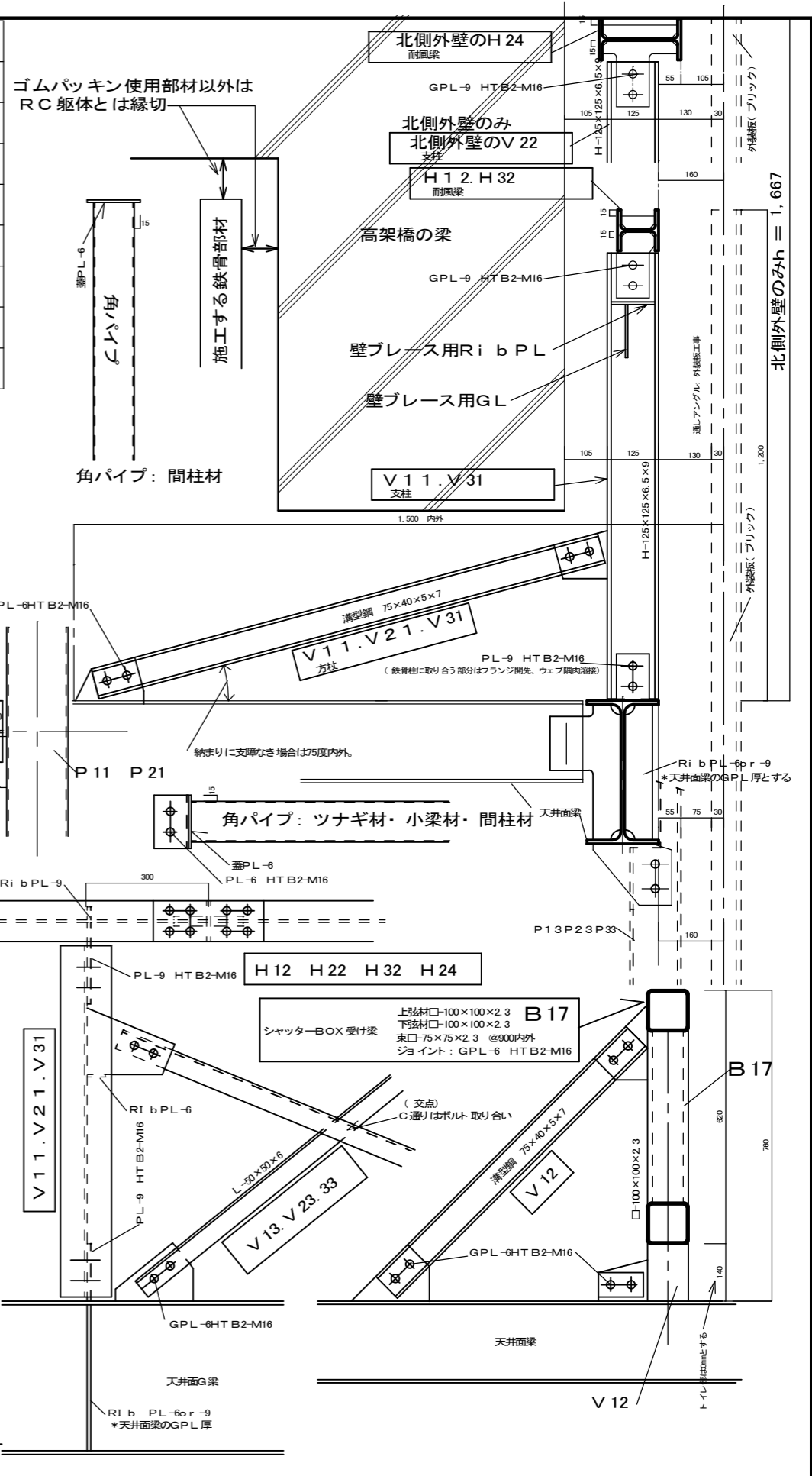
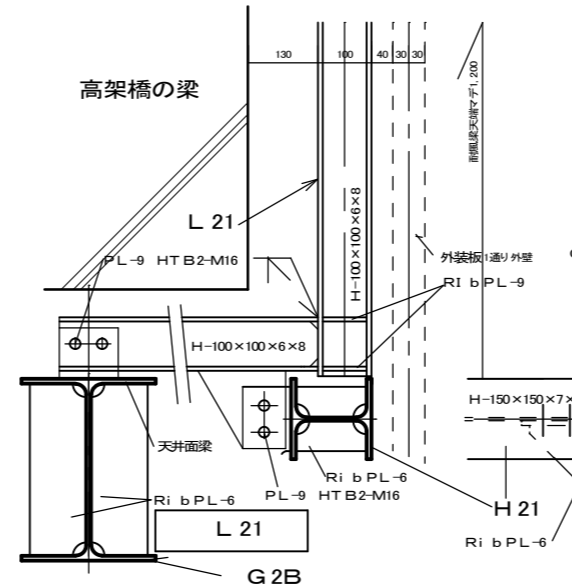


# 鉄骨リスト

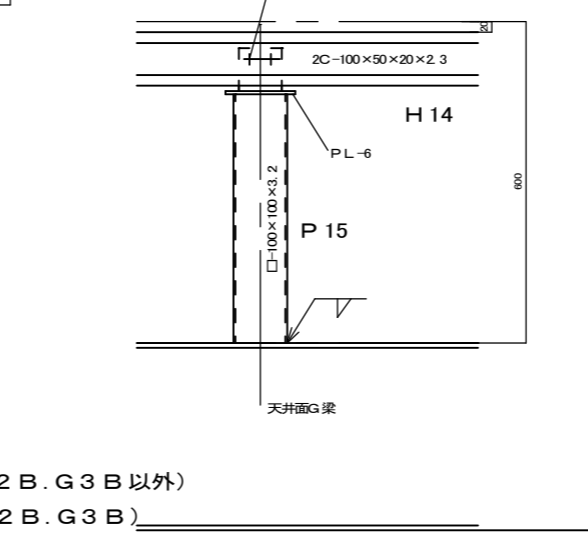
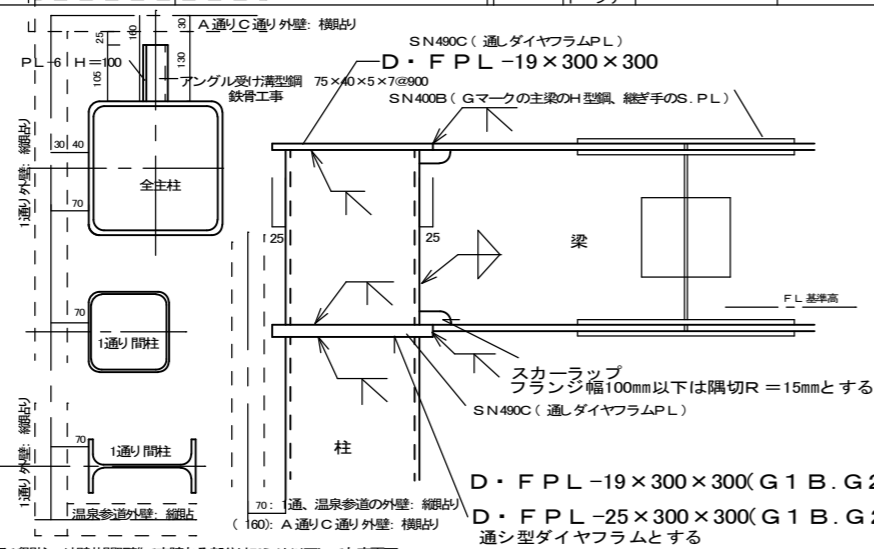
当図面に表示なき外装板用開口補強及び外装板用アンカーは外装板工事に含む。

※ [数字] で示す部分は2期工事を示す

記号	サイズ	ジョイント	記号	サイズ	ジョイント	
G 1 G 3	H-350×175×7×11	フランジ2 SPPL-9, HTB6-M16 ウェブ2 SPPL-6, HTB3-M16	C 1 C 2 C 3	□-250×250×12		
G 1 A G 3 A	H-350×175×7×11	フランジ2 SPPL-9, HTB6-M16 ウェブ2 SPPL-6, HTB3-M16	P 11 P 31	□-150×150×4.5	PL-6 HTB2-M16	
G 1 B G 3 B	H-340×250×9×14	フランジ2 SPPL-12, HTB6-M20 ウェブ2 SPPL-9, HTB3-M20	P 12 P 12 A	□-100×100×3.2	PL-6 HTB2-M16	
K B 11 K B 21	H-200×100×5.5×8	フランジ2 SPPL-9, HTB4-M16 ウェブ2 SPPL-6, HTB2-M16	P 13 P 13 B P 23 A P 23 B P 33 A P 33 B	H-125×125×6.5×9	PL-6 HTB2-M16	
			P 14	H-200×100×5.5×8	PL-6 HTB2-M16	
K 21 K 31	H-200×100×5.5×8	フランジ: 開先溶接 ウェブ: 隅肉溶接	P 15	□-100×100×3.2	柱脚: 工場隅肉溶接 柱頭: PL-4.5BN2-M12	
K 22 K 32	H-100×100×6×8	フランジ: 開先溶接 ウェブ: 隅肉溶接	P 26 P 36	□-100×100×3.2	PL-6 HTB2-M16	
B 11 B 31	H-200×100×5.5×8	PL-6 HTB2-M16	記号	部材	サイズ	ジョイント
B 12 B 32	H-300×150×6.5×9	PL-6 HTB3-M16	V 11 V 2	柱材	H-125×125×6.5×9	PL-9 HTB2-M16 *主柱付は溶接
B 23 B 33	□-100×100×2.3	PL-6 HTB2-M16	V 31 V 3	方杖材	溝型鋼 75×40×5×7	PL-6 HTB2-M16
B 14	溝型鋼150×75×6.5×9	PL-6 HTB2-M16	V 12 V 22	柱材	□-100×100×2.3	PL-6 HTB2-M16 木口蓋PL-3.2
B 15 B 35	□-100×100×2.3	PL-6 HTB2-M16	シヤッタ BOX受 の撤れ止め	方杖材	溝型鋼 75×40×5×7	PL-6 HTB2-M16
	□-75×75×2.3	PL-6 HTB2-M16	L 21	柱材	H-100×100×6×8	PL-9 HTB2-M16 *主柱付は溶接
H 11 H 21	H-150×150×7×10	PL-9 HTB2-M16 : 横向き材 耐風梁	M 21 M 31	置梁	H-100×100×6×8	PL-6 HTB2-M16
H 12 H 32	H-100×100×6×8	フランジ2 SPPL-9, HTB4-M16 ウェブ2 SPPL-9, HTB2-M16	B 17 シヤッタ BOX受	小梁	□-100×100×3.2	PL-6 HTB2-M16
H 24 H 33	H-200×100×5.5×8	フランジ2 SPPL-9, HTB4-M16 ウェブ2 SPPL-9, HTB2-M16	S 31 S 32	弦材	□-100×100×2.3	PL-6 HTB2-M16
H 13 H 33	□-100×100×3.2	PL-6 HTB2-M16	軒天鉄骨 N 11 N 31	束	□-75×75×2.3 @900内外	弦材に溶接
H 14	2C 100×50×20×2.3	柱脚: 工場隅肉溶接 柱頭: PL-4.5BN2-M12	ベース材	防振ゴム付 L-150×90×9	ケミカルアンカー 6-M16	
屋内天井ネタ 屋内天井ネタ受 N 32	2C-100×50×20×2.3 @910 ツツリ板 PL-4.5×50 @900	ネコPL-4.5 BN2-M12	下弦材	防振ゴム付 L-150×90×9	ケミカルアンカー 8-M16	
H 35	H-125×125×6.5×9 : 横向き材 耐風梁	PL-9 HTB2-M16	天井面受 ドーナツ	溝型鋼 125×65×6×8	GPL-6 HTB2-M16	
天井面ブレース	RB-16Φ ターンバックル付	PL-6 HTB1-M16	天井面受 ドーナツ	C-100×50×20×2.3 @900	PL-4.5 BN2-M12	
外壁面ブレース (V13, V23, V33)	L-50×50×6	PL-6 HTB2-M16	天井面受 ドーナツ	2C-100×50×20×2.3 @900	PL-4.5 BN2-M12	



サイズ	ピッチ	ハシアキ	ヘリアキ	備考
M12	40	35	20	
M16	60	35	25	
M20	60	40	30	



特記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎透 1級建築士第128417号	検印	意匠	構造	設備	工事名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮尺	1/10	S
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図面名	鉄骨断面リスト	年月日		

北側外壁のみ 1,667

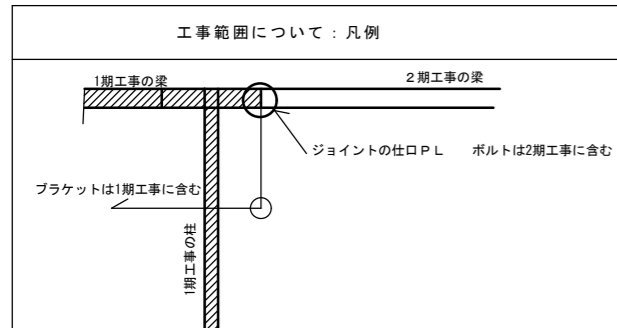
北側外壁のみ 1,200

700

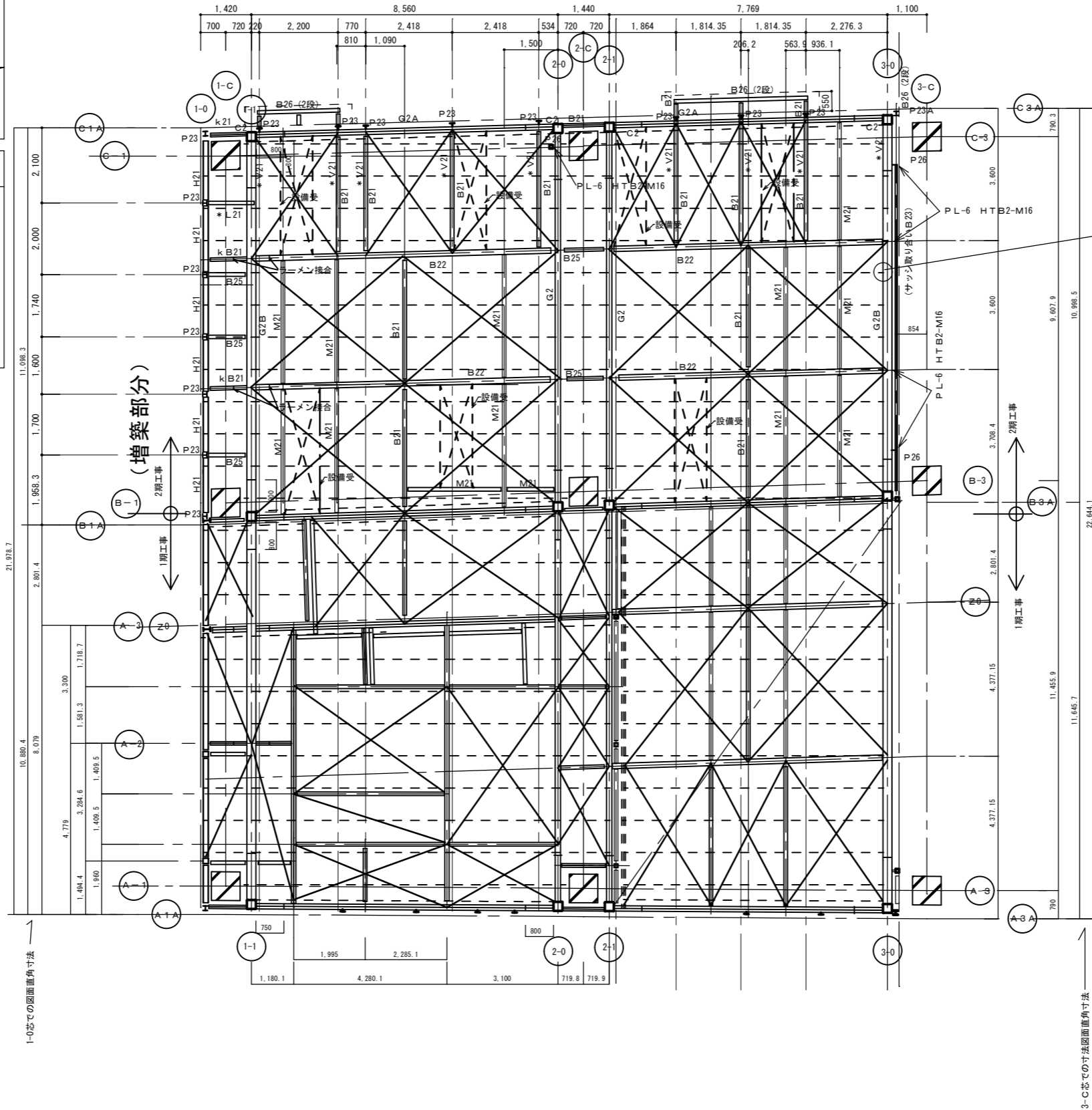
140

7

工区	部材番号の桁	部材番号例	備考
1-1期工事	1~ 11~	C1 G1 B11 P11	
2期工事	2~ 21~	C2 G2 B21 P21	室内全てのK21、B21、B22の梁天 = G梁梁天+150mm
1-2期工事	3~ 31~	C3 G3 B31 P31	1ヶ所のみB31の梁天 = G梁梁天+100mm



\* 設備機器受材  
柱、梁共 2C-100×50×20×2.3

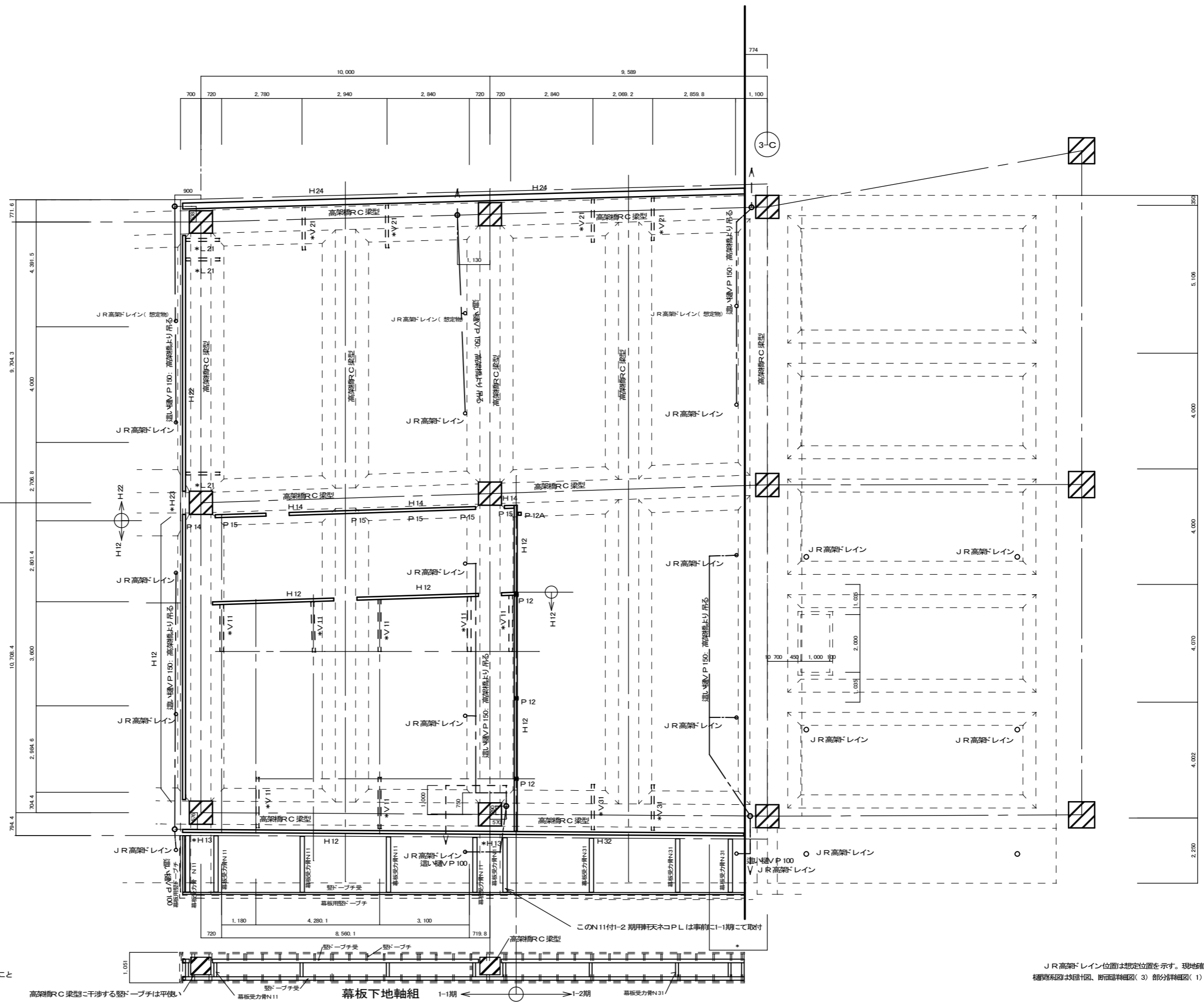


JR側躯体にアンカーする部材は躯体図面をもとにセンサー等にて障害物の確認を行うこと  
◎印：間仕切り用押し出しセメント板受鉄骨梁を示す  
：水平ブレース取付高さ = G梁天-130mm  
：水平ブレースと設備機器との干渉に留意のこと。  
：設備用M21・M31の配置は設備図を優先する。  
：M21・M31は鉄骨工事に含む。  
：S31・S32は鉄骨工事に含む

特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士第128417号	検 印	意 匠	構 造	設 備	工 事 名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮 尺	1/100	S 8
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図 面 名	鉄骨梁伏図 (天井裏)	年 月 日		



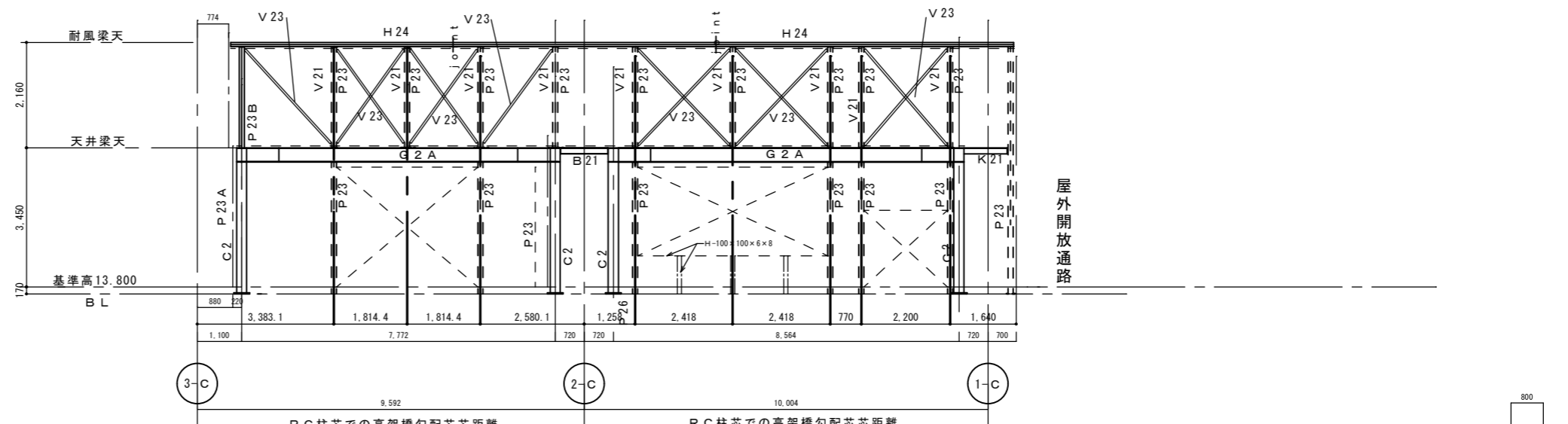
(増築計画部分)



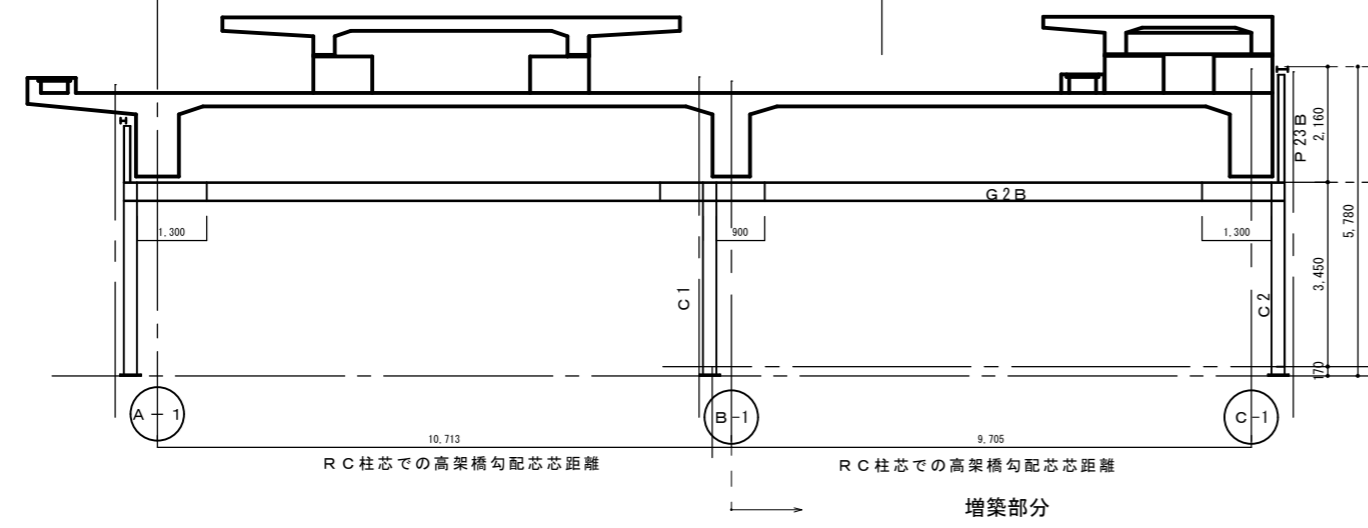
JR供用部材にアンカーする部材は躯体断面をもとにセンサー等にて障害物の確認を行なうこと

JR高架レイン位置は想定位置を示す。現地確認の上、施工のこと。種別系図、基礎計画、断面詳細図(3)部分詳細図(1)(2)基礎伏図参照

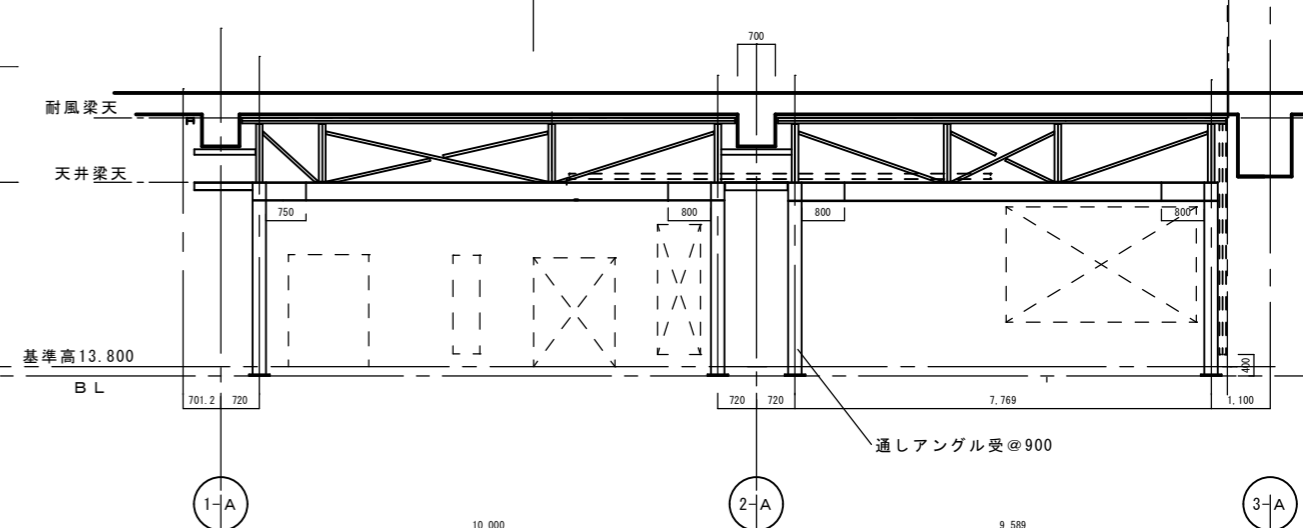
特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士第128417号	検印	意匠	構造	設備	工事名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮尺	1/100	S 9
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図面名	高架橋スラブ下部 外装板受け梁 高架橋スラブ下部這い樋位置図	年月日		



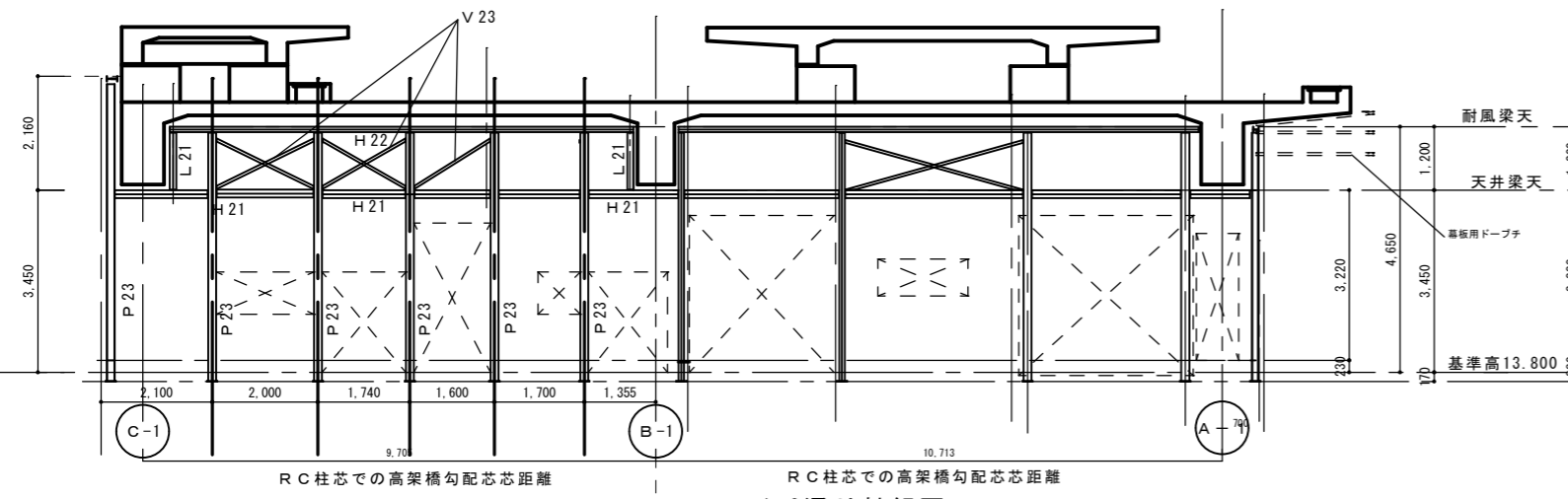
C-1~C-2~C-3通り軸組図 (増築部分)  
V23は芯ズレにて取り合い、交差部はボルト取り合い



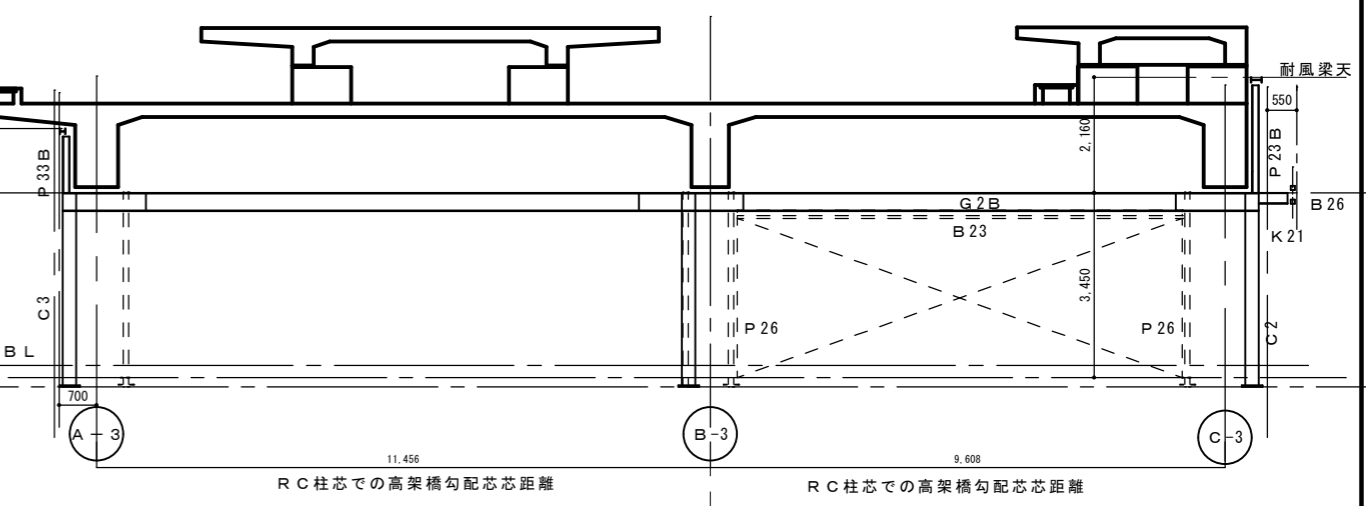
1-1通り軸組図



A-1~A-2~A-3通り軸組図 (既存部分)  
V23は芯ズレにて取り合い、交差部はボルト取り合い



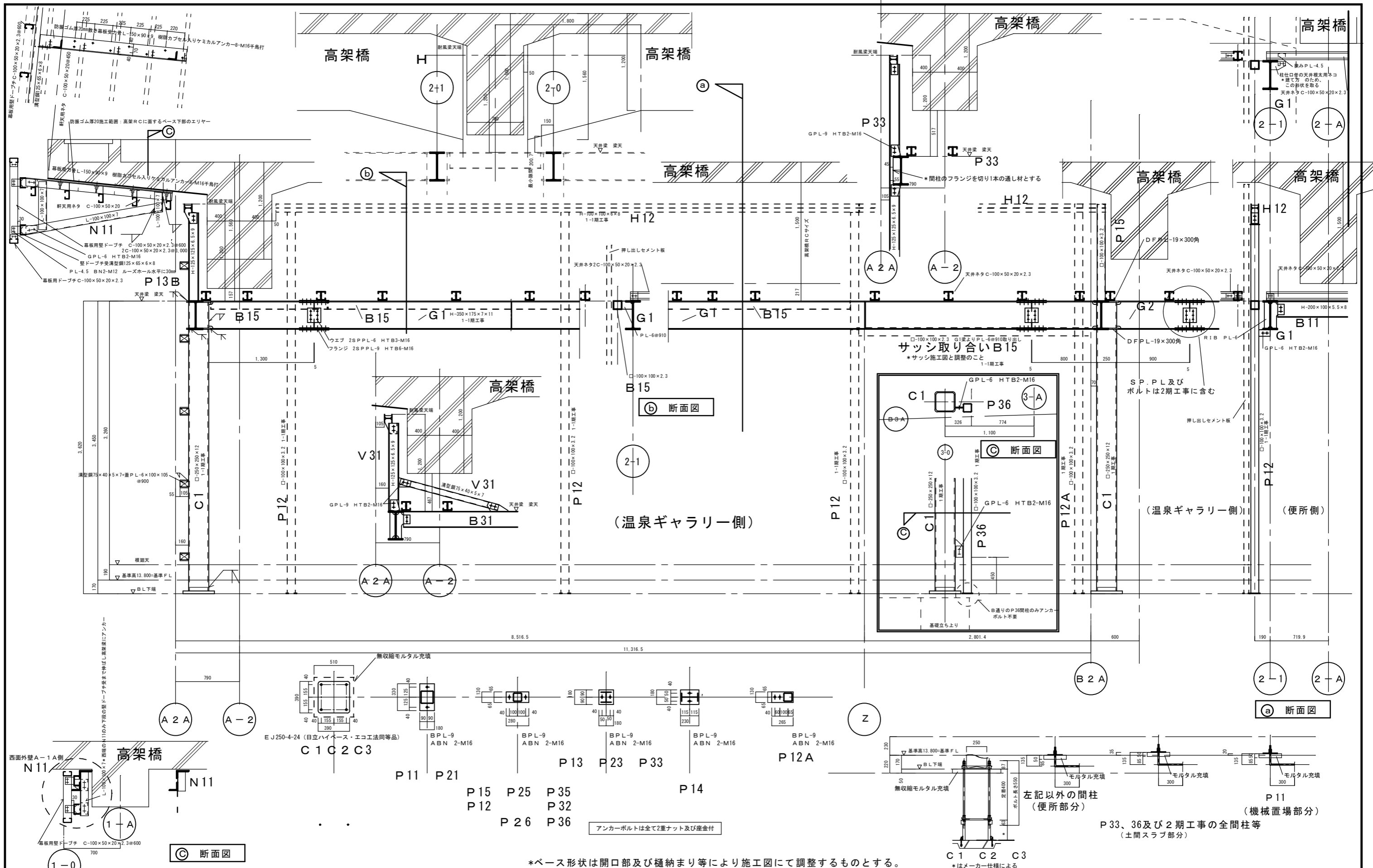
1-0通り軸組図



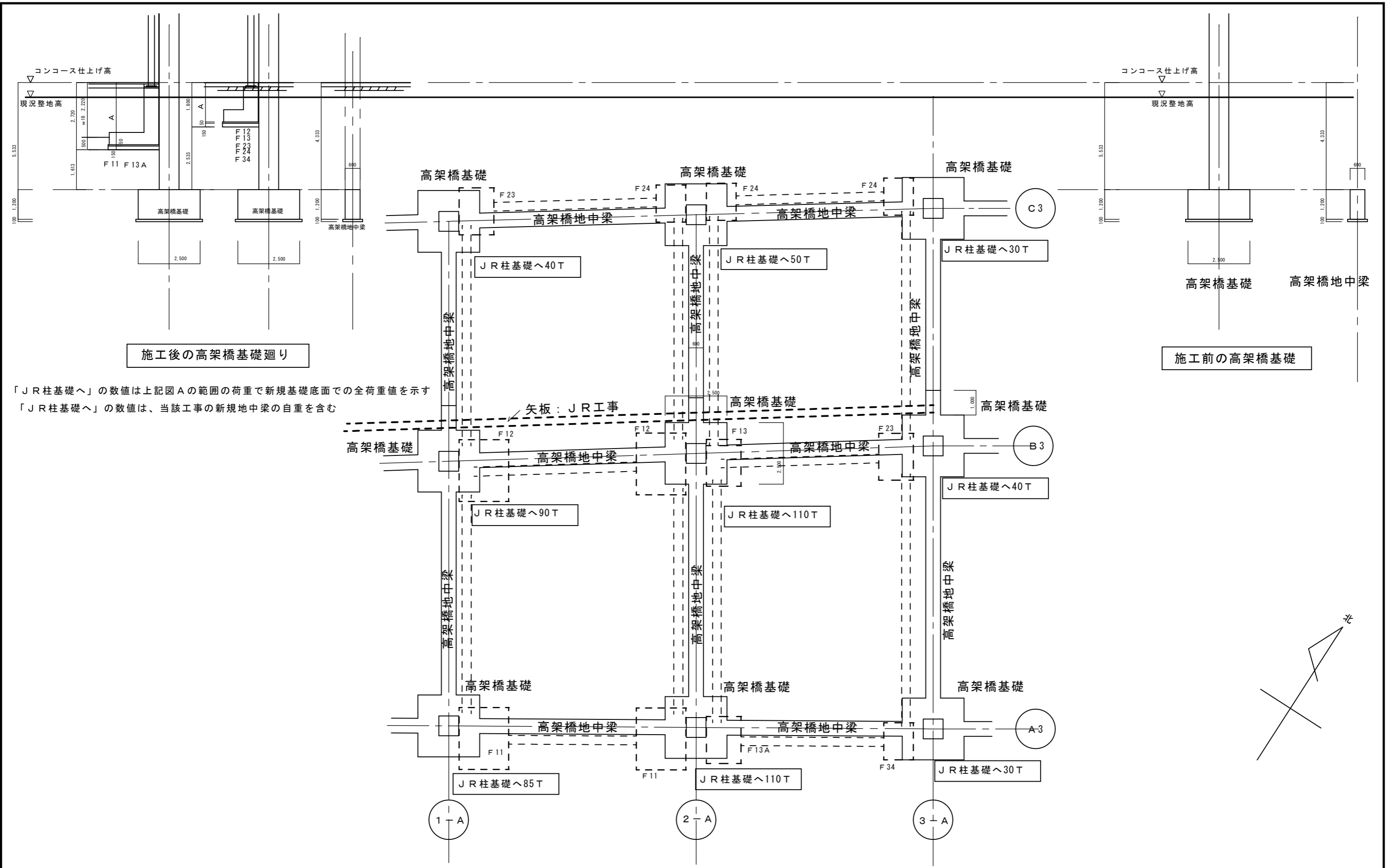
3-0通り軸組図

特 記	有限会社 藤崎設計事務所 佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7 TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533	事務所登録第1009号	検印	意匠	構造	設備	工 事 名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮 尺 日 付	1/100	S
		管理建築士 藤崎 透 1級建築士第128417号									

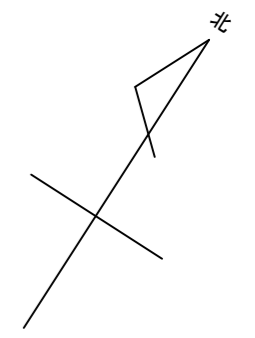




特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号	検印	意匠	構造	設備	工事名	縮尺	1/30	S
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533	管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号					(仮称) 観光交流センター2期建設工事 鉄骨詳細図 1	年月日		



「JR柱基礎へ」の数値は上記図Aの範囲の荷重で新規基礎底面での全荷重値を示す  
「JR柱基礎へ」の数値は、当該工事の新規地中梁の自重を含む



特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士第128417号	検印	意匠	構造	設備	工事名	(仮称) 観光交流センター2期建設工事	縮尺	1/100	S 13
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7 TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図面名	基礎荷重図	年月日		

(仮称) 観光交流センター—2期  
電気設備工事

武雄市役所 建設課

(仮称)観光交流センター 2期電気設備工事

図面番号	図面リスト	縮尺
E-0	電気設備現場説明書	
E-1	電気設備特記仕様書	
E-2	盤図・照明器具参考姿図	
E-3	既設盤類改修図	
E-4	幹線・動力・コンセント設備平面図	S = 1 / 100
E-5	電灯設備平面図	S = 1 / 100
E-6	弱电設備平面図	S = 1 / 100
E-7	自動火災報知設備平面図	S = 1 / 100

特記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎透 1級建築士第128417号	検印	意匠	構造	設備	工事名	(仮称)観光交流センター2期電気設備工事	縮尺	N・D	年月日
	図面名						図面リスト				
佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7 TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533											

現場説明書														
工事名	(仮称) 観光交流センター2期電気設備工事													
契約条件	<p>監督員事務所の電気、ガス、水道使用料、公用電話料金は、建築、電気、衛生、空調等の各請負業者により、按分負担する。</p>													
建設業退職金共済組合	<p>1、建設業者は、組合に加入するとともに、その建設業退職共済制度の対象となる労務者について、証紙を購入し、当該労務者の共済手帳に証紙を貼付すること。</p> <p>2、工事を受注した建設業者は、組合の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事請負契約締結後、1ヶ月以内に契約相手方の担当課長に提出すること。</p> <p>なお、期限内に収納書を提出できない特別の事情がある場合は、あらかじめその事由及び証書購入予定を合わせて申し出ること。</p> <p>3、証紙購入状況を把握する必要があるときは、関係資料の提出を求めることがある。</p> <p>4、建設業者が、下請負契約を締結する際は、下請負業者にたいして、この制度の趣旨を説明し、掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の組合加入並びに証紙のご購入及び貼付を促進すること。</p> <p>5、下請業者の規模が小さく、管理事務処理の面で万全でない場合は、元請業者に組合加入手続機及び組合関係事務の処理を委託する方法もあるので、元請業者は積極的に受託すること。</p>													
建設産業における生産システム合理化指針	本工事の施工にあたっては、「建設産業における生産システム合理化指針」を遵守すること。													
工事費内訳書	入札に際し、工事費内訳書の原稿を持参すること。													
安全対策	<p>災害、公害の防止については、「建築・電気設備・機械設備工事共通仕様書」、「公共住宅建設工事共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）による他、下記による。</p> <p>(イ) 本工事における建設機械の使用については、環境汚染、鉛公害等防止のため、ガソリン無鉛化対策を講じたものを使用すること。</p> <p>(ロ) 工事請負者は附近住民への防災その他の対策については、特に留意し、関係下請負作業者にその趣旨を徹底し、紛争が生じた場合は、直ちに監督員に報告し、責任をもって処理すること。</p> <p>(ハ) 危険物、土砂及び塵埃が現場から飛散しないよう防止策を日常怠らぬようすること。</p> <p>(ニ) 震動、騒音を伴う工事については、その防止対策を講ずると共に作業日時は次のとおりとする。</p> <p>◎日曜日及び国民の祝日には作業は行わない。なお、作業時間については、周辺居住者と十分な協議を行う等の措置を講じ、かつ関係法規等に抵触することのないよう十分に配慮し作業を行うこと。</p> <p>(ホ) 建設現場内、外を問わず、道路、構築物等を破損あるいは、汚染させた場合は、本工事請負業者の責任において、すみやかに原型に復し、管渠等への土砂の流入があった場合は直ちに除去すること。</p> <p>(ヘ) キャタピラ付特殊車等の場内道路の通行については監督員の指示をうけること。</p>													
適正な施工の確保	<p>1、工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者又は、専任の監理技術者については適切な資格、技術力等を有する者を設置すること。</p> <p>2、労働時間については、労働基準法を遵守し、労働時間の短縮や休日の確保には十分配慮すること。</p>													
危険防止	<p>工事期間の危険防止については下記によること。</p> <p>(イ) 工事期間中危険と思われる箇所については危険防止の移動柵、立入禁止の表示、立札を設置し、夜間は必要に応じ注意灯を設ける等の措置を講じること。</p> <p>(ロ) 工事期間中、通行者の安全確保のための交通整理員を配置する等、必要に応じ措置すること。</p>													
注意事項	<p>1、官公署等への手続きについては「共通仕様書」による他、地元に対しても打合わせ等を十分に行い、工事も地元及び関係官公署に対し、連絡を保ち適切に行うこと。</p> <p>2、「前払金保証約款第7条の2」の保証事業会社への通知 (イ) 請負者は、工期変更の被保証者（発注者）から保証事業会社への通知を発注者に代わって行うものとする。 (ロ) 通知方法は、工期変更にかかる工事請負変更契約書の写しを送付して行うものとする。</p> <p>3、工事を受注した業者は、適切な資金の確保、及び労働災害の防止等、建設労働者の保護につとめるとともに、</p>													
工事の案内板（広報等を含む） 工事に使用する進入路	建設資材納入業者の利益を不当に害することなく、公正な取り引きを行うこと。さらに、工事の実施にあたっては、下請け代金の決定（前払い金を含む）及び下請け代金の支払等についての不適正な条件による下請けをしないこと。また、不必要な重層下請が生じないように配慮すること。													
仮囲い等	4、工事施工にあたっては、土砂等の運搬が運送契約によって行われるときは、正規の運送免許を受けた者の車輛の使用に努めること。													
工事中の写真	5、建設資材の価格変動に対応し下請金額の変更については、適切に措置すること。													
関連工事との協調	工事の案内板は、書入内容、製作寸法、使用材料、設置位置について監督員と協議して設けること。													
竣工後の維持管理	土砂、工事用資材等のダンプ、トラック等の大型貨物自動車による搬送計画、通行計画の選定、その他車輛の通行に係る安全対策について、請負業者は関係機関と十分協議して、必要な具体的内容を定め、監督員の承認を得たうえでこれを誠実に履行すること。また、官公署等に対する許可届け等の手続きも行うこと。													
その他特記事項	<p>仮囲い及び板塀については、設計図により実施すること。なお、現場の状況により仮囲い等の変更が必要な場合は、監督員との協議により実施すること。</p> <p>工事中及び竣工写真については、建設大臣官房庁営繕部「工事写真の撮り方（建築設備編）」による他、建設地周辺に建築物、構築物等がある場合は適切な区画を定め、必要に応じ、着工前にそれらを撮影すること。</p> <p>工事関係請負者は、工事の質の向上及び工事全体の円滑な進捗を図るため、協議、協調すると共に、契約書並びに「共通仕様書」による他、監督員の調整に従い、工事の円滑な施工に協力すること。</p> <p>1、竣工後の維持管理は監督員と十分協議のうえ、請負者の責任において、下記の仕様により善良に行うこと。（期間は竣工後30日間）</p> <p>(イ) 雨天の日以外は週に2回以上建物を開放し、室内の換気を行う事。</p> <p>(ロ) 暴風雨等、当該建物に被害の生じる恐れのある場合には、必要な措置をとると共に、その結果を監督員に報告すること。</p> <p>(ハ) 建物内部及び周囲は適時巡回し、建物等に損傷、故障その他異常があったとき、又は緊急事故が発生したときは、所要の措置を講ずると共にその結果を監督員に報告すること。</p> <p>(ニ) 建物を使用開始する直前に建物の内外の清掃を行う事。</p> <p>(ホ) 居室の外部開口部には必要に応じ監督員と協議して、遮光シートを取付け維持管理をすること。</p> <p>2、建物使用開始後、原則として、90日間は及び設備の取付け等の処理のため、即時対応できるよう態勢を取っておくこと。</p> <p>◎ 設計図書優先順位は次のとおりとする。現場説明書（現場説明に対する質疑応答書も含む）、特記仕様書、設計図、共通仕様書。</p> <p>◎ 工事中、場内では危険防止に特に注意を払い、工事車輛等は徐行運転をし、駐車は指定の場所に行う事。</p> <p>◎ 工事の一部を下請に付する場合は、下請契約の形式を明確にして、直ちに一部下請申請書を提出し、承諾を得ること。</p> <p>◎ 不慮の事故に備えて火災保険等に加入すること。また、労働災害事故にも備え、建設労働災害補償制度へもできる限り加入すること。</p> <p>◎ 下請や資材調達にあたっての契約は本来工事業者間の自由な意思が尊重されますが、下請契約の相手は、できる限り市内業者としてください。また、建設資材はできる限り市内業者から購入してください。</p> <p>◎ 建設副産物の処理について</p> <p>1、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「再生資源の利用の促進に関する法律」及び建設副産物適正処理推進」その他関係法令等に従い適切に処理すること。</p> <p>2、産業廃棄物の収集・運搬は許可を受けた収集運搬業者の車輛とする。又、処分についても許可を受けた処分業者の処分場（中間処理場を含む）とする。</p> <p>3、伝票管理制度（マニフェスト）及び写真等による、産業廃棄物処理報告書を作成すること。</p> <p>4、再利用が可能な建設副産物については、リサイクルを前提とした処理に努めること。</p> <p>◎ 工事が完成したときは、完成図書作成要領により提出すること。</p> <p>◎ 契約後直ちにA3二つ折り製本4部、A2二つ折り製本1部提出すること。</p> <p>◎ 当該工事において防災等の無線を妨害する、不法無線局（電波法に基づき免許を受けずに開設される無線局）を設置しているアンテナについては使用しないこと。</p>													
特記	有限会社 藤崎設計事務所										事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号	縮尺 日付	N・D 年月日	E O
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533										工事名 図面名			



(仮称)観光交流センター 2期電気設備 工事特記仕様書

1. 工事概要
1. 工事場所 武雄市武雄町

Table with columns: 建物名称, 構造, 階数, 延床面積(m2), 消防法施行令別表第一区分, 耐震安全性の分類, 電気工物の種類

3. 工事種目及び工事科目(工事種目欄の「○」印の付いたものが対象工事)

Table with columns: 施工種別, 工事種目, 電気設備, 配線, etc.

4. 特定部分 ・有 (工期:平成 年 月 日)

Table with columns: 設備概要, 設備方式, 電気設備, 照明器具, etc.

2 工事仕様書
1 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省官庁庁舎建築標準の「公共建築工事標準仕様書(電気工事編) (平成19年版)」(以下、「標準仕様書」という。)

Table with columns: 項目, 特記事項

2 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は、・に○印の付いたものを適用する。

Table with columns: 項目, 特記事項

3 電気工物の種類
7 電気保安技術者

8 電気工事士
9 基本料金等

10 電気事業者(電力会社)との契約

11 工事用電力・水その他
12 工事用仮設物
13 監督員事務所

14 仮設物

15 施工調査

16 養生

17 足場・鉄橋

18 施工関係の取扱い

19 形状・寸法等

20 工事写真・完成図等

21 電線類

22 電線本数、管径など
23 金属製電線管の塗装
24 屋外の支持金具及びプルボックス
25 新規施工

Table with columns: 設置場所, 機器種別, 特定の施設, 一般の施設

26 はつり
27 撤去後の補修
28 合成樹脂製可とう電線管
29 電線の保護
30 蛍光灯器具

Table with columns: 器具, 回路方式, 電圧

31 非常用の照明装置の照度測定箇所
32 電線開閉器用押しボタン
33 プレーツの材質
34 フラアプレートベース

35 表示
36 メタルハライドランプ

37 二重床用アウトレット
38 バイパッションアウトレット

39 ローテーションアウトレット
40 照明器具の接地
41 接地棒付きコンセント

42 絶縁抵抗測定
43 接地棒

44 インバータ装置の規約効率

Table with columns: 接地の種類, 記号, 接地抵抗値, 接地電圧

45 天井仕上り表示
46 呼び線

Table with columns: 電機出力(kW), インバータ効率(%), 電機出力(kW), インバータ効率(%), 備考

47 予備配管
48 線類の塗装
49 電話機への配線
50 地中埋設機
51 線引シート
52 積土処理
53 養生材の処理

54 外灯ボルト
55 線名札
56 ハンドホール内のケーブル系長

57 機器の標準取付高さは、図面に特記がない場合は、下表による。

Table with columns: 名称, 測定, 取付高(mm), 名称, 測定, 取付高(mm)

58 電気設備等指定品

Table with columns: 品名, 品目, 機材等, 適用

59 電気設備等指定品

Table with columns: 品名, 品目, 機材等, 適用

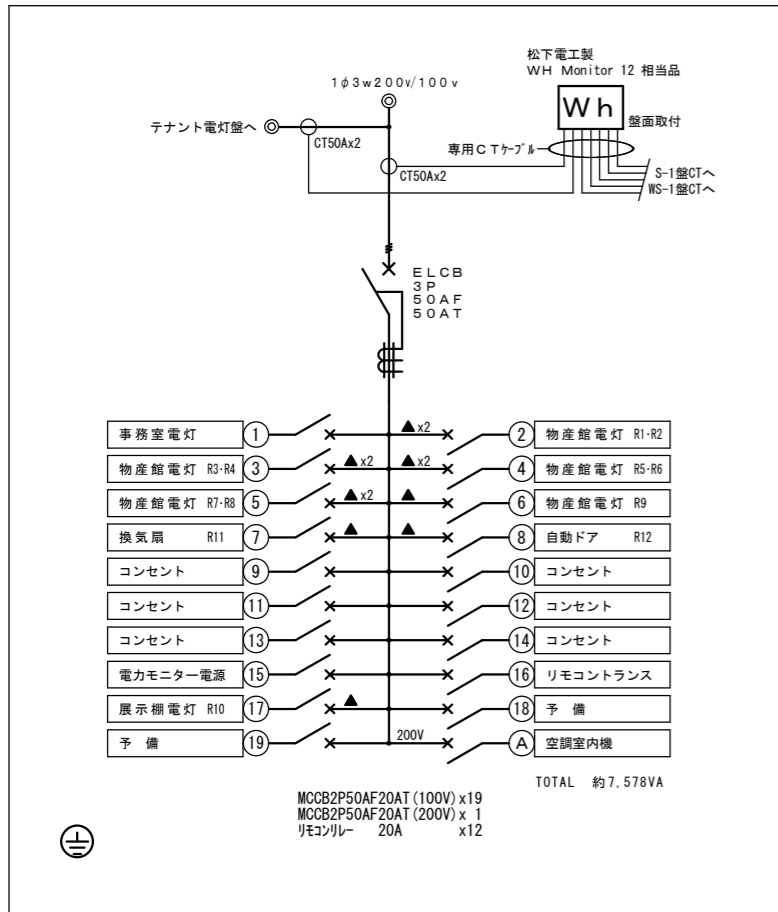
4 他工事との取合い事項は、下表により、該当項目は○印に●印を付するものとする。

Table with columns: 工事区分, 電気設備, 建築工事, 機械設備

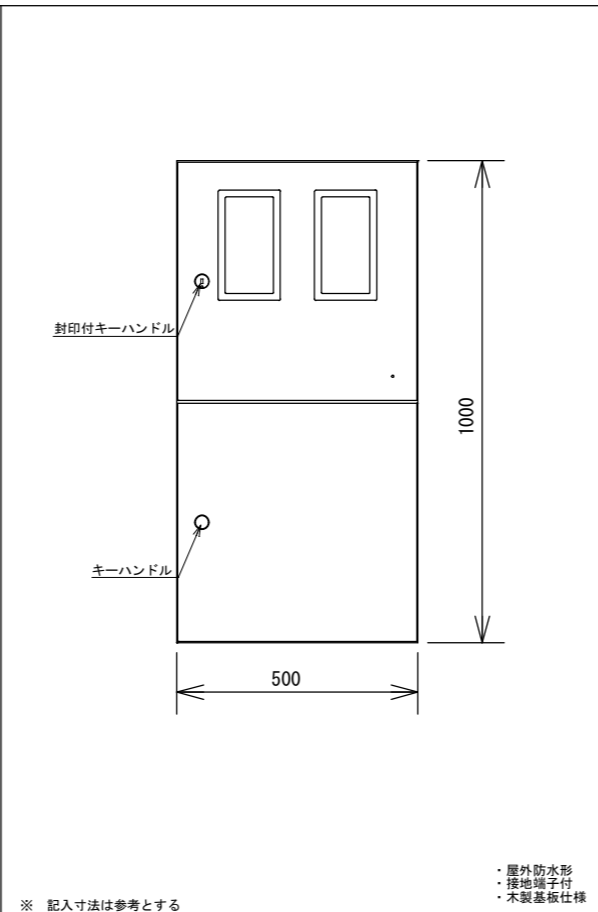
5 設備機材等指定品

Table with columns: 品名, 品目, 機材等, 適用

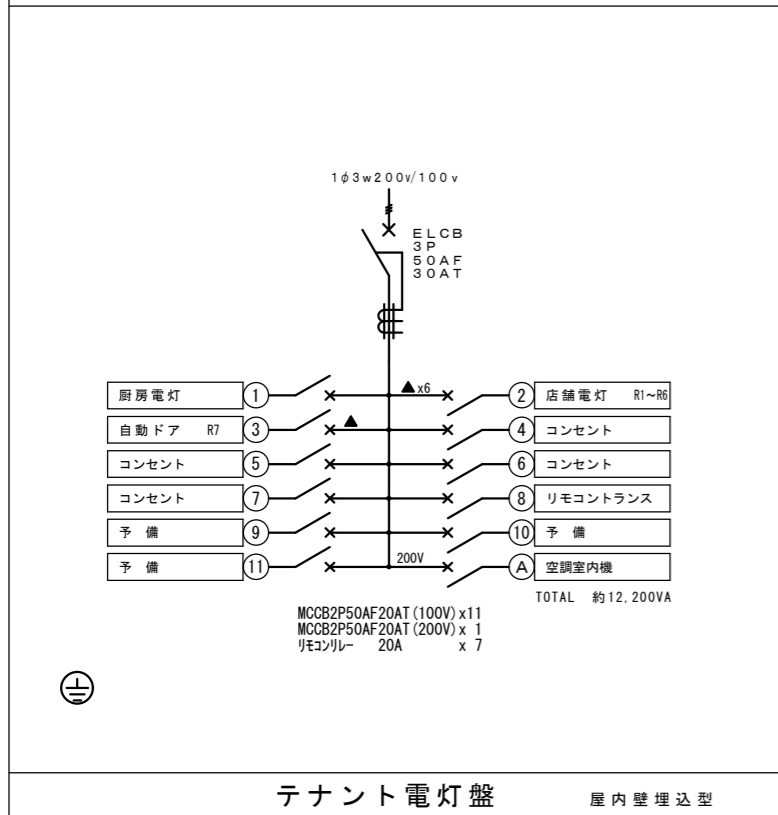
事務所登録第1009号 有限会社 藤崎設計事務所 管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号 建築士 川原 貴子 2級建築士 第4744号



交流センター電灯盤 屋内壁埋込型



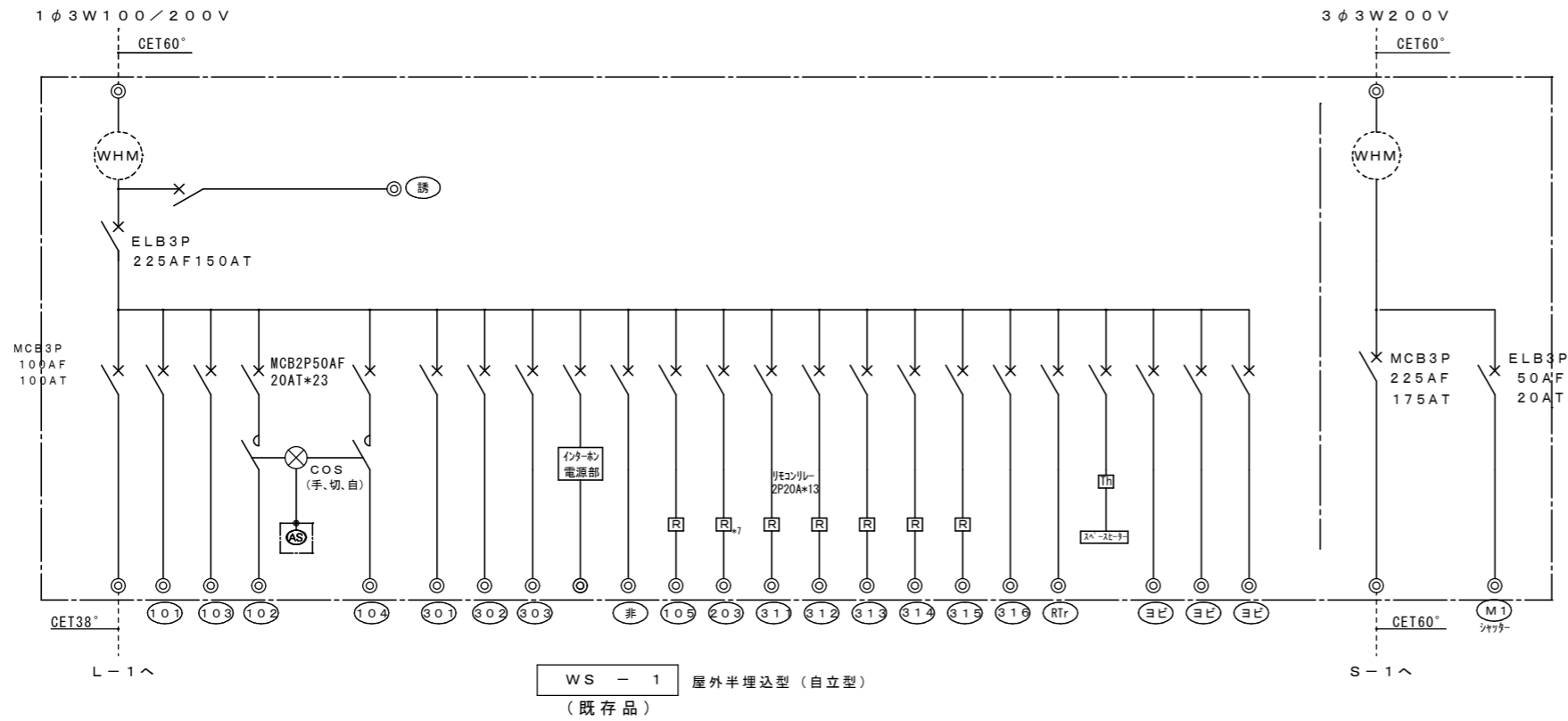
幹線中継盤 屋外壁半埋込型



テナント電灯盤 屋内壁埋込型

A 631	FHF 63W×1 埋込下面開放 ボルトフリー (100~242V) 初期照度補正機能付	B 321	FHF 32W×1 富士型 防湿・防雨型 FSS9MPB-321PH	C 324	FHP 32W×4 埋込下面ルーバ C 324調 FHP 32W×4 埋込下面ルーバ 調光 ボルトフリー (100~242V) 透光角 横方向20° / 縦方向15° ランプ 温白色タイプ
D 421	FHT 42W×1 ダウンライト FRS 21-H421	E 781	LED 7.8W ダウンライト 電球色LED (6個)	F 151	EFD 15W×1 ブラケット 防雨型 ガラスカバー
G 321	FHF 32W×1 直付 ボルトフリー (100~242V) ウォールウォッシュタイプ・薄型	a 131	JE 3.6V 13W×1 非常灯 K1-IRS4-J13	b 200	CF 200×1 点滅形避難口誘導灯片面 SH1-FSF20F-BH
c 200	CF 200×1 避難口誘導灯片面 SH1-FBF20-BH				誘導灯信号装置 消灯・点滅用 信号出力 AC100V 消費電力: 5.6W

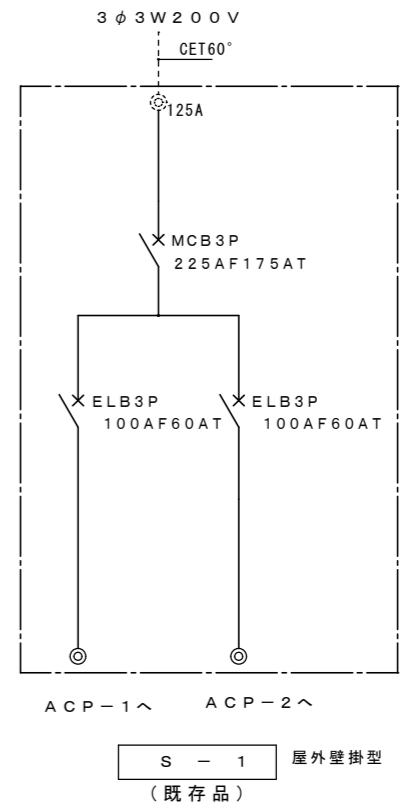
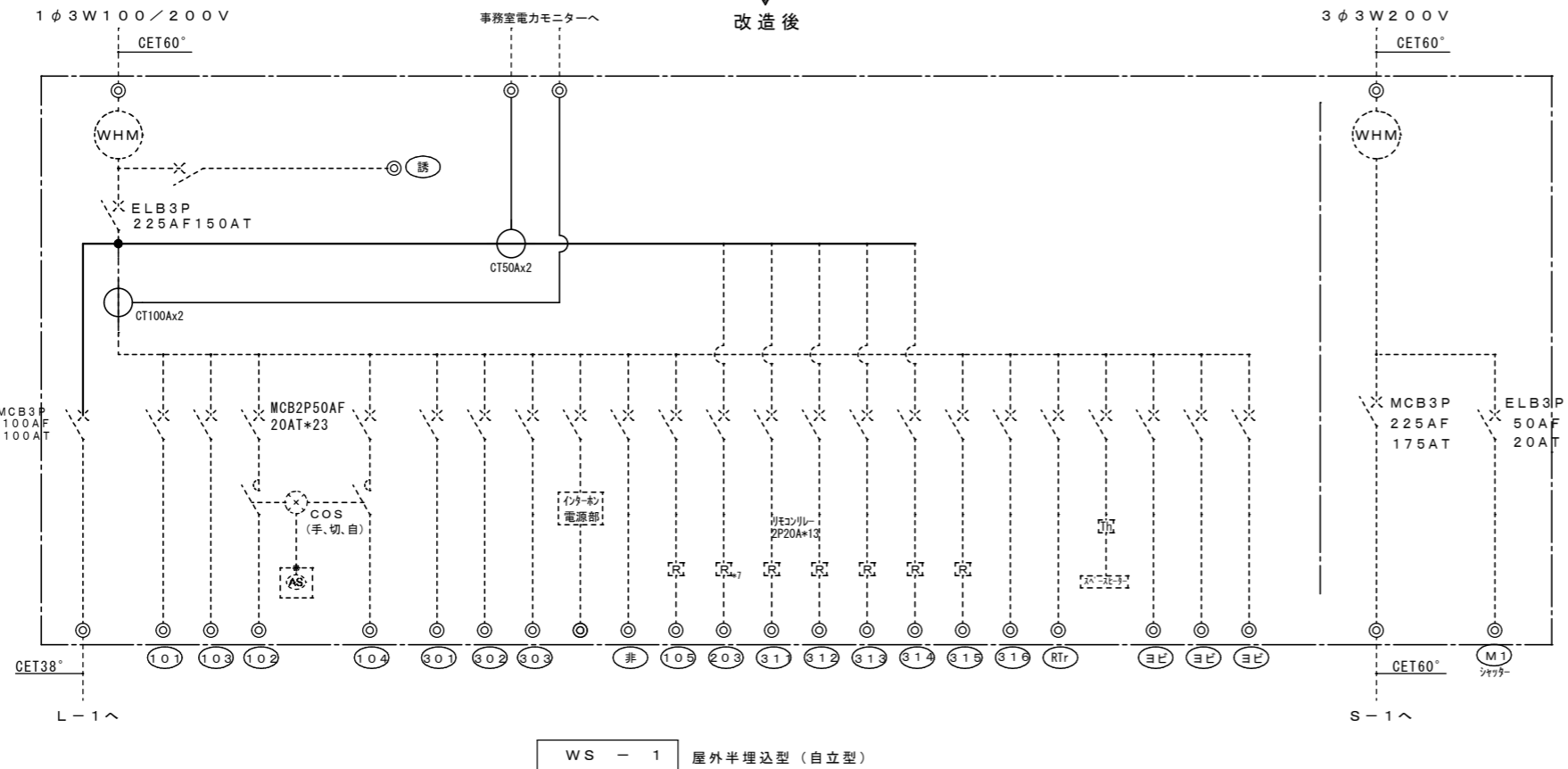
特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号 建築士 川原 貴子 2級建築士 第4744号	検 印	意 匠	構 造	設 備	工 事 名 (仮称) 観光交流センター2期電気設備工事	縮 尺 日 付	N・S 年 月 日	E 2
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7 TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						盤図・照明器具参考姿図			



改造前



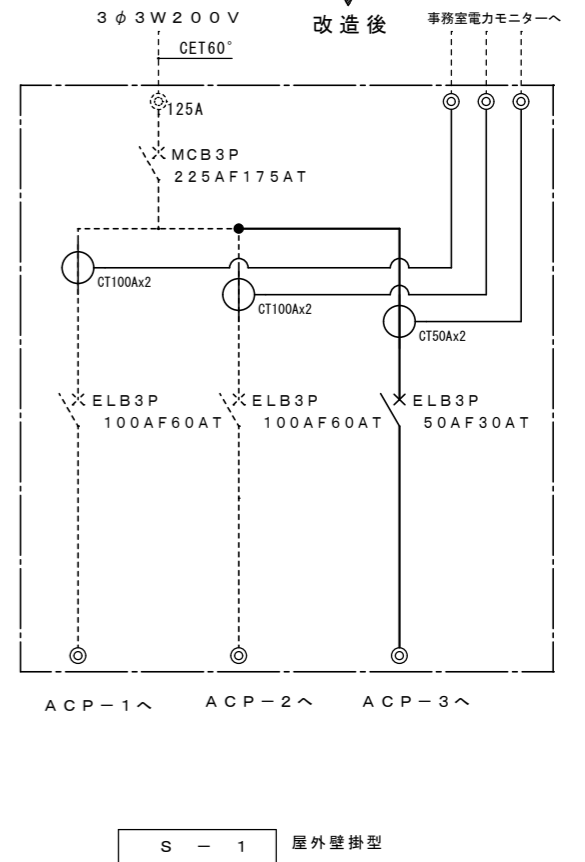
改造後



改造前

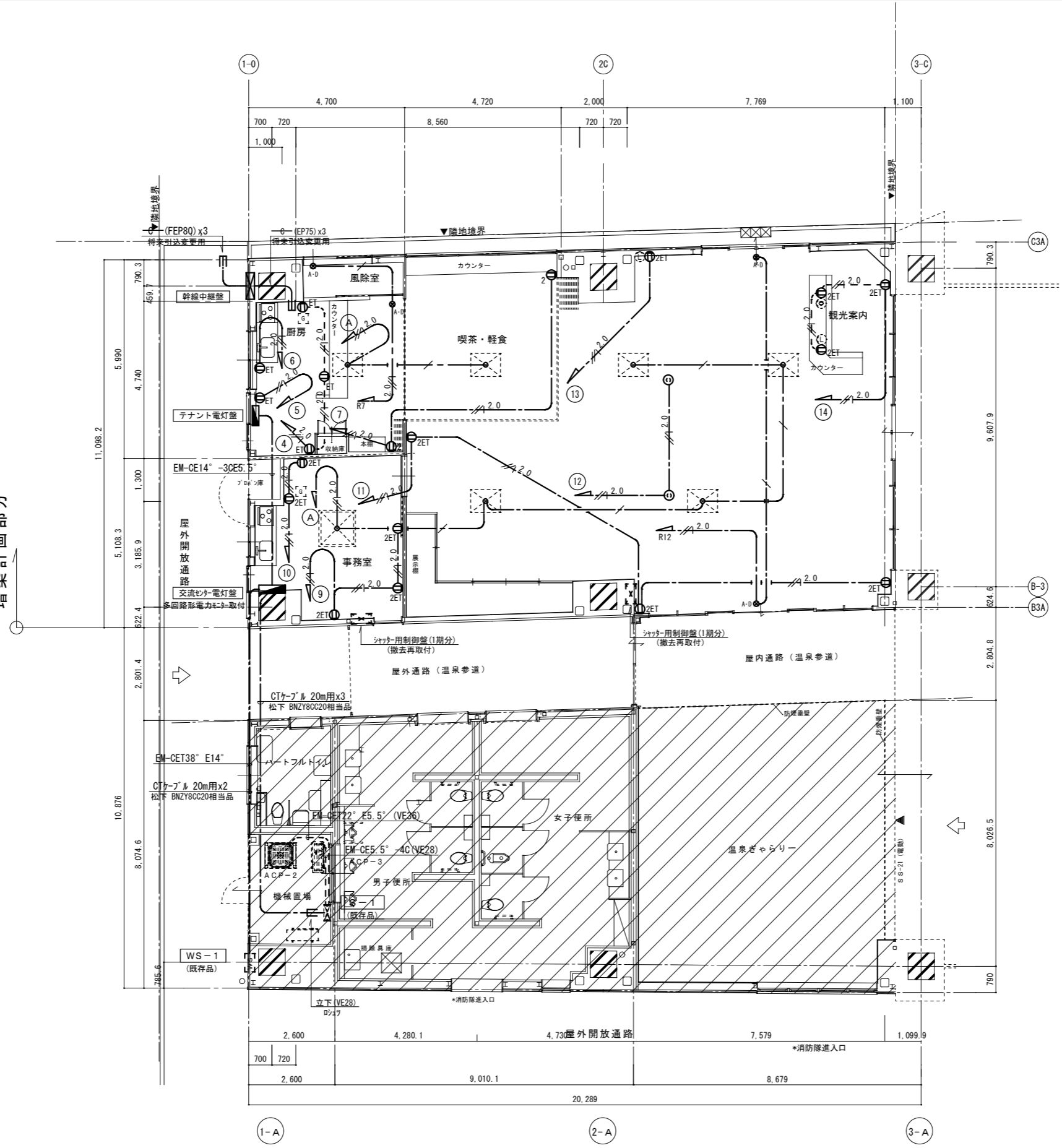


改造後



特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号 建築士 川原 貴子 2級建築士 第4744号	検 印	意 匠	構 造	設 備	工 事 名	(仮称) 観光交流センター2期電気設備工事	縮 尺	N・S	E 3
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7 TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図 面 名	既設盤類改修図	日 付	年 月 日	

増築計画部分



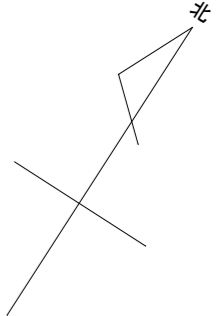
記号	名称	仕様	備考
■	電灯分電盤	単線結線図による	
■	制御盤 (別途)	シャッター用	
⊖	埋込コンセント	2P 15A x 2	
⊖ <sub>ET</sub>	埋込コンセント	2P 15A x 1+ET	
⊖ <sub>ZET</sub>	埋込コンセント	2P 15A x 2+ET	
⊖ <sub>止</sub>	埋込コンセント	2P 15A (抜止め)	
⊖ <sub>防</sub>	防水コンセント	2P 15A E x 1+ET	
⊖ <sub>ガ</sub>	ガス漏警報器	別途工事	
⊖ <sub>電</sub>	電話受け口	弱電設備図による	
⊖ <sub>情</sub>	情報用	"	
⊖ <sub>テ</sub>	テレビ受け口	"	

特記なき配線は下記による。

---	EM-EEF 2.0-3C (1E) (PF22)
---	EM-EEF 1.6-2C
---	EM-EEF 1.6-3C (1E)
---	EM-EEF 2.0-2C
---	EM-EEF 2.0-3C (1E)

※ ケーブル配線の壁立下げ部分はP.F管にて保護する事

特記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号 建築士 川原 貴子 2級建築士 第4744号	検印	意匠	構造	設備	工事名	(仮称) 観光交流センター2期電気設備工事	縮尺	1/100	E 4
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7 TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図面名	幹線・動力・コンセント設備平面図	年月日		



風除室	D 421 x 3
a 131 x 1	
喫茶・軽食	D 421 x 11
E 781 x 7	
a 131 x 1	
b 200 x 1	
厨房	B 321 x 2

事務室	A 631 x 4
a 131 x 1	

外部	F 151 x 6
----	-----------

交流センター	C 324 x 12
C 324 調 x 4	
E 781 x 5	
a 131 x 4	
b 200 x 1	
c 200 x 2	

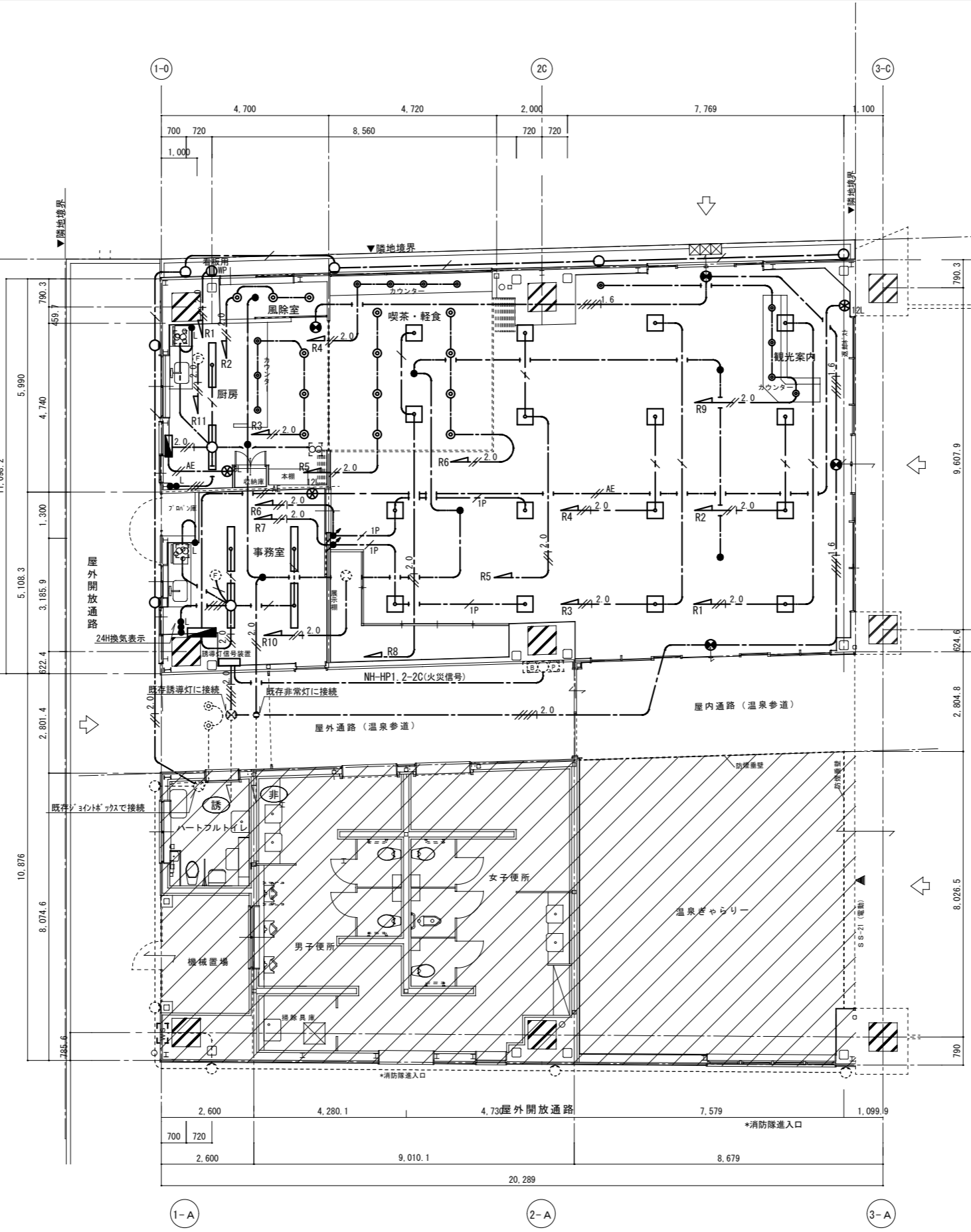
増築計画部分

ラチ外コンコース

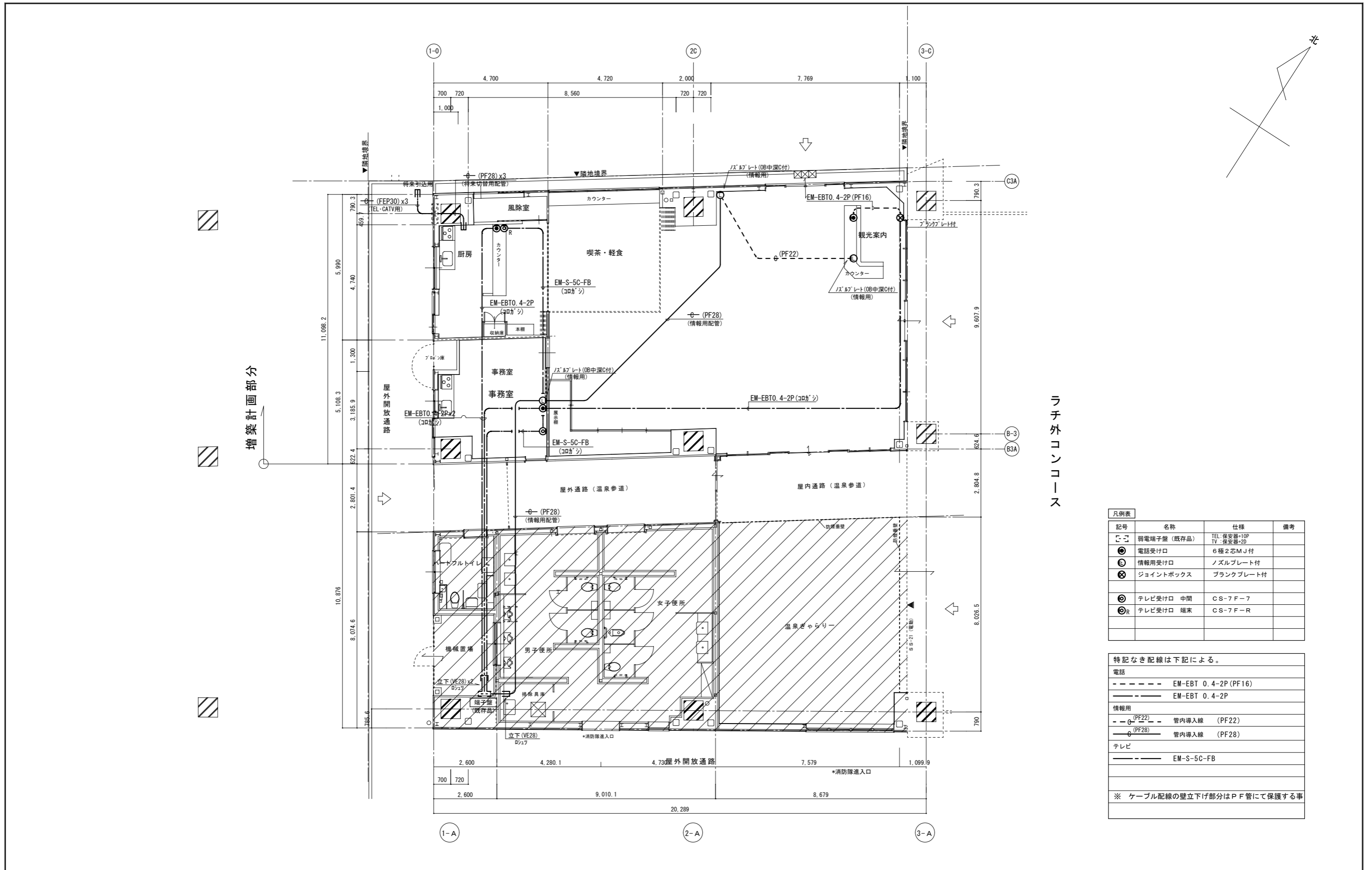
記号	名称	仕様	備考
■	電灯分電盤	単線結線図による	
□	蛍光灯 位置ボックス無	傍記による	
□	蛍光灯 位置ボックス有	"	
○	ダウンライト	"	
○	ブラケット	"	
●	タンブラスイッチ	1P15A	
●	タンブラスイッチ	1PL15A	
⚡	ライトコントロール	インバーター用	
⊗	リモコンスイッチ	回路は傍記による	
Ⓜ	防水コンセント	2P15AEx1+ET	
□	ジョイントボックス	OB中深C付	
⊠	天井換気扇	機械工事	
⊙	シロッコファン	機械工事	

特記なき配線は下記による。			
—	EM-EEF	1.6-2C	
—	EM-EEF	1.6-3C	
—	EM-EEF	1.6-3C(1E)	
—	EM-EEF	1.6-2C+3C(1E)	
—	EM-EEF	2.0-2C	
—	EM-EEF	2.0-3C(1E)	
—	EM-EEF	1.6-2C+2.0-3C(1E)	
—	EM-AE	1.2-2C	
—	EM-EEF	1.6-3C(1E)+FCPEV1.2-2C	

※ ケーブル配線の壁立下げ部分はP F管にて保護する事



特記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号 建築士 川原 貴子 2級建築士 第4744号	検印	意匠	構造	設備	工事名	(仮称) 観光交流センター2期電気設備工事	縮尺	1/100	E 5
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7 TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図面名	電灯設備平面図	年月日		



増築計画部分

ラチ外コンコース

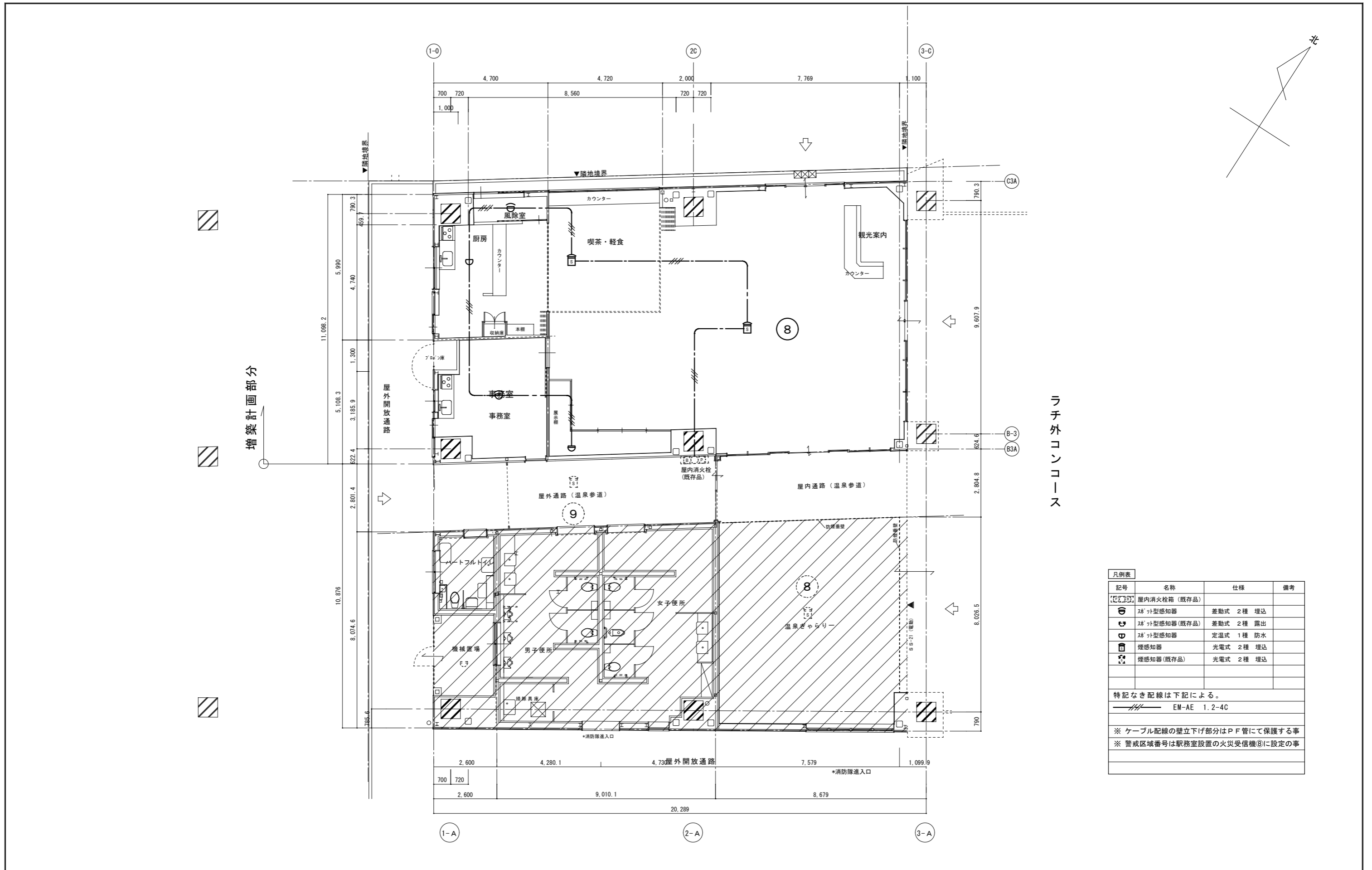
凡例表	記号	名称	仕様	備考
□	端子盤	弱端子盤 (既存品)	TEL:保安器+10P TV:保安器+2D	
⊙	電話受付け口	電話受付け口	6極2芯M/J付	
⊙	情報用受付け口	情報用受付け口	ノズルプレート付	
⊗	ジョイントボックス	ジョイントボックス	ブラックプレート付	
⊙	テレビ受付け口	テレビ受付け口	中間 CS-7F-7	
⊙R	テレビ受付け口	テレビ受付け口	端末 CS-7F-R	

特記なき配線は下記による。

電話	EM-EBT 0.4-2P (PF16)
	EM-EBT 0.4-2P
情報用	管内導入線 (PF22)
	管内導入線 (PF28)
テレビ	EM-S-5C-FB

※ ケーブル配線の壁立下げ部分はPF管にて保護する事

特記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号 建築士 川原 貴子 2級建築士 第4744号	検印	意匠	構造	設備	工事名	(仮称) 観光交流センター2期電気設備工事	縮尺	1/100	E 6
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7 TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図面名	弱電設備平面図	年月日		



凡例表			
記号	名称	仕様	備考
[Fire Extinguisher]	屋内消火栓箱 (既存品)		
[Smoke Detector]	ｽﾍﾞﾝ型感知器 (既存品)	差動式 2種 埋込	
[Smoke Detector]	ｽﾍﾞﾝ型感知器 (既存品)	差動式 2種 露出	
[Smoke Detector]	ｽﾍﾞﾝ型感知器 (既存品)	定温式 1種 防水	
[Smoke Detector]	煙感知器	光電式 2種 埋込	
[Smoke Detector]	煙感知器 (既存品)	光電式 2種 埋込	

特記なき配線は下記による。  
 --- EM-AE 1.2-4C

※ ケーブル配線の壁立下げ部分はP.F管にて保護する事  
 ※ 警戒区域番号は駅務室設置の火災受信機⑧に設定の事

特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号 建築士 川原 貴子 2級建築士 第4744号	検 印	意 匠	構 造	設 備	工 事 名	(仮称) 観光交流センター2期電気設備工事	縮 尺	1/100	E 7
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7 TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図 面 名	自動火災報知設備平面図	年 月 日		

(仮称) 観光交流センター—2期  
機械設備工事

武雄市役所 建設課



(仮称)観光交流センター2期機械設備工事

図面番号	図 面 リ ス ト	縮 尺
M-0	機械設備現場説明書	
M-1	機械設備特記仕様書	
M-2	空調換気設備機器表	
M-3	空調設備平面図	S = 1 / 100
M-4	換気設備平面図	S = 1 / 100
M-5	衛生設備平面図	S = 1 / 100
M-6	衛生設備平面詳細図	S = 1 / 50

特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士第128417号	検 印	意 匠	構 造	設 備	工 事 名	(仮称)観光交流センター2期機械工事	縮 尺	N・D	M
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図 面 名	図面リスト	日 付	年 月 日	

現 場 説 明 書													
工 事 名	(仮称) 観光交流センター2期機械設備工事												
契 約 条 件	<p>監督員事務所の電気、ガス、水道使用料、公用電話料金は、建築、電気、衛生、空調等の各請負業者により、按分負担する。</p>												
建 設 業 退 職 金 共 済 組 合	<p>1、建設業者は、組合に加入するとともに、その建設業退職共済制度の対象となる労務者について、証紙を購入し、当該労務者の共済手帳に証紙を貼付すること。</p> <p>2、工事を受注した建設業者は、組合の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事請負契約締結後、1ヶ月以内に契約相手方の担当課長に提出すること。</p> <p>なお、期限内に収納書を提出できない特別な事情がある場合は、あらかじめその事由及び証書購入予定を合わせて申し出ること。</p> <p>3、証紙購入状況を把握する必要があるときは、関係資料の提出を求めることがある。</p> <p>4、建設業者が、下請負契約を締結する際は、下請負業者にたいして、この制度の趣旨を説明し、掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の組合加入並びに証紙のご購入及び貼付を促進すること。</p> <p>5、下請業者の規模が小さく、管理事務処理の面で万全でない場合は、元請業者に組合加入手続機及び組合関係事務の処理を委託する方法もあるので、元請業者は積極的に受託すること。</p>												
建設産業における生産システム合理化指針	本工事の施工にあたっては、「建設産業における生産システム合理化指針」を遵守すること。												
工 事 費 内 訳 書	入札に際し、工事費内訳書の原稿を持参すること。												
安 全 対 策	<p>災害、公害の防止については、「建築・電気設備・機械設備工事共通仕様書」、「公共住宅建設工事共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）による他、下記による。</p> <p>(イ) 本工事における建設機械の使用については、環境汚染、鉛公害等防止のため、ガソリン無鉛化対策を講じたものを使用すること。</p> <p>(ロ) 工事請負者は附近住民への防災その他の対策については、特に留意し、関係下請負作業者にその趣旨を徹底し、紛争が生じた場合は、直ちに監督員に報告し、責任をもって処理すること。</p> <p>(ハ) 危険物、土砂及び塵埃が現場から飛散しないよう防止策を日常怠らぬようすること。</p> <p>(ニ) 震動、騒音を伴う工事については、その防止対策を講ずると共に作業日時は次のとおりとする。</p> <p>◎日曜日及び国民の祝日には作業は行わない。なお、作業時間については、周辺居住者と十分な協議を行う等の措置を講じ、かつ関係法規等に抵触することのないよう十分に配慮し作業を行うこと。</p> <p>(ホ) 建設現場内、外を問わず、道路、構築物等を破損あるいは、汚染させた場合は、本工事請負業者の責任において、すみやかに原型に復し、管渠等への土砂の流入があった場合は直ちに除去すること。</p> <p>(ヘ) キャタピラ付特殊車等の場内道路の通行については監督員の指示をうけること。</p>												
適正な施工の確保	<p>1、工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者又は、専任の監理技術者については適切な資格、技術力等を有する者を設置すること。</p> <p>2、労働時間については、労働基準法を遵守し、労働時間の短縮や休日の確保には十分配慮すること。</p>												
危 険 防 止	<p>工事期間の危険防止については下記によること。</p> <p>(イ) 工事期間中危険と思われる箇所については危険防止の移動柵、立入禁止の表示、立札を設置し、夜間は必要に応じ注意灯を設ける等の措置を講じること。</p> <p>(ロ) 工事期間中、通行者の安全確保のための交通整理員を配置する等、必要に応じ措置すること。</p>												
注 意 事 項	<p>1、官公署等への手続きについては「共通仕様書」による他、地元に対しても打合わせ等を十分に行い、工事も地元及び関係官公署に対し、連絡を保ち適切に行うこと。</p> <p>2、「前払金保証約款第7条の2」の保証事業会社への通知 (イ) 請負者は、工期変更の被保証者（発注者）から保証事業会社への通知を発注者に代わって行うものとする。 (ロ) 通知方法は、工期変更にかかる工事請負変更契約書の写しを送付して行うものとする。</p> <p>3、工事を受注した業者は、適切な資金の確保、及び労働災害の防止等、建設労働者の保護につとめるとともに、</p>												
工 事 の 案 内 板 (広報等を含む) 工事に使用する進入路	建設資材納入業者の利益を不当に害することなく、公正な取り引きを行うこと。さらに、工事の実施にあたっては、下請け代金の決定（前払い金を含む）及び下請け代金の支払等についての不適正な条件による下請けをしないこと。また、不必要な重層下請が生じないように配慮すること。 <p>4、工事施工にあたっては、土砂等の運搬が運送契約によって行われるときは、正規の運送免許を受けた者の車輛の使用に努めること。</p> <p>5、建設資材の価格変動に対応し下請金額の変更については、適切に措置すること。</p> <p>工事の案内板は、書入内容、製作寸法、使用材料、設置位置について監督員と協議して設けること。</p> <p>土砂、工事用資材等のダンプ、トラック等の大型貨物自動車による搬送計画、通行計画の選定、その他車輛の通行に係る安全対策について、請負業者は関係機関と十分協議して、必要な具体的内容を定め、監督員の承認を得たうえでこれを誠実に履行すること。また、官公署等に対する許可届け等の手続きも行うこと。</p>												
仮 囲 い 等	仮囲い及び板塀については、設計図により実施すること。なお、現場の状況により仮囲い等の変更が必要な場合は、監督員との協議により実施すること。												
工 事 中 の 写 真	工事中及び竣工写真については、建設大臣官房庁営繕部「工事写真の撮り方（建築設備編）」による他、建設地周辺に建築物、構築物等がある場合は適切な区画を定め、必要に応じ、着工前にそれらを撮影すること。												
関連工事との協調	工事関係請負者は、工事の質の向上及び工事全体の円滑な進捗を図るため、協議、協調すると共に、契約書並びに「共通仕様書」による他、監督員の調整に従い、工事の円滑な施工に協力すること。												
竣工後の維持管理	<p>1、竣工後の維持管理は監督員と十分協議のうえ、請負者の責任において、下記の仕様により善良に行うこと。（期間は竣工後30日間）</p> <p>(イ) 雨天の日以外は週に2回以上建物を開放し、室内の換気を行う事。</p> <p>(ロ) 暴風雨等、当該建物に被害の生じる恐れのある場合には、必要な措置をとると共に、その結果を監督員に報告すること。</p> <p>(ハ) 建物内部及び周囲は適時巡回し、建物等に損傷、故障その他異常があったとき、又は緊急事故が発生したときは、所要の措置を講ずると共にその結果を監督員に報告すること。</p> <p>(ニ) 建物を使用開始する直前に建物の内外の清掃を行う事。</p> <p>(ホ) 居室の外部開口部には必要に応じ監督員と協議して、遮光シートを取付け維持管理をすること。</p> <p>2、建物使用開始後、原則として、90日間は及び設備の取付け等の処理のため、即時対応できるよう態勢を取っておくこと。</p>												
その他特記事項	<p>◎ 設計図書優先順位は次のとおりとする。現場説明書（現場説明に対する質疑応答書も含む）、特記仕様書、設計図、共通仕様書。</p> <p>◎ 工事中、場内では危険防止に特に注意を払い、工事車輛等は徐行運転をし、駐車は指定の場所に行う事。</p> <p>◎ 工事の一部を下請に付する場合は、下請契約の形式を明確にして、直ちに一部下請申請書を提出し、承諾を得ること。</p> <p>◎ 不慮の事故に備えて火災保険等に加入すること。また、労働災害事故にも備え、建設労働災害補償制度へもできる限り加入すること。</p> <p>◎ 下請や資材調達にあたっての契約は本来工事業者間の自由な意思が尊重されますが、下請契約の相手は、できる限り市内業者としてください。また、建設資材はできる限り市内業者から購入してください。</p> <p>◎ 建設副産物の処理について 1、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「再生資源の利用の促進に関する法律」及び建設副産物適正処理推進」その他関係法令等に従い適切に処理すること。 2、産業廃棄物の収集・運搬は許可を受けた収集運搬業者の車輛とする。又、処分についても許可を受けた処分業者の処分場（中間処理場を含む）とする。 3、伝票管理制度（マニフェスト）及び写真等による、産業廃棄物処理報告書を作成すること。 4、再利用が可能な建設副産物については、リサイクルを前提とした処理に努めること。</p> <p>◎ 工事が完成したときは、完成図書作成要領により提出すること。 ◎ 契約後直ちにA3二つ折り製本4部、A2二つ折り製本1部提出すること。 ◎ 当該工事において防災等の無線を妨害する、不法無線局(電波法に基づき免許を受けずに開設される無線局)を設置しているアンテナについては使用しないこと。</p>												
特 記	有限会社 藤崎設計事務所		事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号	検 印	意 匠	構 造	設 備	工 事 名	(仮称) 観光交流センター2期機械設備工事		縮 尺	N・D	M O
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533							図 面 名	機械設備現場説明書		日 付	年 月 日	

工事仕様書
I 工事概要
1 工事場所 佐賀県武雄市
2 建物概要
3 工事種目及び工事科目
4 指定区分
5 設備概要
II 工事仕様
1 共通仕様
2 特記仕様

○ 施工等
○ 工事写真・完成図等
○ 機材等の検査及び試験
○ 総合調整
21 電動機
22 容量等の表示
23 耐震措置
24 建築導入部配管
25 建築物EX/PJ部配管
26 配管
27 絶縁フランジ
28 地中埋設機等
○ 保温
○ 塗装
○ はつり
○ 電線類
33 天井仕上区分
34 吊り及び支持金物
35 施工調査
36 試験
37 再生資源化を図るもの
38 ステンレス鋼管 施工上の注意
39 建設機械

● 空調設備
1 設計温湿度
2 風量制御手段
3 ばいじん測定口
4 ばいじん測定口
5 増速
6 ダクト
7 風量測定口
8 チャンパー
9 ダンパー
○ 配管材料
11 弁類
12 温度計
13 圧力計
14 瞬間流量計
15 油面制御装置
○ 保温及び消音内装
17 ファンコイルユニット
18 予備品
19 制御盤及び操作盤
● 換気設備
○ 排気設備
○ 排気設備
○ 自動制御設備
○ 衛生器具設備

7 水栓柱
8 建物導入部配管
9 引込給付金等
10 水費積算
○ 配管材料
○ 洗面器等の排水管
○ 排水試験機手
4 試験
5 放流排水金等
○ 給湯設備
2 給湯フランジ
3 弁類
○ 消火設備
2 保温
3 建物導入部配管
4 地中埋設管の接合
5 スプリンクラー
○ 厨房設備
1 システム
2 厨房用燃源
3 機器の性能等
○ 方立設備
2 2 充てん容器
3 集合装置
4 転倒防止等
5 メーター
6 ガス漏れ警報機
7 湯液検知装置
8 電気防食
9 引込負担金等
○ 排水処理設備
1 排水方式
2 仕様等
○ 撤去工事
○ 養生工事
(別表-1) 他工事との工事区分表

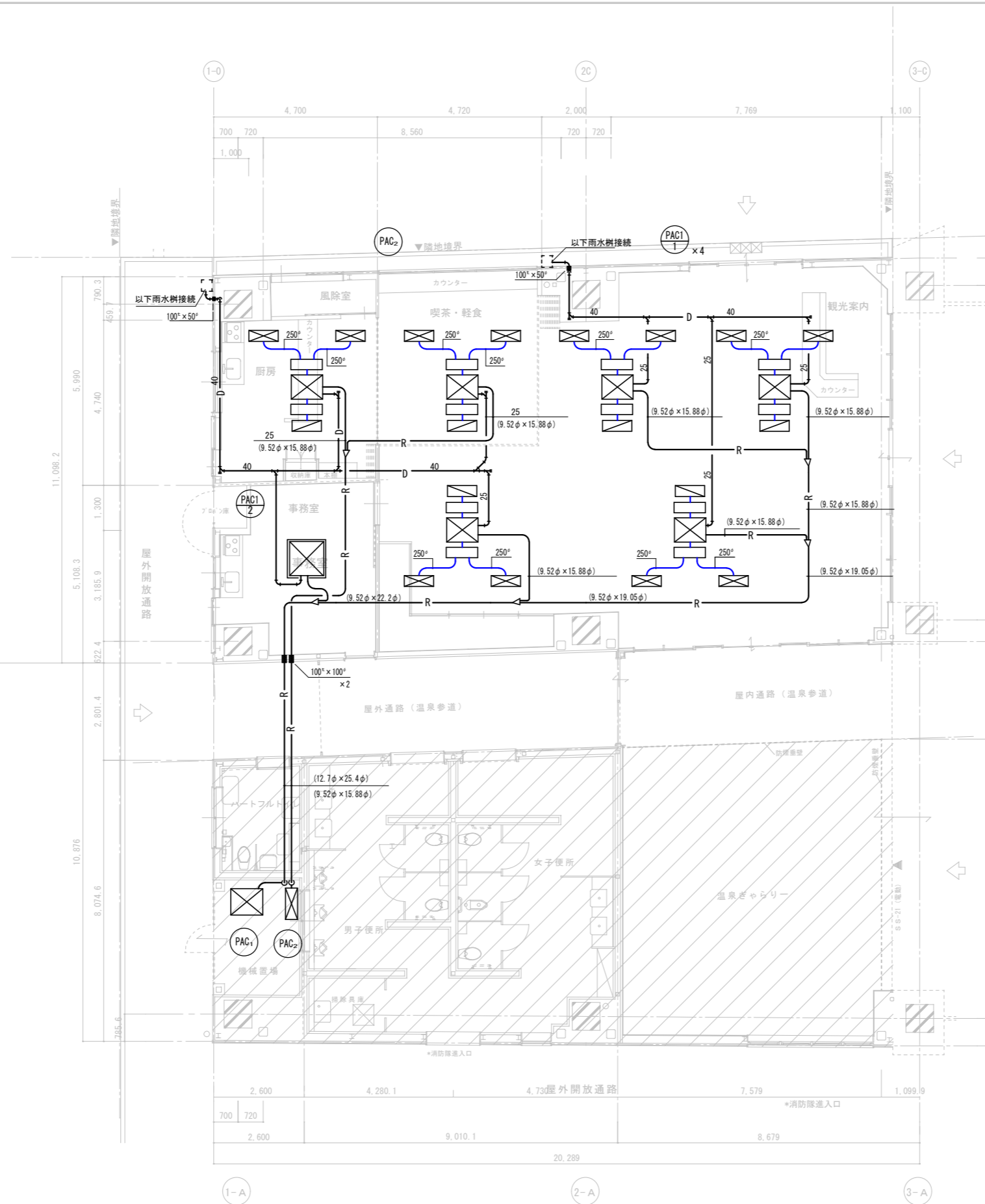
事務所登録第1009号
管理建築士 藤崎 透
1級建築士 第128417号
建築士 川原 貴子
2級建築士 第4744号

株式会社 藤崎設計事務所
検印
意匠
構造
設備
工事名 (仮称) 観光交流センター2期機械設備工事
図面名 機械設備特記仕様書
縮尺
年月日

機 器 表

記 号	名 称	仕 様	台 数	備 考
PAC <sub>1</sub>	空冷ヒートポンプパッケージ	冷房能力 40.0KW 暖房能力 45.0KW 3φ200V	1	基本工事
	エアコン (ビル用マルチ)	室外機 圧縮機 10.1 kw		
		PAC-1-1 天井埋込型 80型 × 4		ドレンアップ、吹出口ユニット×2共
		PAC-1-2 天井カセ4方向型 71型 × 1		ドレンアップ共
PAC <sub>2</sub>	空冷ヒートポンプパッケージ	室内ユニット 天井埋込型 冷房能力 - 14.0KW	1	基本工事
	エアコン (同時ツイン)	暖房能力 - 16.0KW		ドレンアップ、吹出口ユニット×8共
		室外機 圧縮機 2.4 kw 3φ200V		
F <sub>1</sub>	天井換気扇	230φ × 700CMH 1φ100V × 106.0W (金属型)	1	VC SUS製深型フード共
F <sub>2</sub>	ストレートシロッコファン	天吊形	2	VC SUS製深型フード共
		180φ × 500CMH 1φ100V × 87.5W		防振金物共 吸込口グリル
F <sub>3</sub>	天井換気扇	230φ × 670CMH 1φ100V × 90.0W	1	VC SUS製深型フード共
F <sub>4</sub>	換気扇	台所用換気扇	1	VC SUS製カセットカバー共
		250φ × 918CMH 1φ100V × 18.0W		専用キッチンフード共

増築計画部分

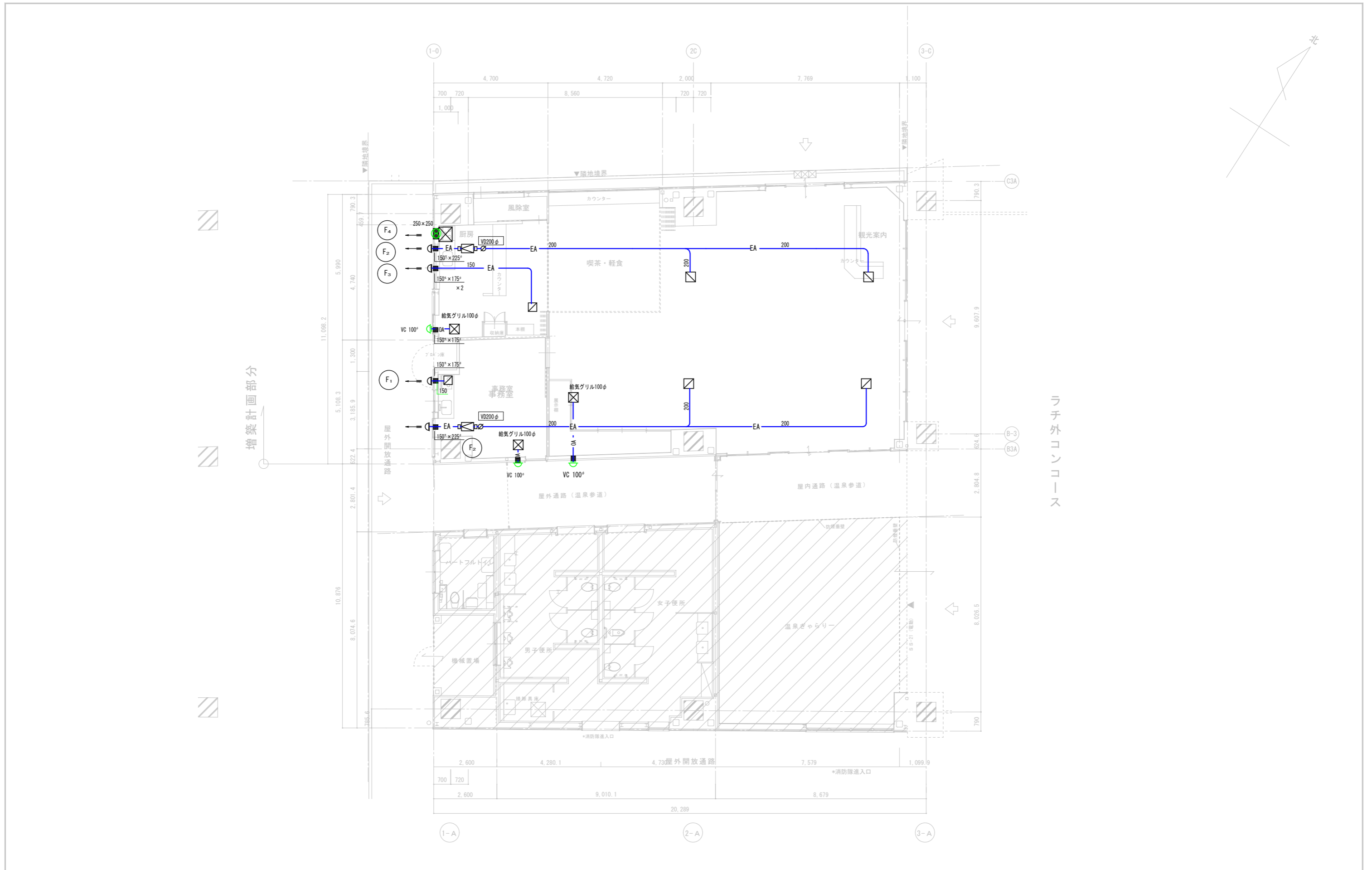


交流センター		喫茶・軽食コーナー	
VHS	500×300	VHS	500×300
660CMH	1 × 8	660CMH	1 × 4
ファン・ボックス	900×300×450 <sup>H</sup>	ファン・ボックス	900×300×450 <sup>H</sup>
GW50 <sup>H</sup> 内貼	× 4	GW50 <sup>H</sup> 内貼	× 2
交流センター		喫茶・軽食コーナー	
HS	900×300	HS	900×300
1.320CMH	1 × 4	1.320CMH	1 × 2
ファン・ボックス	900×300×450 <sup>H</sup> × 4	ファン・ボックス	900×300×450 <sup>H</sup> × 2

ラチ外コンコース

凡例

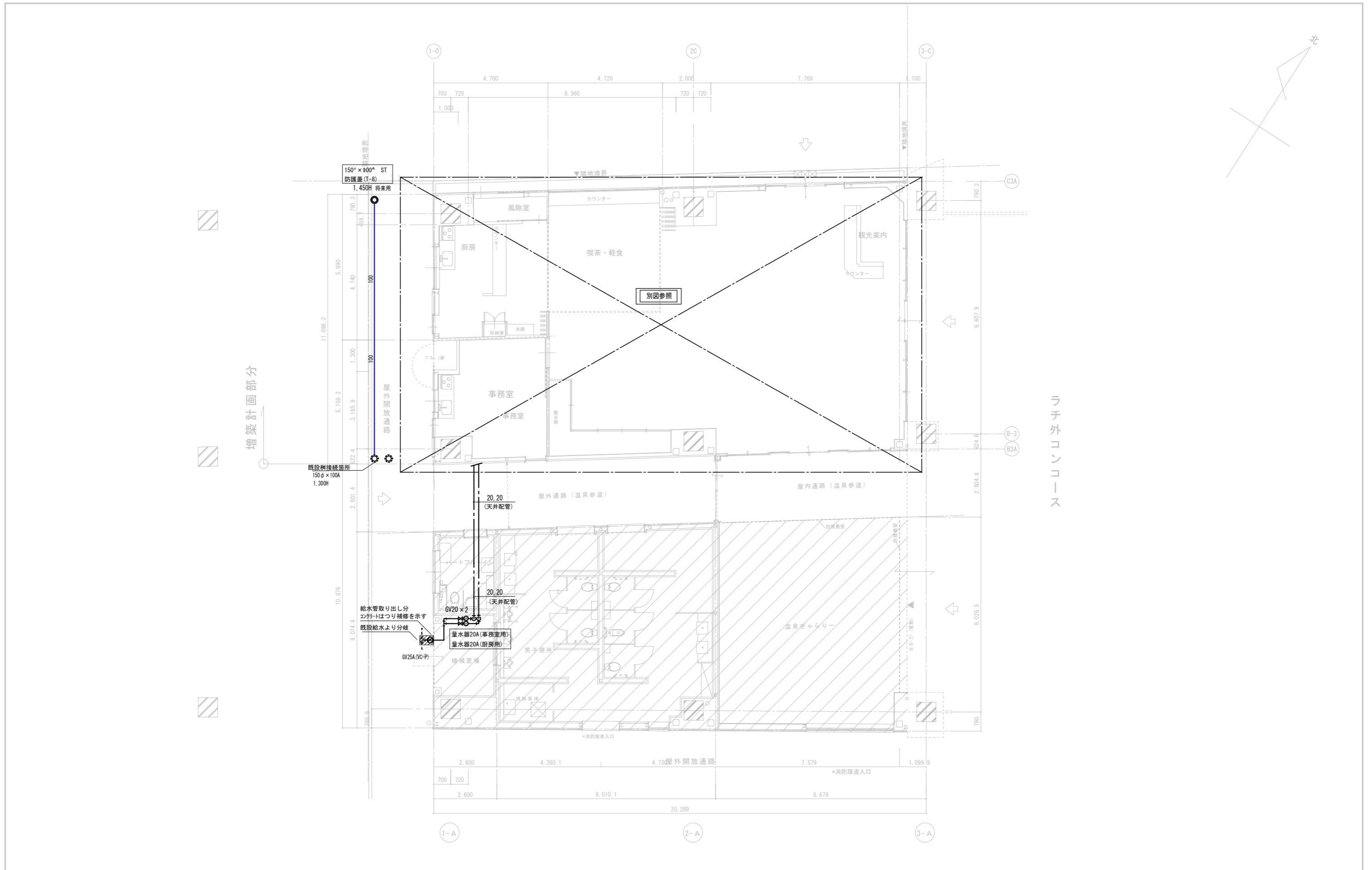
記号	名称	備考
— R —	冷媒管	冷媒用被覆銅管
— D —	空調排水管	硬質塩化ビニル管
—	スライム <sup>®</sup> 付	垂鉛鉄板製
⊠	VHS	ユニバ <sup>®</sup> 形吹出口
⊡	HS	ユニバ <sup>®</sup> 形吸込口
□	ファン・ボックス	制気口ボックス



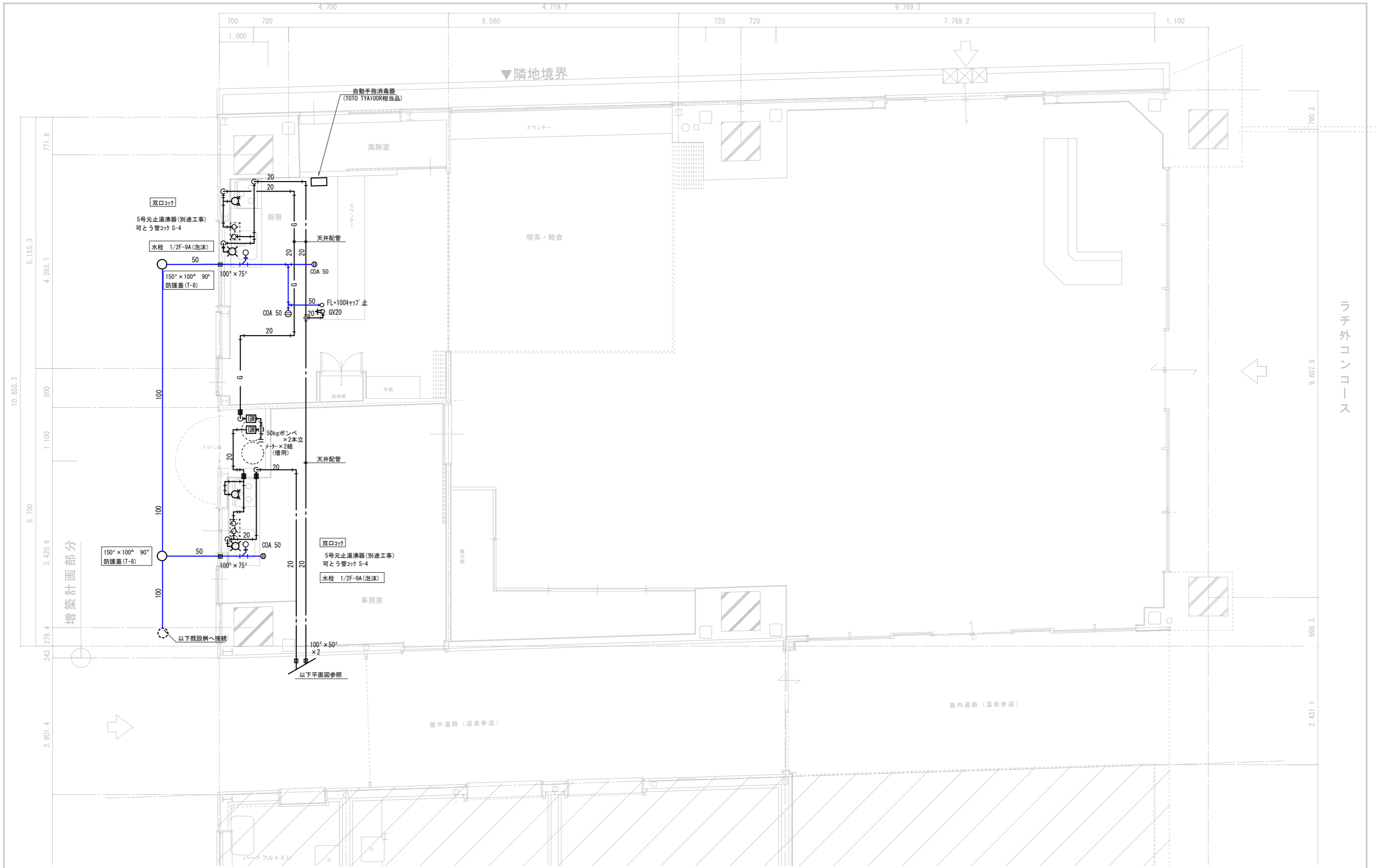
増築計画部分

ラチ外コンコース

特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士 第128417号 建築士 川原 貴子 2級建築士 第4744号	検 印	意 匠	構 造	設 備	工 事 名 (仮称) 観光交流センター2期機械設備工事	縮 尺 日 付	1/100	M 4
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7 TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図 面 名 換気設備平面図	年 月 日		



特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士第128417号 建築士 川原 貴子 2級建築士 第4744号	検 印	意 匠	構 造	設 備	工 事 名	(仮称) 観光交流センター2期機械設備工事	縮 尺	1/100	M 5
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7 TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図 面 名	衛生設備平面図	年 月 日		



増築計画部分

ラチ外コンコース

特 記	有限会社 藤崎設計事務所	事務所登録第1009号 管理建築士 藤崎 透 1級建築士第128417号 建築士 川原 貴子 2級建築士 第4744号	検 印	意 匠	構 造	設 備	工 事 名 (仮称) 観光交流センター2期機械設備工事	縮 尺 日 付	1/50 年 月 日	M 6
	佐賀県武雄市武雄町大字武雄94-7 TEL0954-23-1001 FAX0954-22-5533						図 面 名 衛生設備平面詳細図			